

金沢工業大学 御中

令和7年度 授業調査 報告書

---

2026.8.27

有限会社 アイ・ポイント

|       |
|-------|
| INDEX |
|-------|

|                          |    |
|--------------------------|----|
| <1> 本調査の全体像              | 2  |
| <2> 基本的な分析               | 7  |
| <3> 学年別の分析               | 16 |
| <4> 学部・学科別の分析            | 22 |
| <5> 科目区分別の分析             | 43 |
| <6> 同一学生群の分析             | 49 |
| <7> 授業への取り組み姿勢と授業の満足度の分析 | 55 |
| <8> 遠隔授業の評価の分析           | 60 |
| <9> 全体のまとめ               | 71 |

## ＜1＞本調査の全体像

1)調査の目的

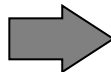
- 本調査は下記に挙げる目的に従って実施した。
- 本調査は金沢工業大学(以下、KIT)の学生から1年間に受けた授業に対する評価と満足度を聞き、属性による違いや過去の回答との比較などから現状を把握することを目的としている。
  - 一連の分析によって得られた情報を授業の改善に有効活用し、KIT全体の教育改善につなげていくことが最終的な目的となる。
  - 平成17年度に質問項目を変更しており、今回が21年目となるため、21年間の時系列比較を行って学生の実態がどのように変わっているかを確かめている。(調査開始は平成14年度)
  - 前回に続いてすべてWebで実施し、「遠隔授業」に関する質問は6年目となる。また、今回から1年次は新たな学部学科となっている。

2)調査の概略

| 項目      | 内容                                                                                                |             |        |         |                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|---------|-----------------|
| 有効回答数   | 41,916件(1年次:20,163件、2年次:13,539件、3年次:7,745件、4年次:469件、クラス未記入の48件は集計から除外)                            |             |        |         |                 |
| 年別回答数推移 | 年度                                                                                                | 春学期(夏期特別含む) | 秋学期    | 冬学期     | 全回答数            |
|         | 平成17年度                                                                                            | 36,766      | 33,361 | 30,653  | 100,780         |
|         | 平成18年度                                                                                            | 36,518      | 33,803 | 31,734  | 102,055         |
|         | 平成19年度                                                                                            | 35,723      | 33,919 | 32,275  | 101,917         |
|         | 平成20年度                                                                                            | 37,693      | 34,103 | 32,698  | 104,494         |
|         | 年度                                                                                                | 前学期         | 後学期    | 全回答数    | 調査票             |
|         | 平成21年度                                                                                            | 42,446      | 43,962 | 86,408  | 質問項目変更          |
|         | 平成22年度                                                                                            | 48,541      | 48,175 | 96,716  |                 |
|         | 平成23年度                                                                                            | 53,166      | 49,870 | 103,036 |                 |
|         | 平成24年度                                                                                            | 47,317      | 46,666 | 93,983  |                 |
|         | 平成25年度                                                                                            | 47,317      | 45,003 | 92,320  |                 |
|         | 平成26年度                                                                                            | 45,014      | 50,767 | 95,781  |                 |
|         | 平成27年度                                                                                            | 48,882      | 43,421 | 92,303  | 後学期より一部選択肢変更    |
|         | 平成28年度                                                                                            | 47,946      | 41,113 | 89,059  |                 |
|         | 平成29年度                                                                                            | 46,988      | 39,594 | 86,582  |                 |
|         | 平成30年度                                                                                            | 47,659      | 40,416 | 88,075  |                 |
|         | 令和元年度                                                                                             | 41,011      | 46,990 | 88,001  |                 |
|         | 令和2年度                                                                                             | 29,365      | 32,293 | 61,658  | Web調査へ移行、質問項目追加 |
|         | 令和3年度                                                                                             | 27,148      | 19,341 | 46,489  |                 |
|         | 令和4年度                                                                                             | 22,499      | 19,112 | 41,611  |                 |
|         | 令和5年度                                                                                             | 28,221      | 21,189 | 49,410  |                 |
|         | 令和6年度                                                                                             | 24,822      | 18,911 | 43,733  |                 |
|         | 令和7年度                                                                                             | 23,794      | 18,122 | 41,916  |                 |
| 対象科目    | 734科目(シラバスコードの件数)                                                                                 |             |        |         |                 |
| 実施内容    | ・ 各学期の第14週目から学期最終日、または最終授業日の1週間後まで実施した。<br>・ 実施方法:記名式。Web入力。Web入力を科目担当の教員より周知するとともに、学生ポータルにて通知した。 |             |        |         |                 |
| 調査主体    | 学校法人 金沢工業大学                                                                                       |             |        |         |                 |
| 集計      | 有限会社 アイ・ポイント                                                                                      |             |        |         |                 |

### 3) 以前との設問の比較

|   | 旧アンケート内容(平成15～16年度、一部は平成14年度から)               |
|---|-----------------------------------------------|
| A | この科目は興味を持って受講することができましたか。                     |
| B | 1回の授業に対する予習・復習はどの程度行いましたか。                    |
| C | 授業が分からない時、オフィスアワー(OH)は有効でしたか。                 |
| D | 授業の分からない点はオフィスアワー(OH)を利用する以外に、どのような行動を取りましたか。 |
| E | 学習支援計画書の記載内容は理解できましたか。                        |
| F | 教科書・指導書の内容は理解できましたか。                          |
| G | 授業の進度は内容を理解するのに適切でしたか。                        |
| H | 課題またはレポート等は授業内容の理解を深めるのに役立ちましたか。              |
| I | 自己点検授業はあなたの学習に効果的でしたか。                        |
| J | 授業の理解を深めるために、最も多く利用した場所はどこですか。                |
| K | あなたはこの科目に満足していますか。                            |

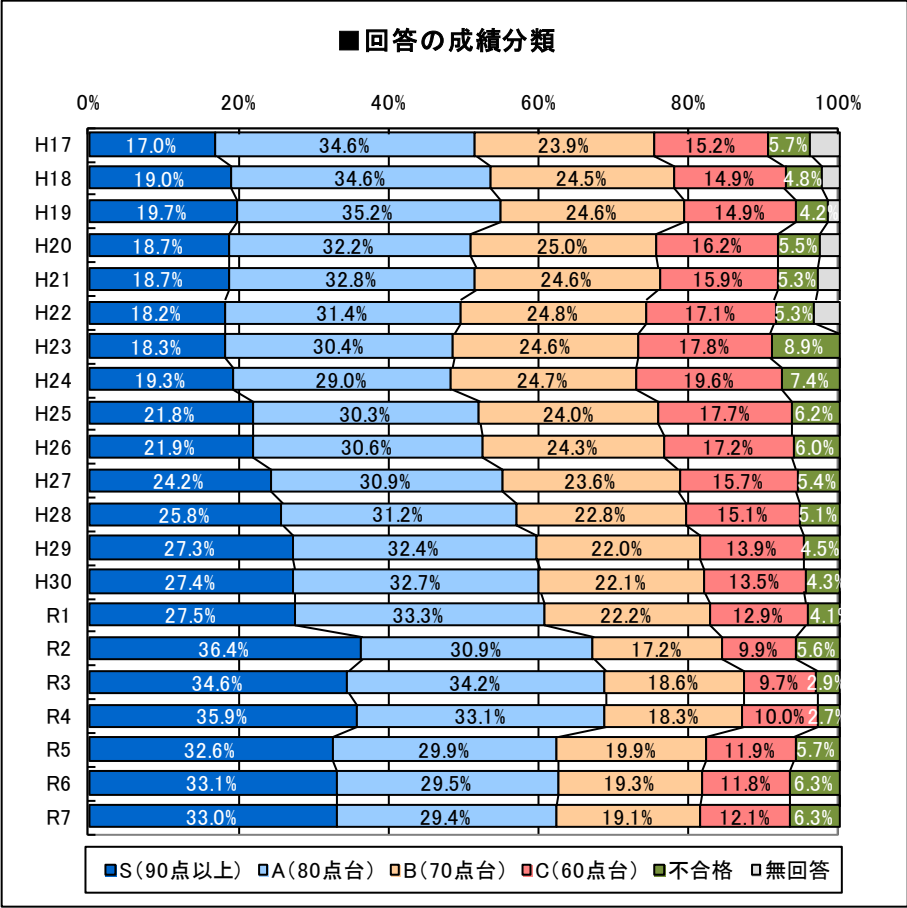
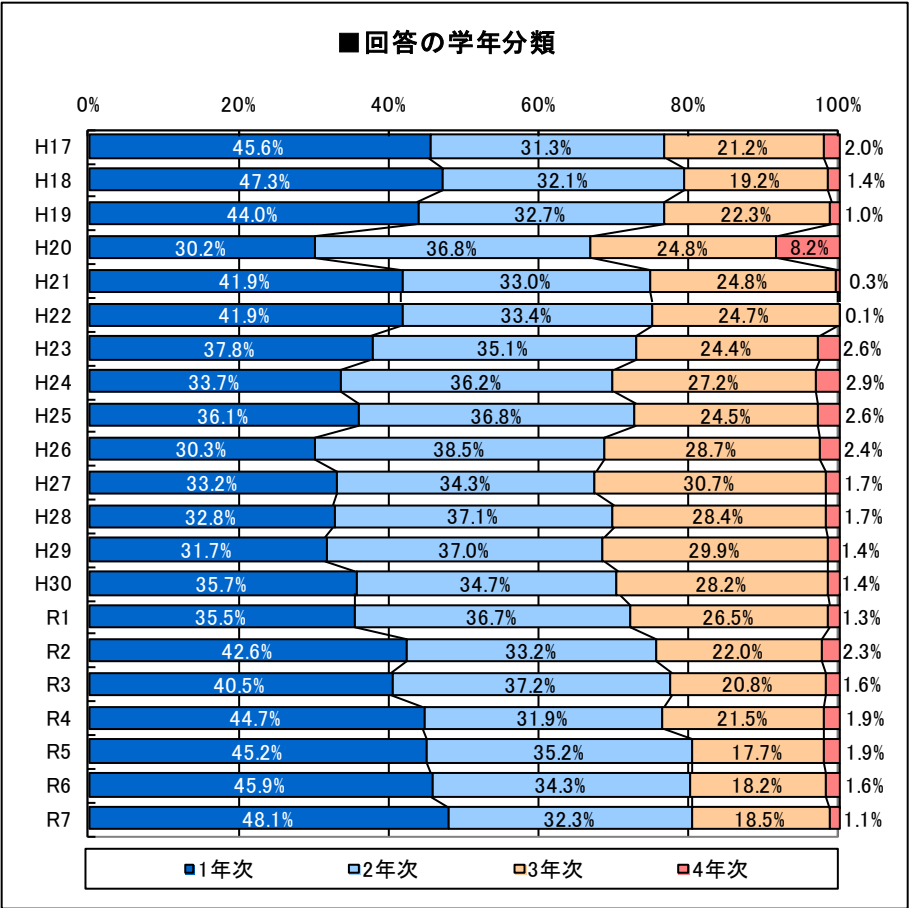


|   | 新アンケート内容(平成17年度以降)                                                                                                            | 場面   | 内容    |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| A | 受講前、この科目に興味はありましたか。                                                                                                           | 受講前  | 学生の姿勢 |
| B | 最初の授業で学習支援計画書の説明を受けて、この授業の概要や進め方、身につく能力を理解できましたか。                                                                             | 受講当初 | 授業支援  |
| C | 授業を受ける際、熱意を持って受講し、理解するために努力しましたか。                                                                                             | 受講中  | 学生の姿勢 |
| D | 1回の授業に対する予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)はどの程度行いましたか。<br>※平成27年度の後学期より選択肢を変更している。<br>※平成30年度の後学期より「課外学習活動」の表記を「授業外学習(レポート、課題等)」に変更している。 | 受講中  | 学生の姿勢 |
| E | 教科書・指導書の内容は授業の理解のために適切でしたか。                                                                                                   | 受講中  | 授業支援  |
| F | 課題またはレポート等は授業内容の理解を深めるために役立ちましたか。                                                                                             | 受講中  | 授業支援  |
| G | 授業内容は学習支援計画書に沿っていましたか。                                                                                                        | 受講中  | 授業内容  |
| H | 授業の進度は内容を理解するのに適切でしたか。                                                                                                        | 受講中  | 授業内容  |
| I | 授業内容をよく理解するための、学習相談(オフィスアワー、チューターなど)は有効でしたか。                                                                                  | 受講中  | 授業支援  |
| J | 授業や学習相談を通して、教員の熱意を感じることができましたか。                                                                                               | 受講中  | 教員の姿勢 |
| K | 授業を終えて、あなたはこの科目に満足していますか。                                                                                                     | 受講後  | 総合評価  |

### 4) 集計に関して

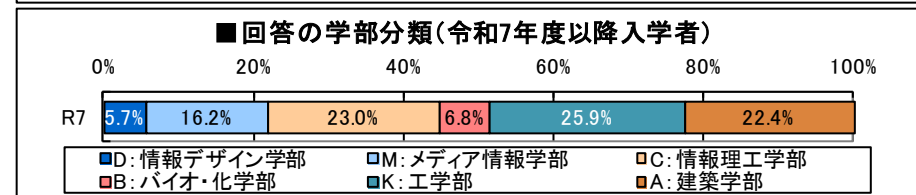
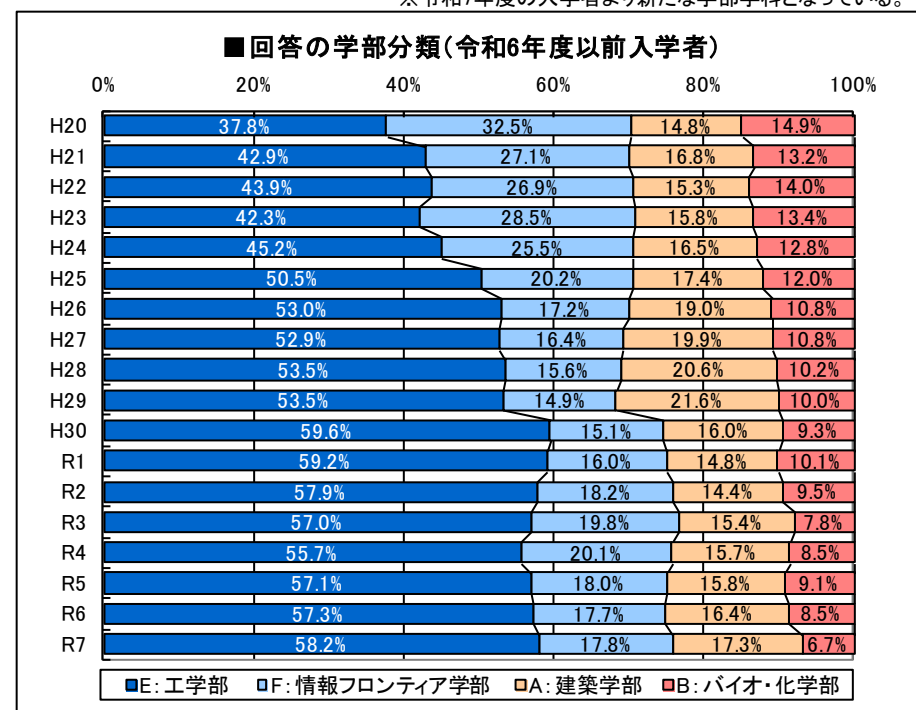
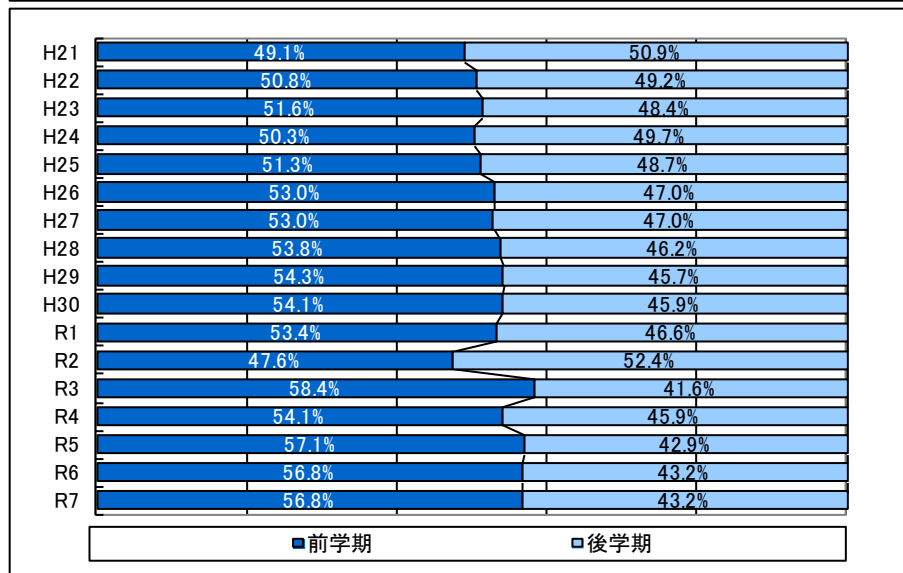
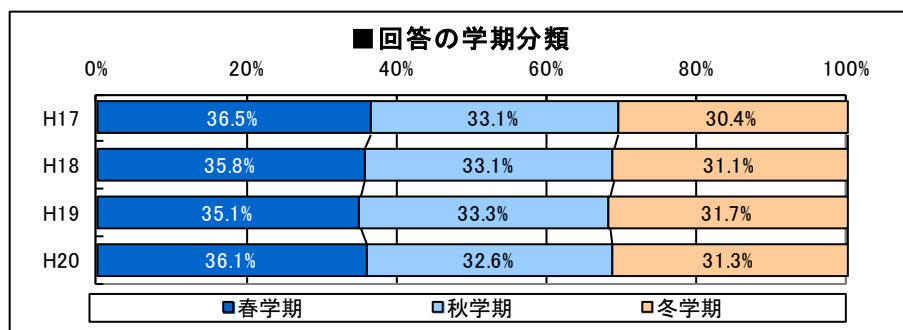
- 令和7年度の入学者より学部学科が変わっているが、学年別の分析は所属クラス通りの学年で集計している。一方、学部学科別の分析に関して、1年次は留年と思われる学生を除外して令和7年度以降入学者の学部学科で集計し、2～4年次は令和6年度以前入学者の学部学科で集計を行っている。
- 平成17年度に質問の見直しを行っているため、一部の設問では以前との比較を行っていない。
- 新アンケートの「D」「F」「H」の設問は平成14年度より、「K」の設問は平成15年度より内容が同じなので、これらの4つの設問についてはそれぞれの期間に渡って比較を行っている。それら以外の設問は変更後の平成17年度以降で比較を行った。
- 平成27年度の後学期より、設問D(1回の授業に対する予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)はどの程度行いましたか。)の選択肢を変更している。これまでは「1. 2時間以上、2. 1～2時間、3. 1時間程度、4. 30分程度、5. 学習は特にしなかった」の5択であったが、後学期からは「1. 3時間以上、2. 2～3時間、3. 1～2時間、4. 1時間程度、5. 30分程度、6. 学習は特にしなかった」の6択とした。これは2時間以上を選択する学生の実態を、より詳細に分析するための変更となる。
- 報告書内のデータの「集計値」や「合計値」は小数点第1位までの表示となっているが、これは小数点第2位を四捨五入したものとなっている。「肯定的な意見の合計値」などもこのルールに従っているため、「集計値」と「合計値」の四捨五入の判断が異なり、最大で0.1の差となっているケースもあるが、これは誤差として、そのままとしている。

- 学年別の割合は、「1年次」が48.1%、「2年次」が32.3%、「3年次」が18.5%、「4年次」が1.1%である。
- 成績別の割合は、「S」が33.0%、「A」が29.4%、「B」が19.1%、「C」が12.1%、「不合格」が6.3%である。



- H21年度以降は2学期制となり、今回は「前学期」の回答が56.8%、「後学期」が43.2%である。
- 今回から1年次は新たな学部学科となっているが、2年次から4年次は令和6年度以前入学者に対応する学部学科で見ている。今回の割合は「E:工学部」が58.2%、「F:情報フロンティア学部」が17.8%、「A:建築学部」が17.3%、「B:バイオ・化学部」が6.7%である。
- 1年次は令和7年度以降入学者に対応する新たな学部学科となるので別のグラフで見ているが、「D:情報デザイン学部」が5.7%、「M:メディア情報学部」が16.2%、「C:情報理工学部」が23.0%、「B:バイオ・化学部」が6.8%、「K:工学部」が25.9%、「A:建築学部」が22.4%である。

※H30に4学部14学科から4学部12学科に変わり、各学部に含まれる学科が異なっている。  
※令和7年度の入学者より新たな学部学科となっている。

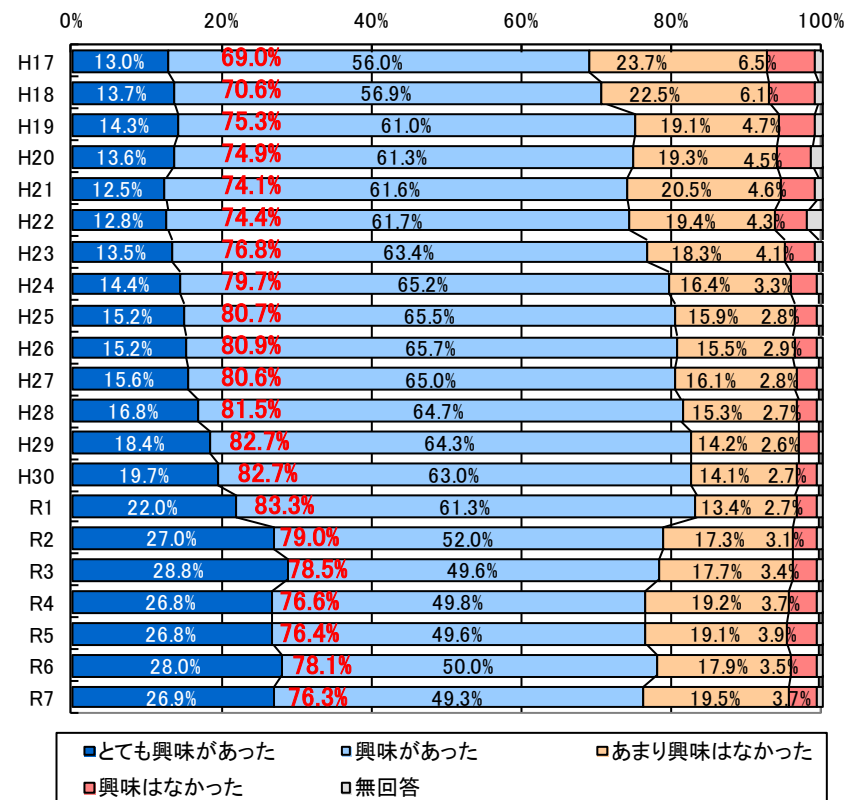


## ＜2＞基本的な分析

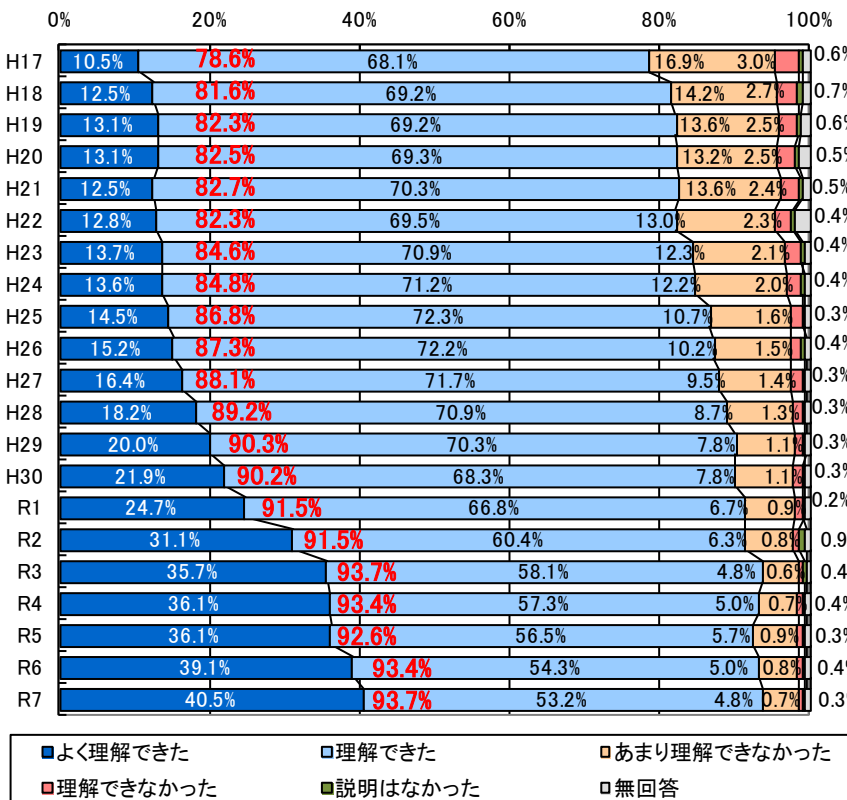
- 経年変化のグラフでは肯定的な意見の合計を赤太文字で示しているが、注意書き(※)にあるように、合計値には誤差が含まれる場合もある。そして、「無回答」の数値はグラフ内に表示していない。
- 「A: 事前の興味」の「とても興味があった」は前回は1.1ポイント下回って26.9%である。そして、「興味があった」の49.3%を加えると、肯定的な意見の合計は76.3%で前回は1.8ポイント下回る。一方、否定的な意見の合計は23.2%で、H23以降で最も多い。
- 「B: 事前の内容理解(学習支援計画書)」の「よく理解できた」は過去最高の40.5%である。そして、「理解できた」の53.2%を加えると、肯定的な意見の合計はR3と並んで過去最高の93.7%である。

※報告書内のデータの「集計値」や「合計値」は小数点第1位までの表示となっているが、これは小数点第2位を四捨五入したものとなっている。「肯定的な意見の合計値」なども、このルールに従っているため、「集計値」と「合計値」の四捨五入の判断が異なり、最大で0.1の差となっているケースもあるが、これは誤差として、そのままとしている。

■A: 事前の興味

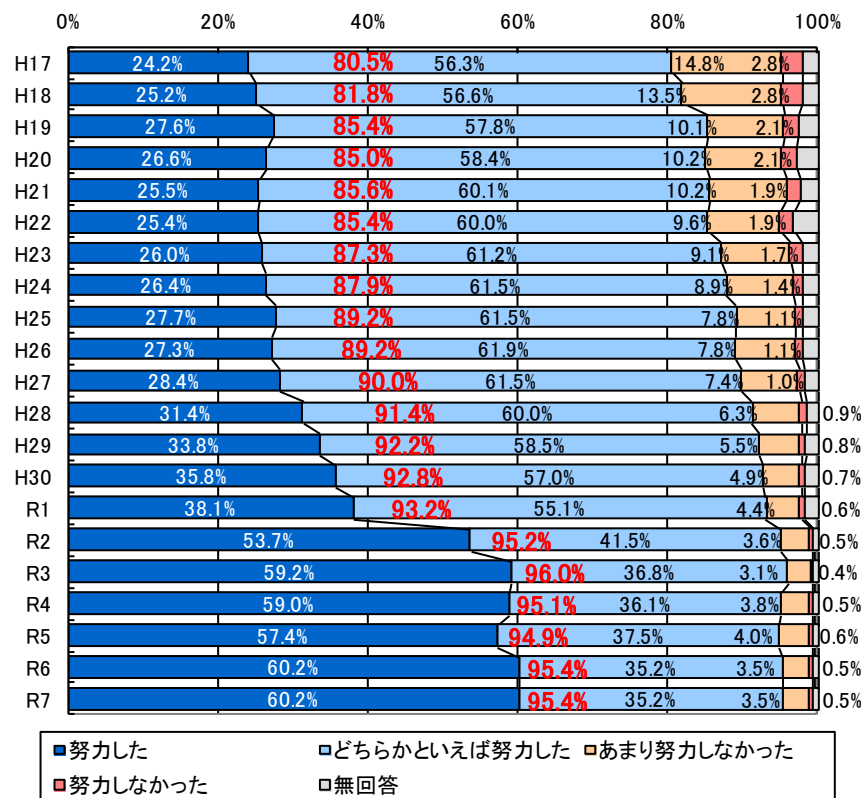


■B: 事前の内容理解(学習支援計画書)

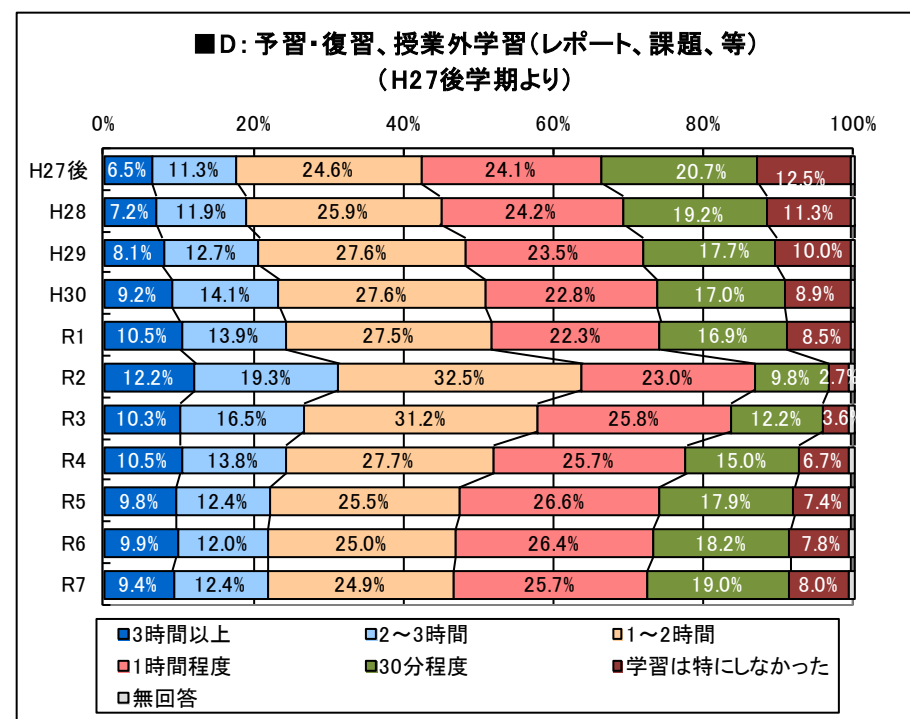
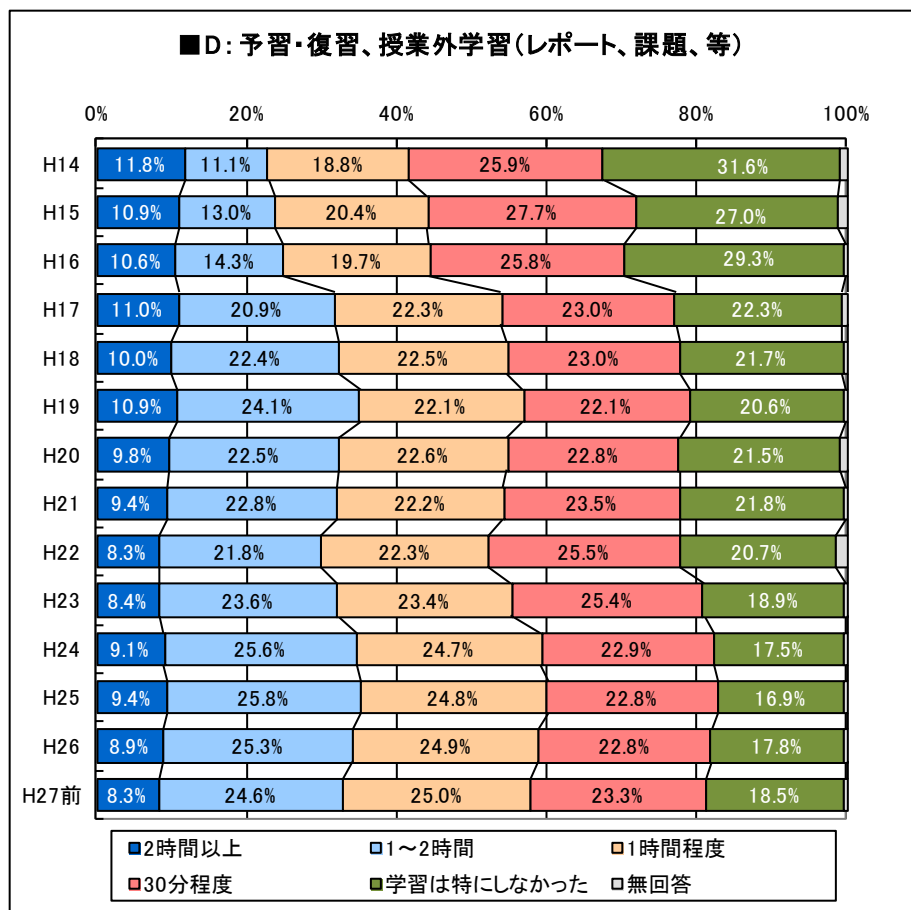


- 「C:自分の熱意と努力」は「授業を受ける際、熱意を持って受講し、理解するために努力しましたか?」という質問であるが、今回の結果は小数点1位までを見ると前回と全く同じで、「努力した」は前回と並んで過去最高の60.2%である。そして、「どちらかといえば努力した」の35.2%を加えると、肯定的な意見の合計は95.4%でR3に次ぐ多さであり、多くの学生が熱意と努力を持って授業に取り組んでいる状況がうかがえる。

■C: 自分の熱意と努力



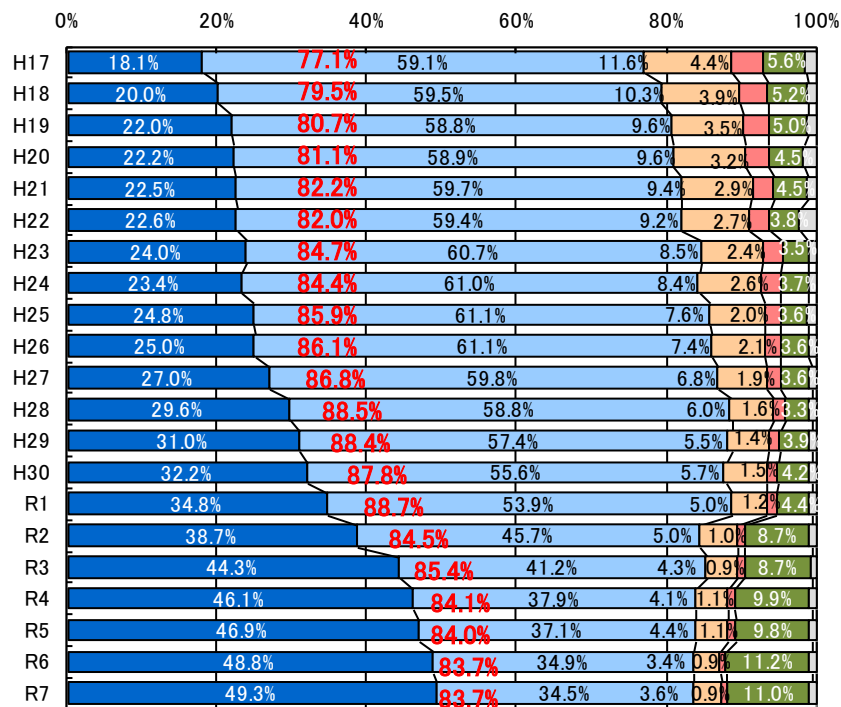
- 「D: 予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)」は「1回の授業に対する予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)はどの程度行いましたか?」という質問であるが、H27後学期(H27後)以降は選択肢を変更したため、別のグラフ(右側)で比較をしている。
- 今回は「3時間以上」が9.4%、「2～3時間」が12.4%、「1～2時間」が24.9%で、いずれも前回からの大きな変化は見られないが、ここまです合計すると46.7%であり、これをしっかりと学習時間を確保している層と考えると、R3から継続的に減少している。
- 一方、「1時間程度」は25.7%、「30分程度」は19.0%、「学習は特にしなかった」は8.0%である。これらも前回からの大きな変化は見られないが、「学習は特にしなかった」の増加傾向は続いている。



※H16までの設問文は「1回の授業に対する予習・復習はどの程度行いましたか」であった。  
 ※H27後学期に選択肢が変わったため、それ以降は別グラフとしている。  
 ※H30後学期より「課外学習活動」の表記を「授業外学習(レポート、課題、等)」に変更している。

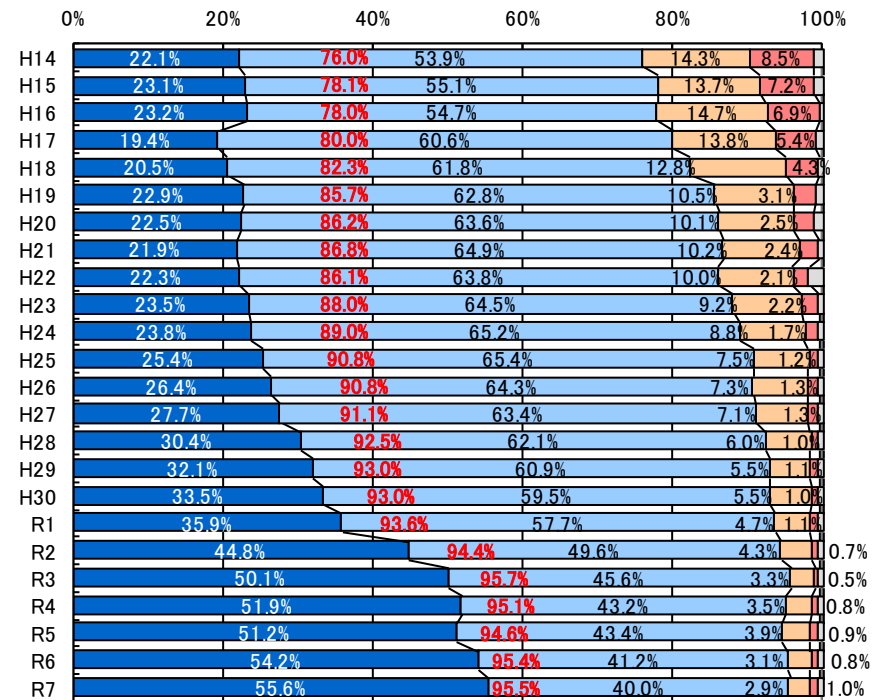
- 「E:教科書・指導書の適切さ」は「教科書・指導書の内容は授業の理解のために適切でしたか?」という質問であるが、「適切だった」は前回を0.5ポイント上回り過去最高の49.3%である。そして、「まあ適切だった」の34.5%を加えると、肯定的な意見の合計は前回と同じ83.7%である。また、「教科書・指導書はなかった」は過去最高であった前回から0.2ポイント低下して11.0%である。
- 「F:課題・レポートの適切さ」は「課題またはレポート等は授業内容の理解を深めるために役立ちましたか?」という質問であるが、「十分役立った」は過去最高の55.6%である。そして、「役立った」の40.0%を加えると、肯定的な意見の合計は過去2番目の95.5%である。

■E:教科書・指導書の適切さ



■適切だった      □まあ適切だった      □あまり適切ではなかった  
 ■適切ではなかった      ■教科書・指導書はなかった      □無回答

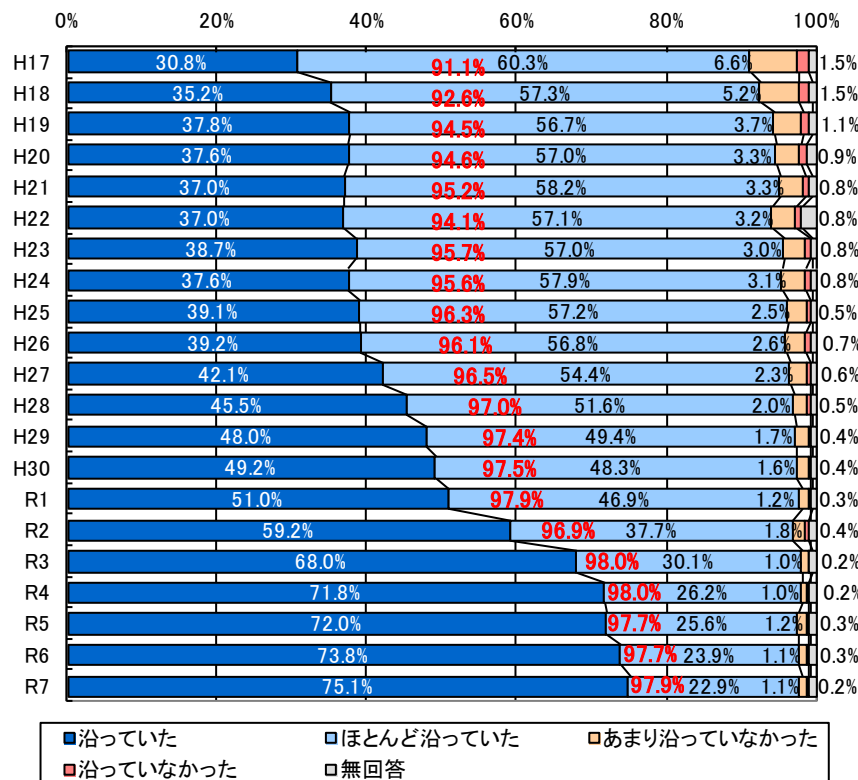
■F:課題・レポートの適切さ



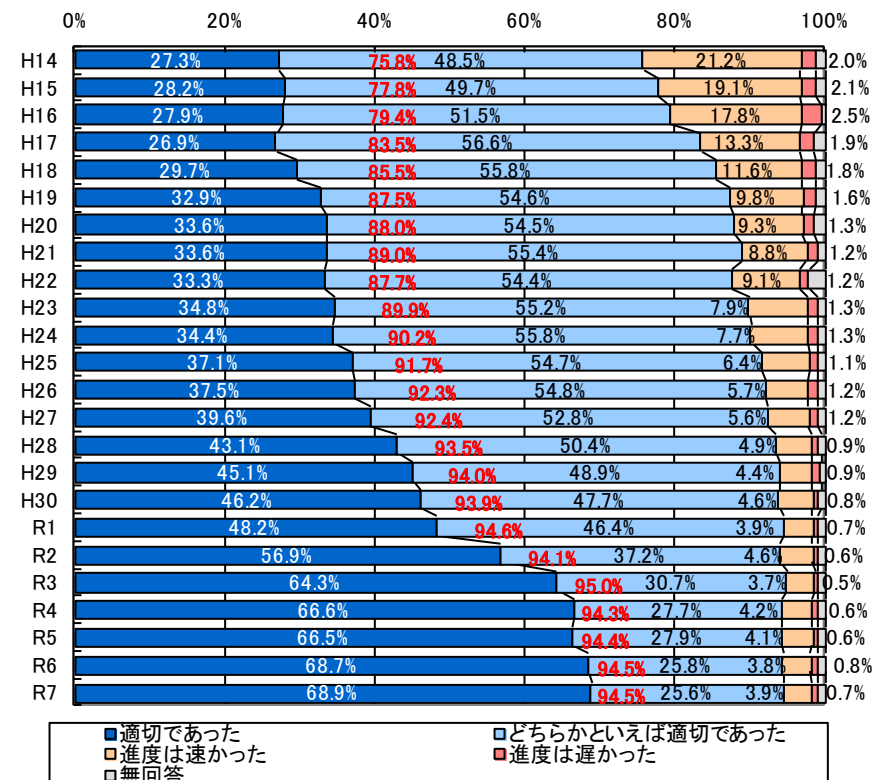
■十分役立った      □役に立った  
 ■あまり役に立たなかった      ■課題またはレポート等はなかった  
 □無回答

- 「G:学習支援計画書との一致」は「授業内容は学習支援計画書に沿っていましたか?」という質問であるが、「沿っていた」は前回は1.3ポイント上回り過去最高の75.1%である。そして、「ほとんど沿っていた」の22.9%を加えると、肯定的な意見の合計は過去2番目の97.9%であり、非常に多い状態が続いている。
- 「H:授業の進度の適切さ」は「授業の進度は内容を理解するのに適切でしたか?」という質問であるが、「適切であった」は前回は0.2ポイント上回り過去最高の68.9%である。そして、「どちらかといえば適切であった」の25.6%を加えると、肯定的な意見の合計は前回と同じ94.5%で、非常に多い状態が続いている。

■ G: 学習支援計画書との一致

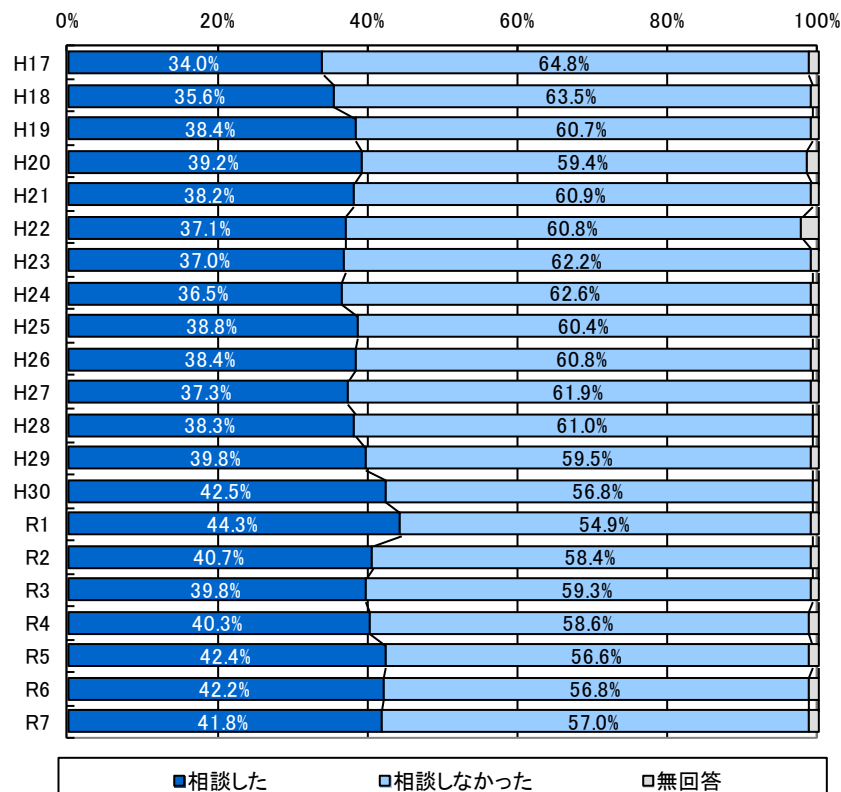


■ H: 授業の進度の適切さ



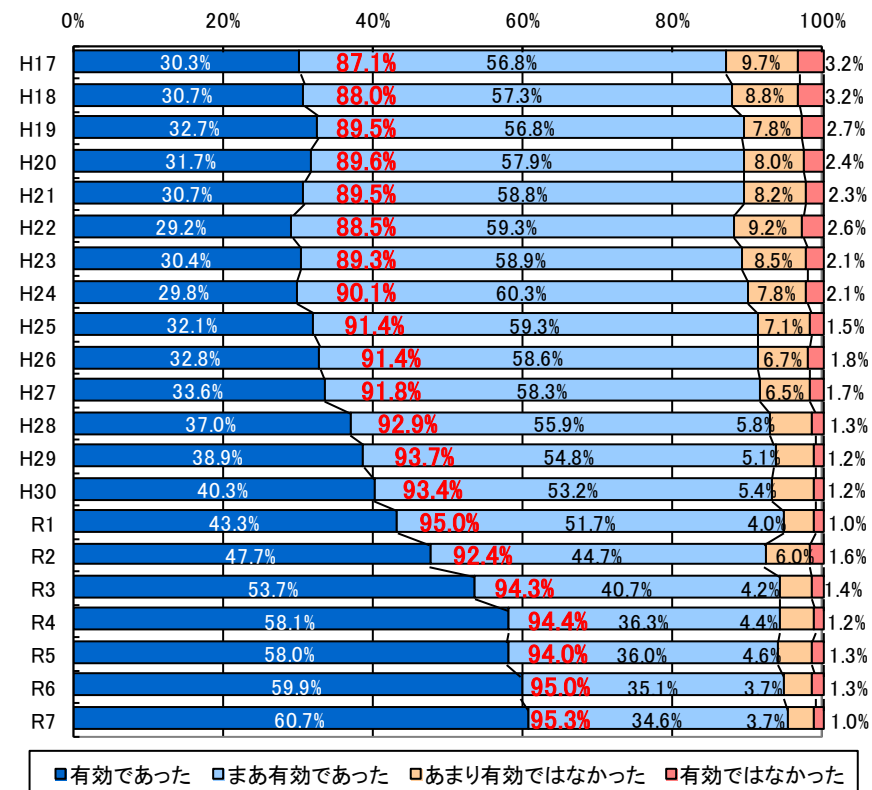
- 「I:学習相談(OH、チューター)の有効性」は「授業内容をよく理解するための、学習相談(オフィスアワー、チューターなど)は有効でしたか?」という質問で、「有効であった」～「有効ではなかった」という内容の評価と、「相談しなかった」という5つの選択肢で聞いている。
- 左のグラフでは、「有効であった」～「有効ではなかった」の4段階で回答した学生を「相談した」層、それ以外を「相談しなかった」層として学習相談の有無を比較しているが、「相談した」は前回は0.4ポイント下回って41.8%であり、わずかながら減少傾向が続いている。
- 右のグラフは「相談した」と回答した学生だけの評価を見ているが、「有効であった」は過去最高の60.7%である。そして、「まあ有効であった」の34.6%を加えると、肯定的な意見の合計は前回は0.3ポイント上回り過去最高の95.3%となり、「学習相談(OH、チューター)」の評価は非常に高い状態が続いている。

■学習相談の有無



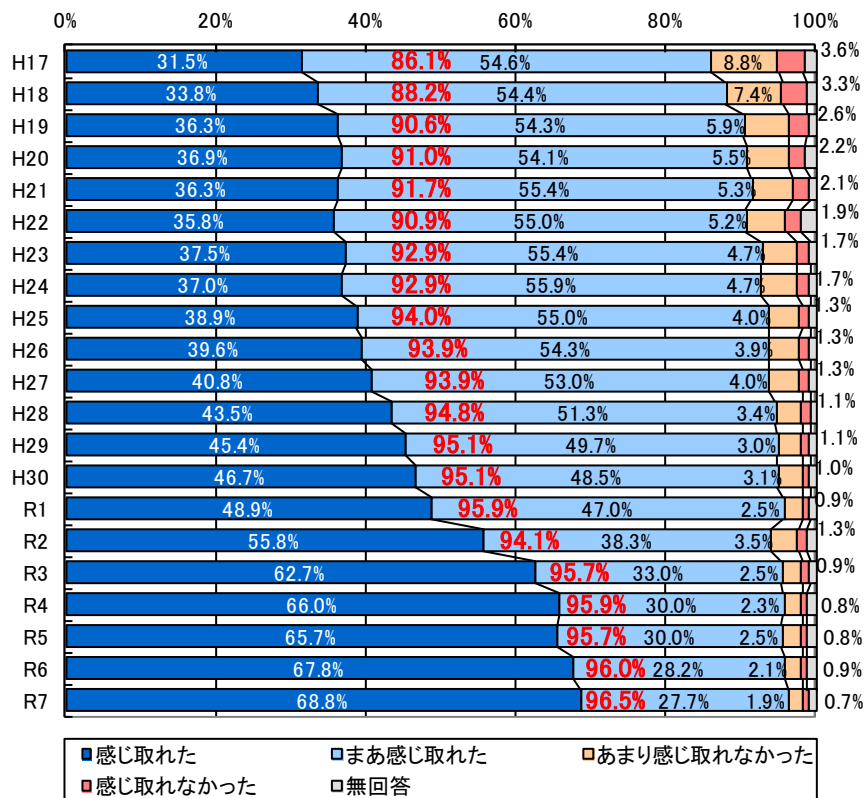
■I: 学習相談(OH、チューター)の有効性

※相談経験者のみに絞って有効性を聞いた。

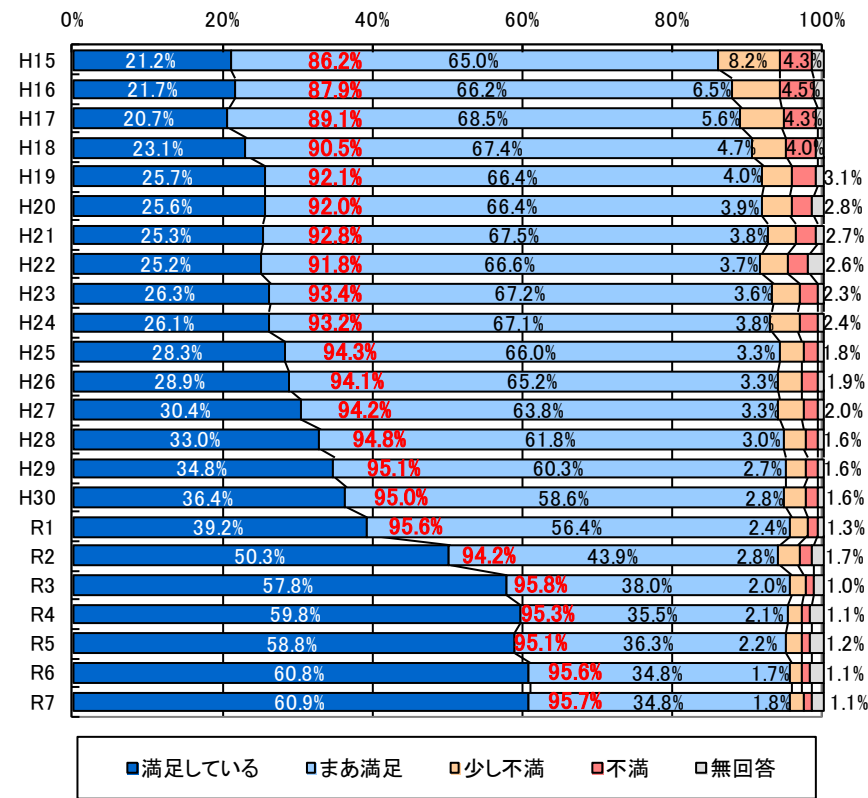


- 「J:教員の熱意」は「授業や学習相談を通して、教員の熱意を感じることができましたか?」という質問であるが、「感じ取れた」は過去最高の68.8%である。そして、「まあ感じ取れた」の27.7%を加えると、肯定的な意見の合計は前回は0.5ポイント上回り過去最高の96.5%であり、ほとんどの学生が授業で教員の熱意を感じ取れたと答えている。
- 「K:この科目の満足度」では、「満足している」が過去最高の60.9%である。そして、「まあ満足」の34.8%を加えると、満足度は前回は0.1ポイント上回り過去最高の95.7%となり、ほとんどの学生が授業に満足している。

■ J: 教員の熱意



■ K: この科目の満足度

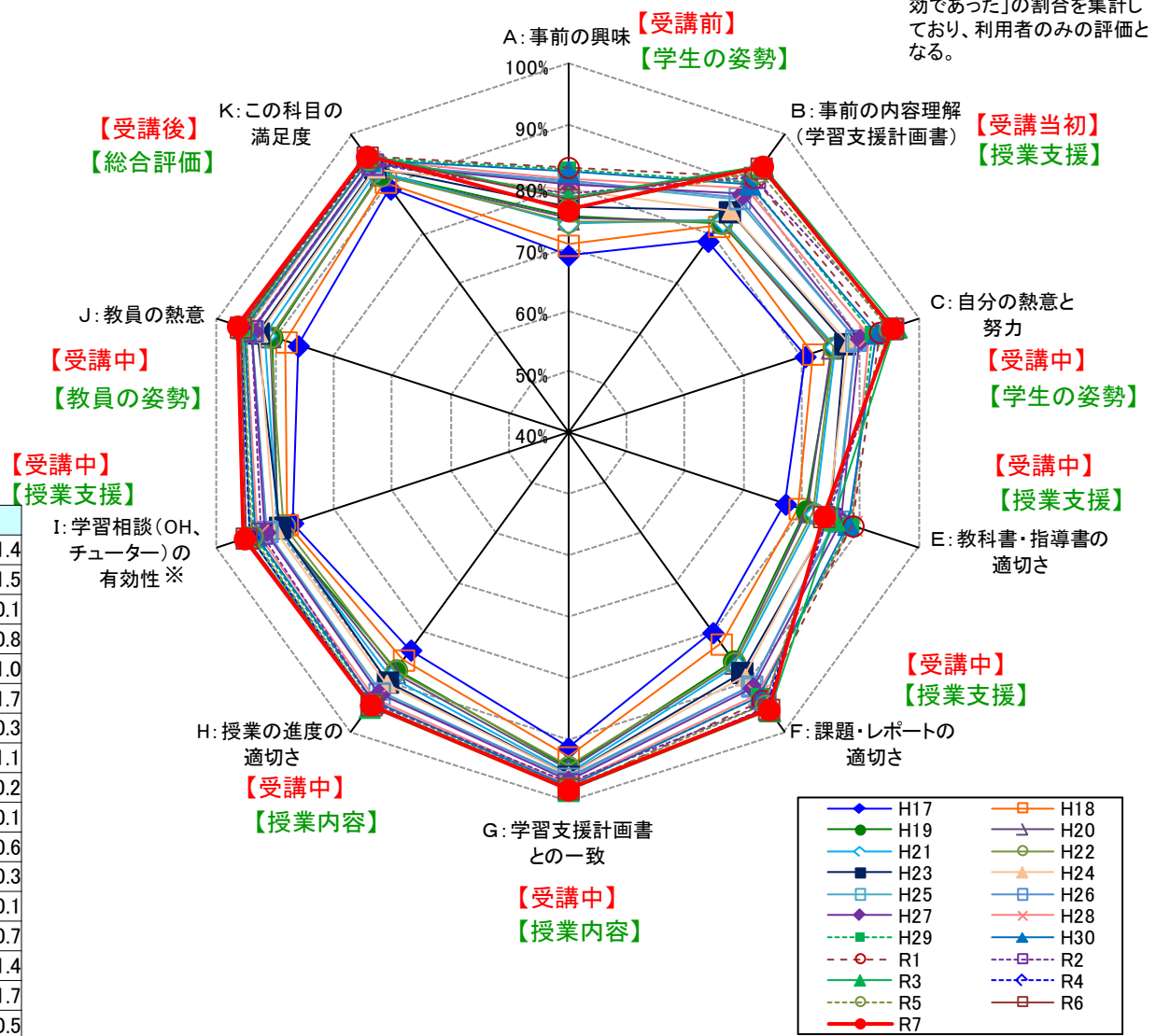


- 肯定的な意見の割合(%)を年度別にレーダーチャートにプロットして比較をしている。
- 比較のできない「D: 予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)」は除外し、「I: 学習相談(OH、チューター)の有効性」は利用経験者の評価だけを抽出している。
- 肯定的な意見の合計を見ると、「A: 事前の興味」だけが前回よりわずかに1.8ポイント下回る。そして、「C: 自分の熱意と努力」「E: 教科書・指導書の適切さ」「H: 授業の進度の適切さ」は前回と同じである。
- 一方、「B: 事前の内容理解」「I: 学習相談(OH、チューター)の有効性」「J: 教員の熱意」は過去最高である。

■ 肯定的な意見の差(単位: ポイント)

|          | A    | B    | C    | E    | F    | G    | H    | I    | J    | K    |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| H17からH18 | 1.6  | 3.0  | 1.3  | 2.4  | 2.3  | 1.5  | 2.0  | 0.9  | 2.1  | 1.4  |
| H18からH19 | 4.7  | 0.7  | 3.6  | 1.2  | 3.4  | 1.9  | 2.0  | 1.5  | 2.4  | 1.5  |
| H19からH20 | -0.4 | 0.2  | -0.4 | 0.3  | 0.4  | 0.1  | 0.5  | 0.2  | 0.3  | -0.1 |
| H20からH21 | -0.8 | 0.2  | 0.6  | 1.1  | 0.6  | 0.6  | 1.0  | -0.1 | 0.7  | 0.8  |
| H21からH22 | 0.3  | -0.4 | -0.3 | -0.1 | -0.7 | -1.0 | -1.4 | -1.1 | -0.8 | -1.0 |
| H22からH23 | 2.4  | 2.2  | 1.9  | 2.7  | 1.9  | 1.6  | 2.3  | 0.9  | 2.1  | 1.7  |
| H23からH24 | 2.8  | 0.2  | 0.6  | -0.3 | 0.9  | -0.2 | 0.3  | 0.8  | -0.1 | -0.3 |
| H24からH25 | 1.1  | 2.0  | 1.3  | 1.5  | 1.8  | 0.8  | 1.5  | 1.3  | 1.1  | 1.1  |
| H25からH26 | 0.3  | 0.5  | -0.1 | 0.2  | 0.0  | -0.3 | 0.6  | 0.1  | 0.0  | -0.2 |
| H26からH27 | -0.3 | 0.7  | 0.7  | 0.7  | 0.4  | 0.5  | 0.1  | 0.5  | -0.1 | 0.1  |
| H27からH28 | 0.9  | 1.0  | 1.4  | 1.7  | 1.4  | 0.5  | 1.1  | 1.1  | 1.0  | 0.6  |
| H28からH29 | 1.3  | 1.1  | 0.8  | 0.0  | 0.5  | 0.4  | 0.5  | 0.8  | 0.3  | 0.3  |
| H29からH30 | -0.1 | -0.1 | 0.6  | -0.5 | 0.0  | 0.1  | -0.1 | -0.3 | 0.1  | -0.1 |
| H30からR1  | 0.6  | 1.3  | 0.4  | 0.9  | 0.6  | 0.4  | 0.7  | 1.6  | 0.7  | 0.7  |
| R1からR2   | -4.3 | 0.0  | 2.0  | -4.2 | 0.7  | -1.0 | -0.6 | -2.6 | -1.7 | -1.4 |
| R2からR3   | -0.5 | 2.3  | 0.8  | 1.0  | 1.3  | 1.1  | 1.0  | 1.9  | 1.6  | 1.7  |
| R3からR4   | -1.9 | -0.3 | -0.9 | -1.4 | -0.6 | -0.1 | -0.7 | 0.1  | 0.2  | -0.5 |
| R4からR5   | -0.2 | -0.8 | -0.2 | 0.0  | -0.5 | -0.3 | 0.1  | -0.4 | -0.3 | -0.2 |
| R5からR6   | 1.6  | 0.8  | 0.5  | -0.3 | 0.8  | 0.0  | 0.1  | 1.0  | 0.3  | 0.4  |
| R6からR7   | -1.8 | 0.4  | 0.0  | 0.0  | 0.1  | 0.2  | 0.0  | 0.3  | 0.5  | 0.1  |

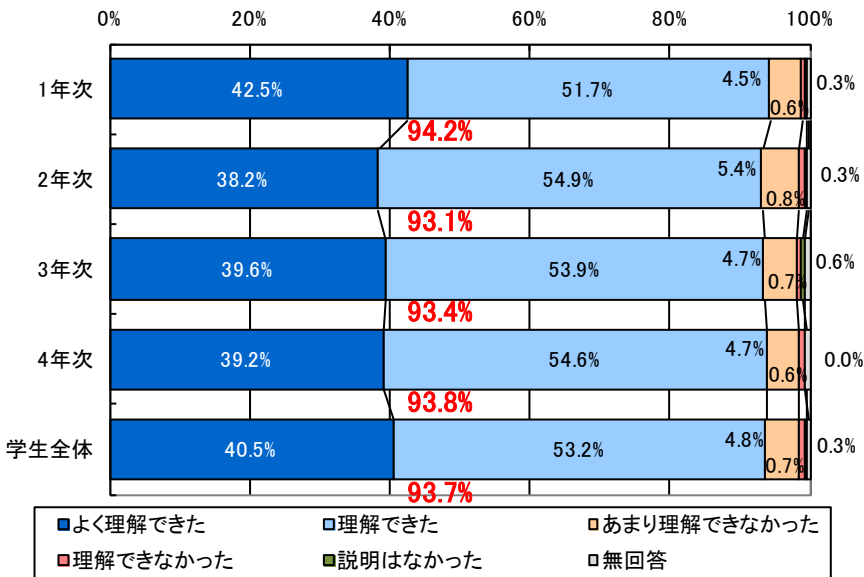
■ 比較可能な項目の経年変化比較レーダーチャート



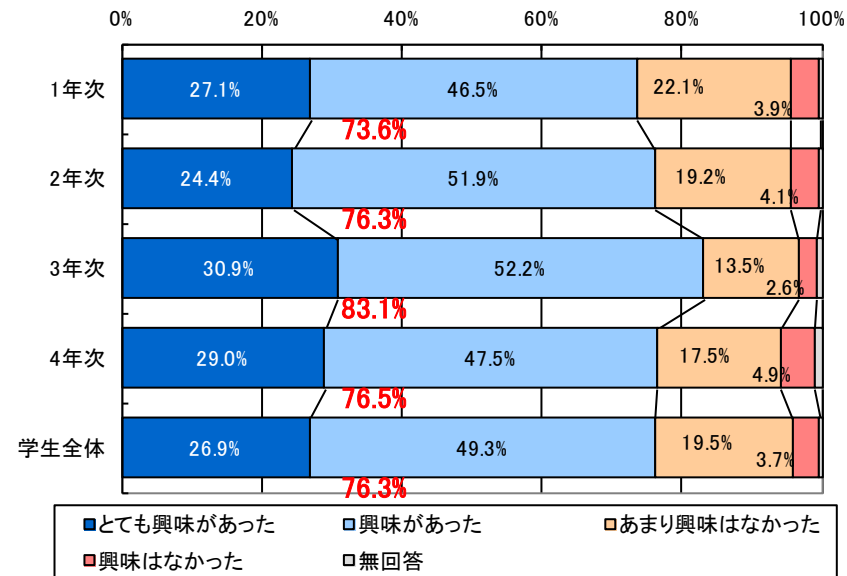
### ＜3＞学年別の分析

- 今回、1年次は令和7年度以降入学者に対応する新たな学部学科となるが、学年別の比較においては留年と思われる学生は除外せず、年所属クラス通りの学年で集計している。また、グラフ中の赤太文字は、肯定的な意見の合計を示している。
- 「A:事前の興味」で肯定的な意見の合計が最も多いのは「3年次」の83.1%であり、他の学年と比べて多さが目立っている。そして、「4年次」「2年次」「1年次」と続き、「3年次」と「1年次」の差は9.5ポイントである。
- 「B:事前の内容理解(学習支援計画書)」で肯定的な意見の合計が最も多いのは「1年次」の94.2%である。次いで、「4年次」「3年次」「2年次」と続いているが、4学年の差は最大で1.1ポイントと小さく、いずれの学年でも高い評価である。
- 「C:自分の熱意と努力」の肯定的な意見の合計も学年による差が小さく、最も多いのは「3年次」の96.2%、次いで、「1年次」「2年次」「4年次」と続き、差は最大で2.2ポイントである。

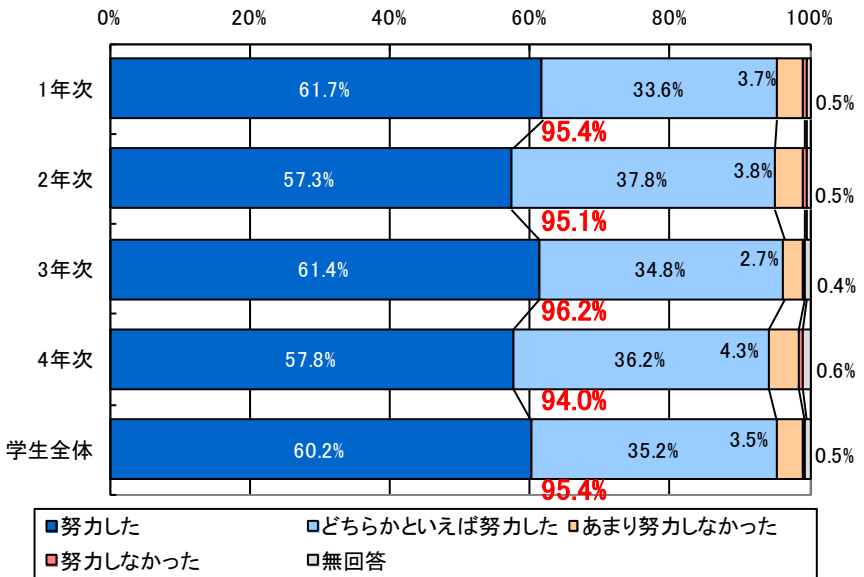
■B: 事前の内容理解(学習支援計画書)



■A: 事前の興味

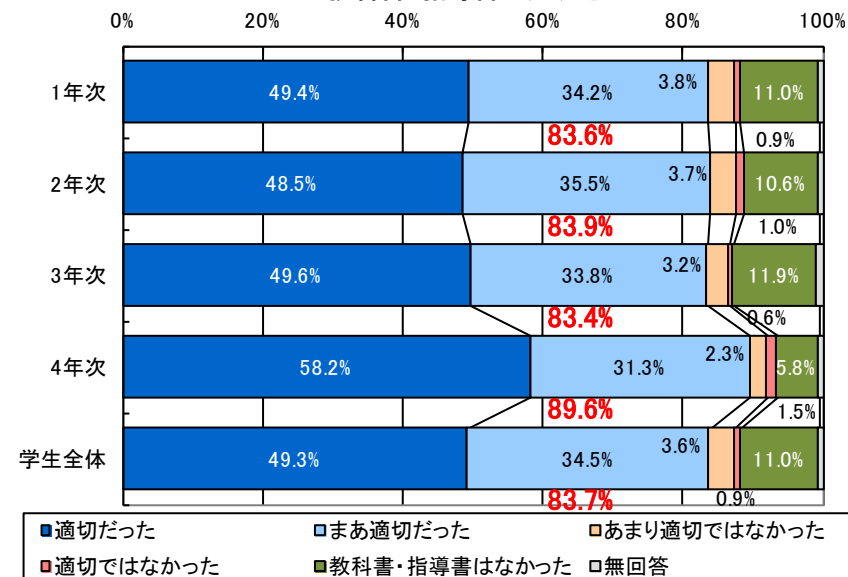


■C: 自分の熱意と努力

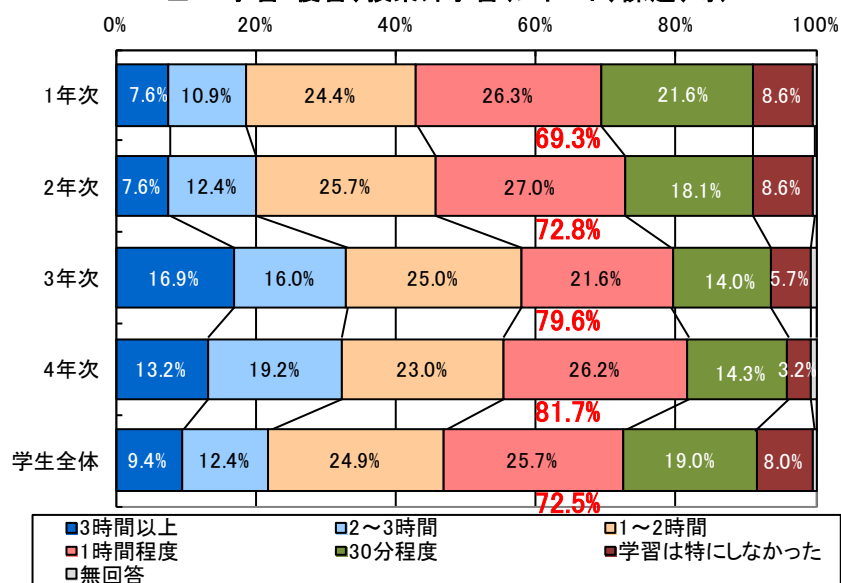


- 「D: 予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)」で「1時間程度」までの合計(グラフ内の赤太文字)を学年別に見ると、「1年次」から「4年次」にかけて69.3%、72.8%、79.6%、81.7%と、高学年ほど学習時間が長い傾向が見られる。
- 「E: 教科書・指導書の適切さ」で肯定的な意見の合計が最も多いのは「4年次」の89.6%であり、他の学年と比べて多さが目立っている。次いで、「2年次」「1年次」「3年次」の順に減少しており、差は最大で6.2ポイントである。そして、「教科書・指導書はなかった」は、「4年次」が5.8%と少なさが目立っている。
- 「F: 課題・レポートの適切さ」で肯定的な意見の合計が最も多いのは「1年次」の96.4%である。一方、最も少ないのは「4年次」の94.2%で差は最大で2.2ポイントと小さく、いずれの学年でも高い評価である。

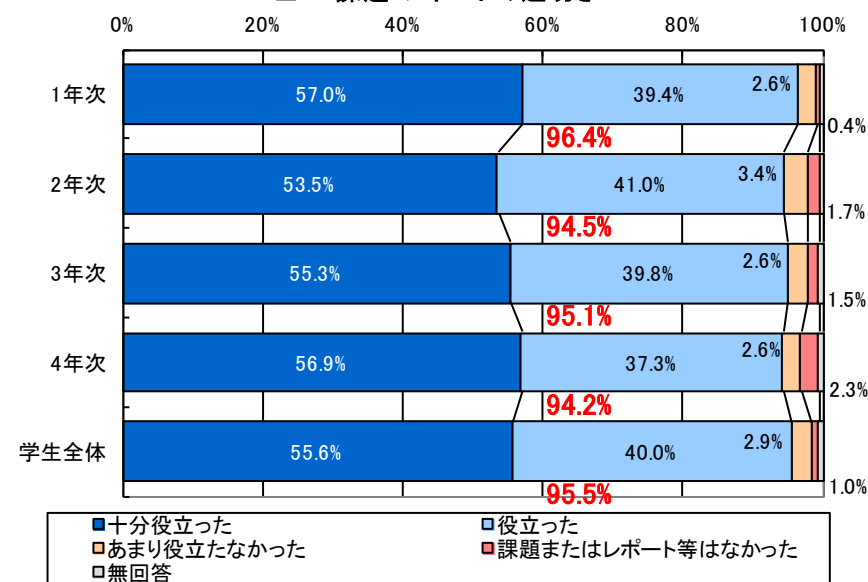
■E: 教科書・指導書の適切さ



■D: 予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)

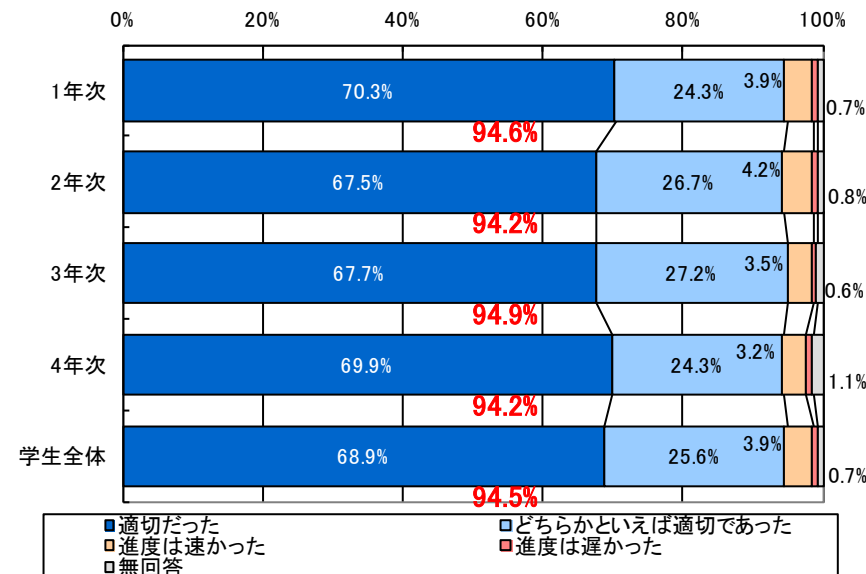


■F: 課題・レポートの適切さ

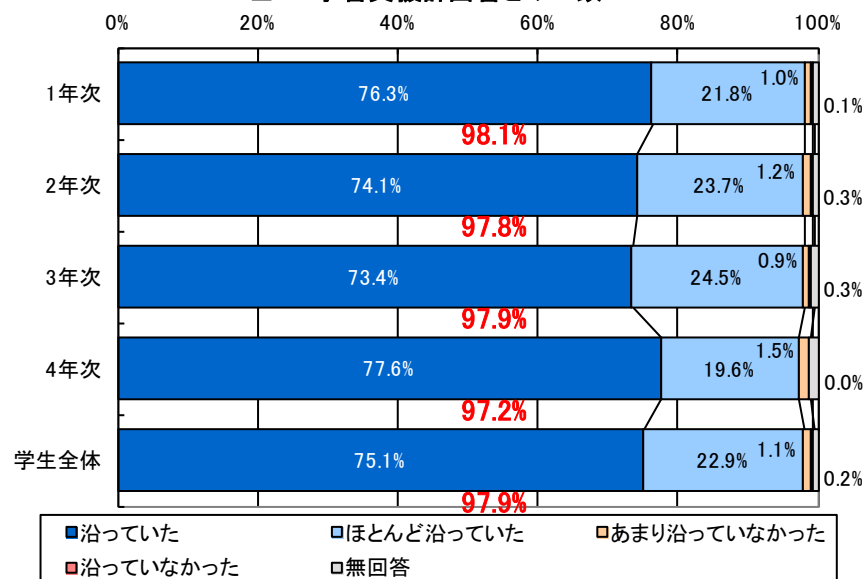


- 「G:学習支援計画書との一致」で肯定的な意見の合計が最も多いのは「1年次」の98.1%である。一方、最も少ないのは「4年次」の97.2%であり、差は最大で0.9ポイントと非常に小さく、いずれの学年でも「沿っていた」は7割を超えており、非常に高い評価である。
- 「H:授業の進度の適切さ」で肯定的な意見の合計が最も多いのは「3年次」の94.9%で、「1年次」が94.6%、「2年次」と「4年次」が94.2%で続き、差は最大で0.7ポイントと小さく、いずれの学年でも非常に高い評価である。
- 「I:学習相談(OH、チューター)の有効性」では、「相談しなかった」がいずれの学年でも5割を超えており、最も多いのは「2年次」の61.7%、最も少ないのは「4年次」の52.7%で、学習相談に慣れていないといった学年との相関関係は見られない。そして、「有効であった」の割合が最も多いのは「4年次」の30.1%で、否定的な意見はいずれの学年でも3%以下に収まり、利用者からの評価は非常に高い。

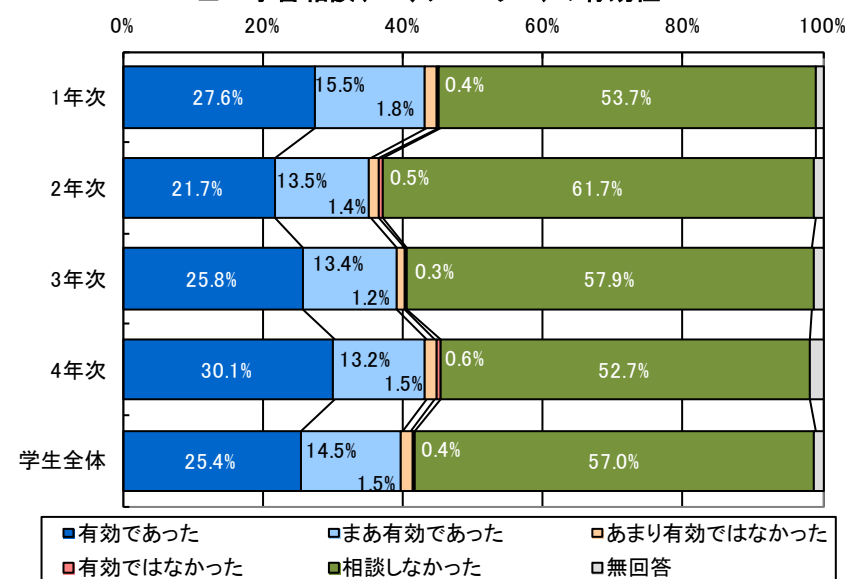
■H: 授業の進度の適切さ



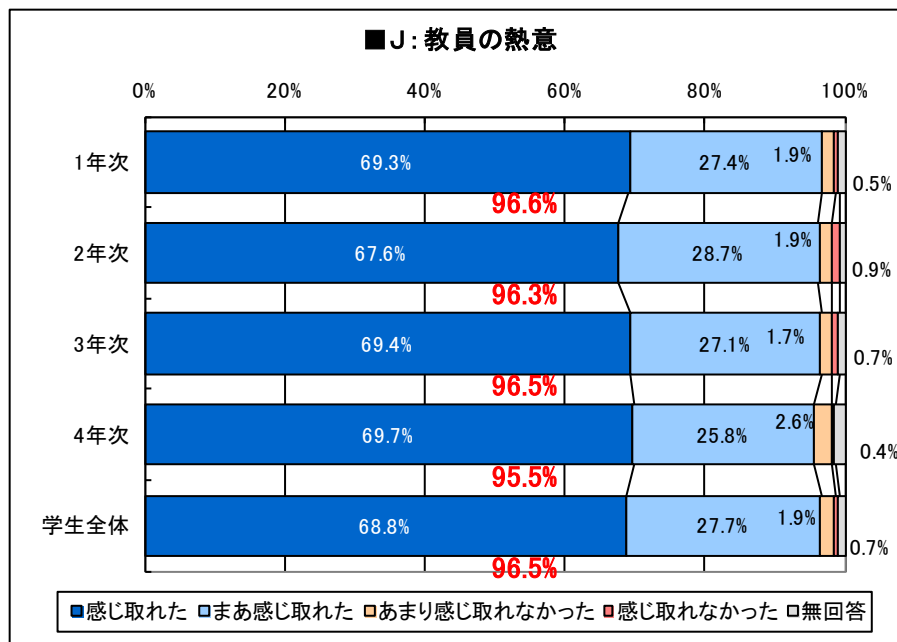
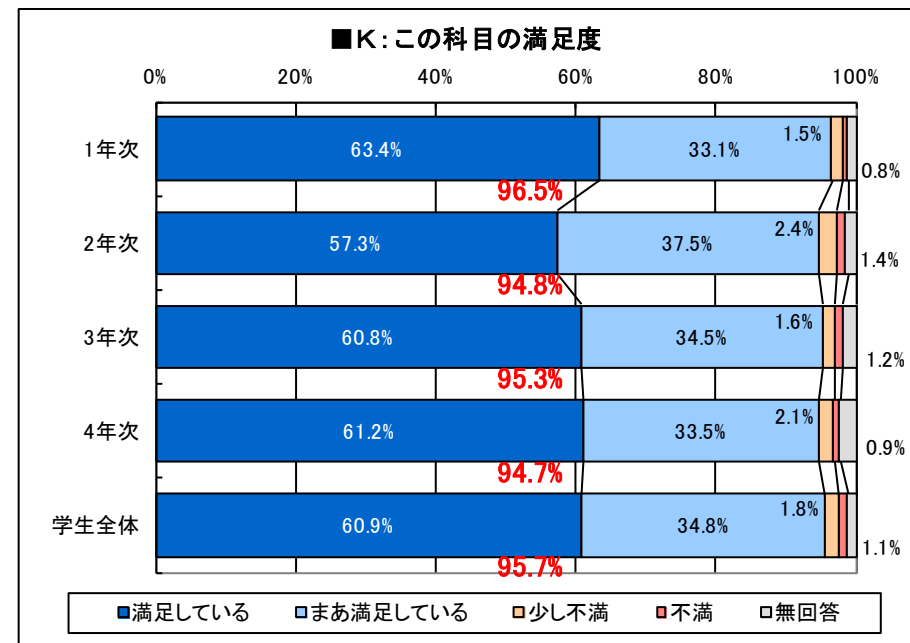
■G: 学習支援計画書との一致



■I: 学習相談(OH、チューター)の有効性



- 「J:教員の熱意」の肯定的な意見の合計は、いずれの学年でも95%を超えて非常に高い評価である。最も多いのは「1年次」の96.6%であり、「感じ取れた」が69.3%である。次いで、「3年次」が96.5%、「2年次」が96.3%、「4年次」が95.5%で続き、差は最大で1.1ポイントと小さい。
- 「K:この科目の満足度」の肯定的な意見の合計も、いずれの学年でもほぼ95%前後で非常に高い満足度である。最も満足度が高いのは「1年次」の96.5%であり、「満足している」だけを見ても63.4%と最も多い。次いで、「3年次」が95.3%、「2年次」が94.8%、「4年次」が94.7%と続き、差は最大で1.8ポイントと小さく、学年との相関関係は見られない。



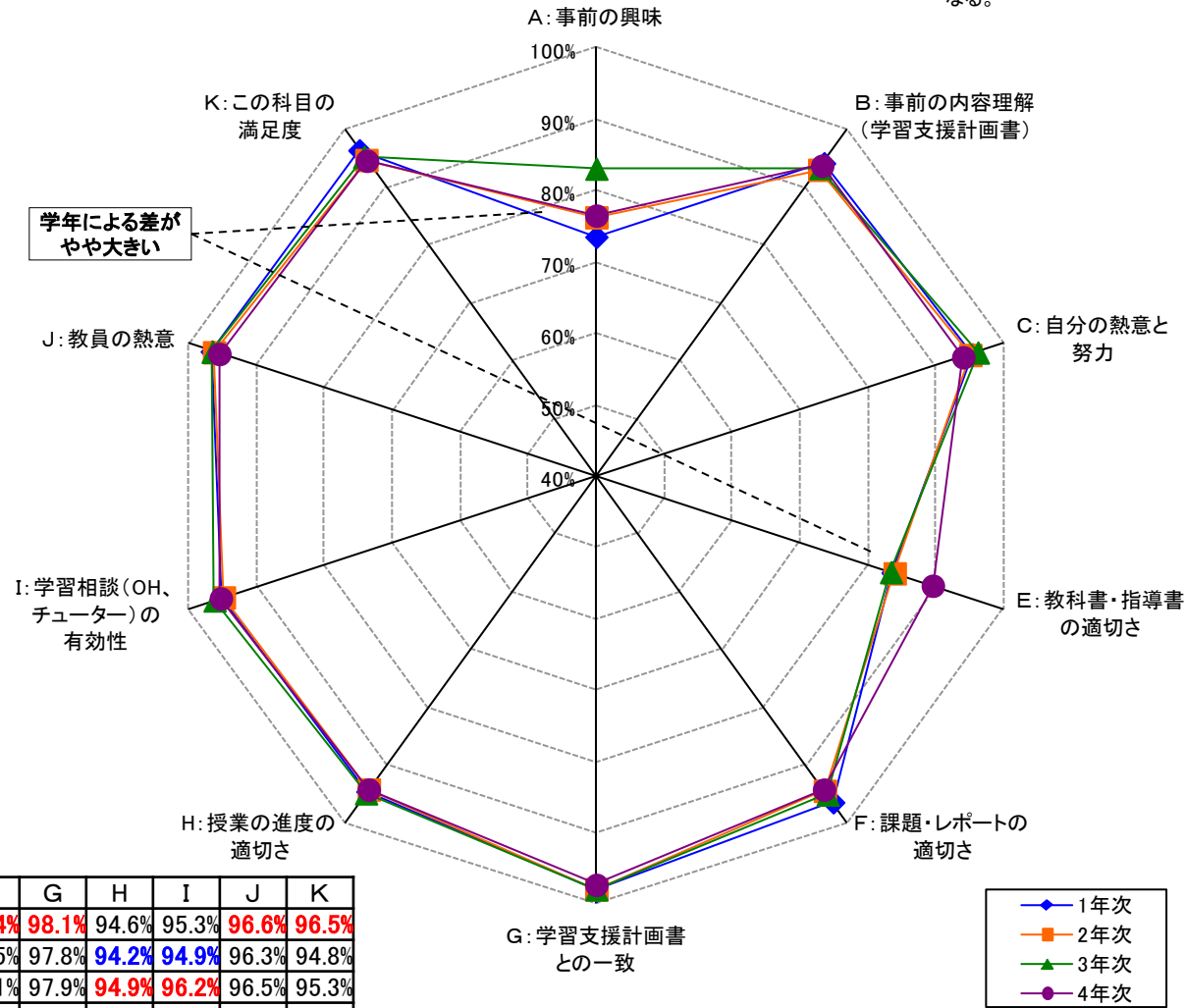
- 肯定的な意見の割合を学年別にレーダーチャートにプロットして比較をしている。
- 学年による差がやや大きいのは「A:事前の興味」と「E:教科書・指導書の適切さ」であり、「A:事前の興味」では「3年次」が高く、「1年次」が低い。また、「E:教科書・指導書の適切さ」では「4年次」が高い点が特徴的である。
- 上記以外の項目では学年による大きな差は見られないが、下記の表を見ると、「1年次」は10項目中の5項目で最も高く、「3年次」が4項目で最も高い。一方、「4年次」は6項目で最も低い。

■ 学年別比較

|     | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1年次 | 73.6% | 94.2% | 95.4% | 83.6% | 96.4% | 98.1% | 94.6% | 95.3% | 96.6% | 96.5% |
| 2年次 | 76.3% | 93.1% | 95.1% | 83.9% | 94.5% | 97.8% | 94.2% | 94.9% | 96.3% | 94.8% |
| 3年次 | 83.1% | 93.4% | 96.2% | 83.4% | 95.1% | 97.9% | 94.9% | 96.2% | 96.5% | 95.3% |
| 4年次 | 76.5% | 93.8% | 94.0% | 89.6% | 94.2% | 97.2% | 94.2% | 95.3% | 95.5% | 94.7% |

※最高が赤太文字、最低が青太文字としている。

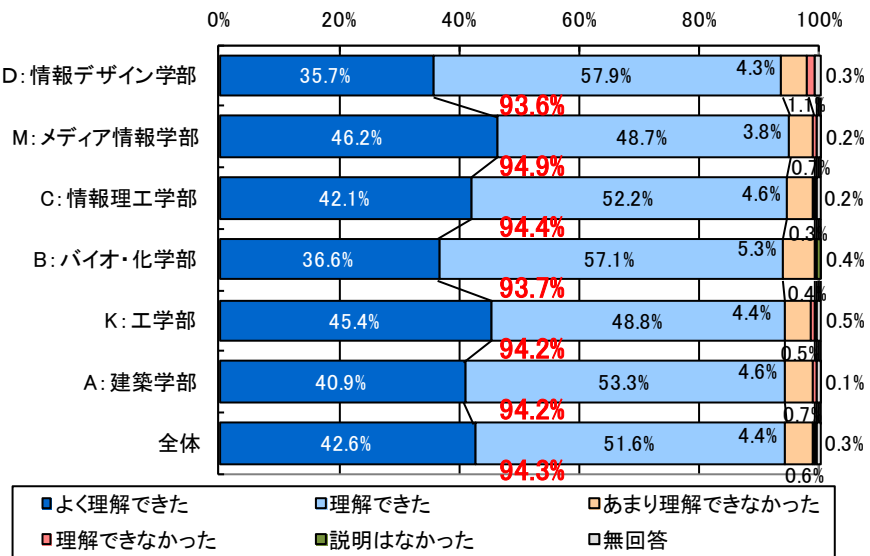
■ 学年別比較レーダーチャート



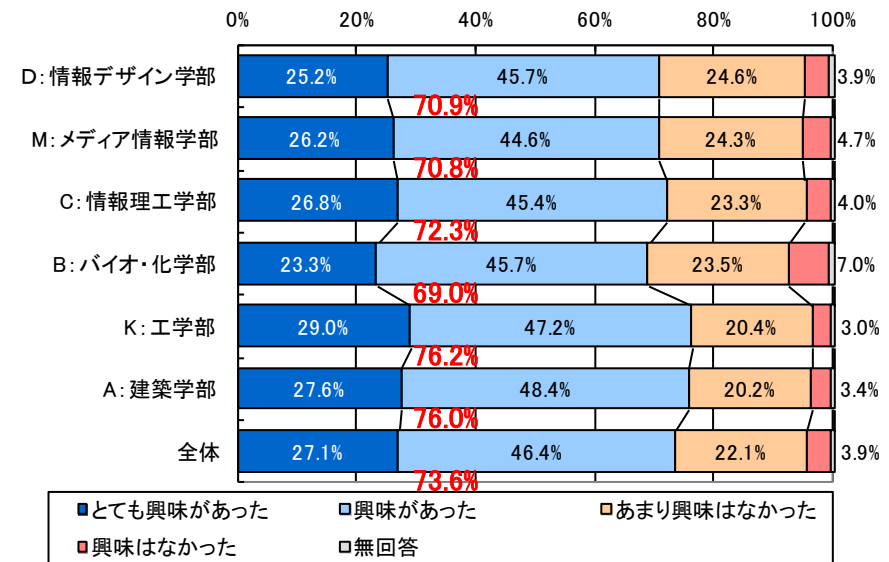
## ＜4＞学部・学科別の分析

- 「A:事前の興味」で肯定的な意見が最も多いのは「K:工学部」の76.2%であり、次いで、「A:建築学部」が76.0%、「C:情報理工学部」が72.3%で続いている。一方、最も少ないのは「B:バイオ・化学部」の69.0%で、唯一7割に満たない。そして、6学部の差は最大で7.2ポイントである。
- 「B:事前の内容理解(学習支援計画書)」で肯定的な意見が最も多いのは「M:メディア情報学部」の94.9%であり、「C:情報理工学部」が94.4%、「K:工学部」と「A:建築学部」が94.2%で続いている。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」の93.6%であり、差は最大で1.3ポイントと小さい。
- 「C:自分の熱意と努力」で肯定的な意見が最も多いのは「A:建築学部」の96.6%であり、「M:メディア情報学部」が96.0%、「K:工学部」が95.1%で続いている。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」の93.5%であり、「努力した」も52.4%と少なさが目立っている。ただし、いずれの学部でも肯定的な意見は9割を超えており、高い熱意と努力が感じられる。

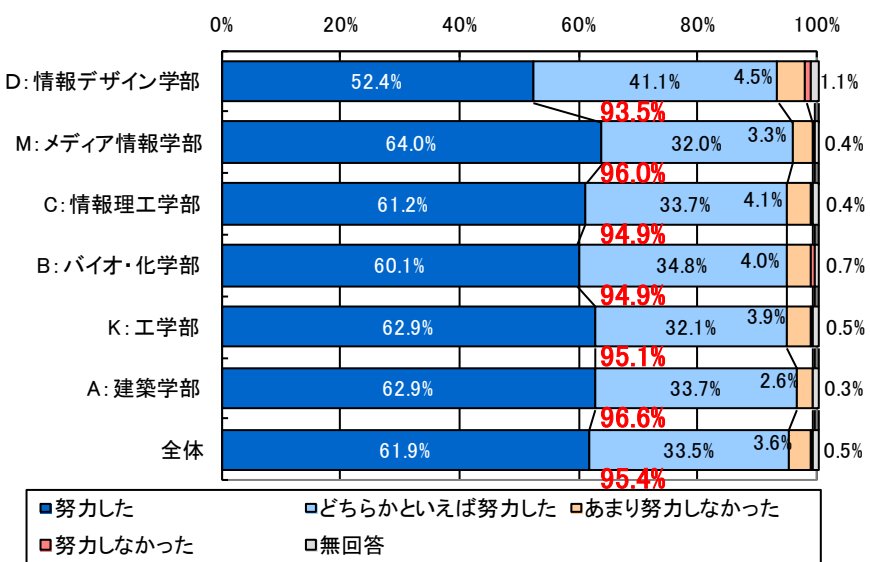
■B: 事前の内容理解(学習支援計画書)



■A: 事前の興味

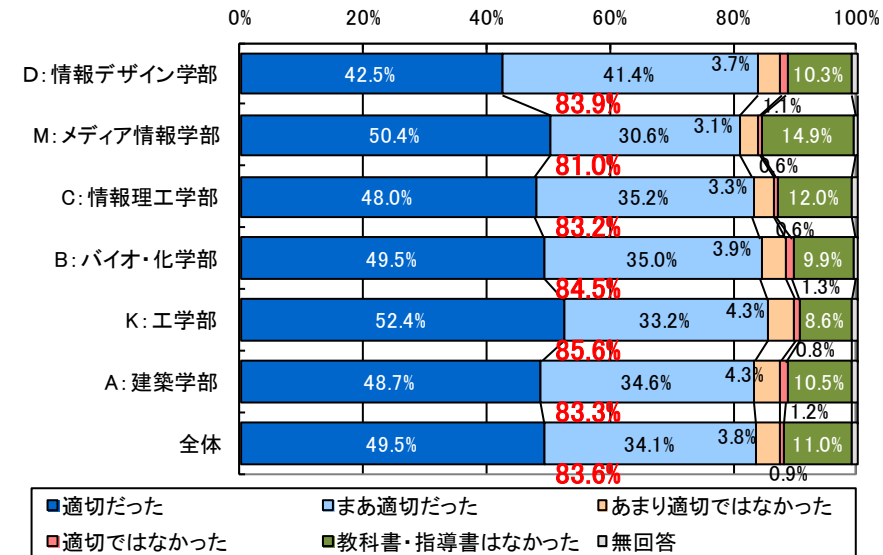


■C: 自分の熱意と努力

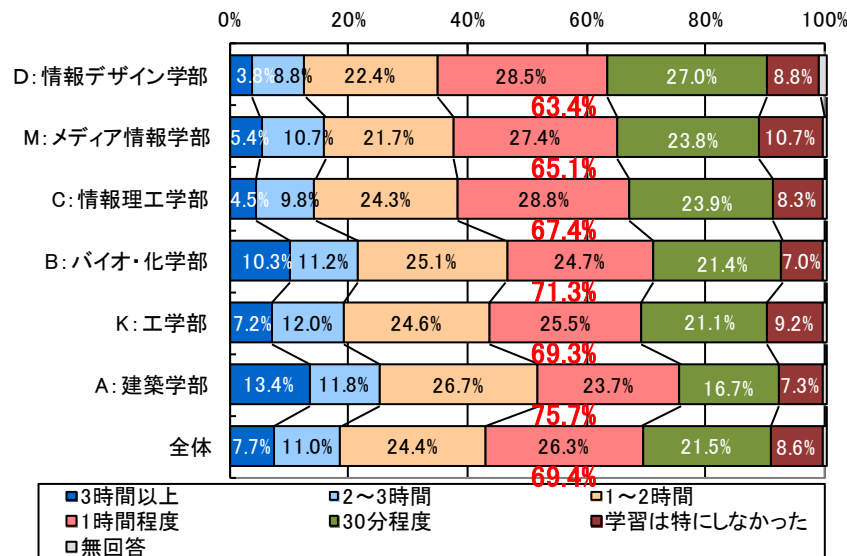


- 「D:予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)」で「1時間程度」までの合計を学部別に見ると、最も多いのは「A:建築学部」の75.7%で、「3時間以上」が13.4%となるなど、学習時間の多さが目立っている。次いで、「B:バイオ・化学部」が71.3%、「K:工学部」が69.3%となっている。一方、「学習は特にしなかった」が最も多いのは「M:メディア情報学部」の10.7%である。
- 「E:教科書・指導書の適切さ」で肯定的な意見が最も多いのは「K:工学部」の85.6%で、「B:バイオ・化学部」が84.5%、「D:情報デザイン学部」が83.9%で続いている。一方、最も少ないのは「M:メディア情報学部」の81.0%で、差は最大で4.6ポイントである。そして、「教科書・指導書はなかった」が最も多いのは「M:メディア情報学部」の14.9%である。
- 「F:課題・レポートの適切さ」で肯定的な意見が最も多いのは「M:メディア情報学部」の97.4%である。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」の94.6%であり、差は最大で2.8ポイントと小さく、いずれの学部もほぼ95%を超えており、高い評価である。

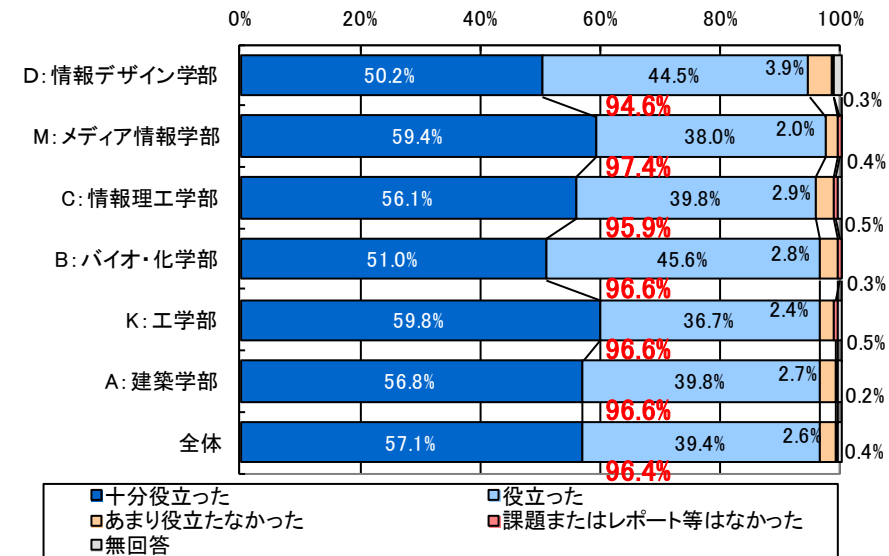
■E:教科書・指導書の適切さ



■D:予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)

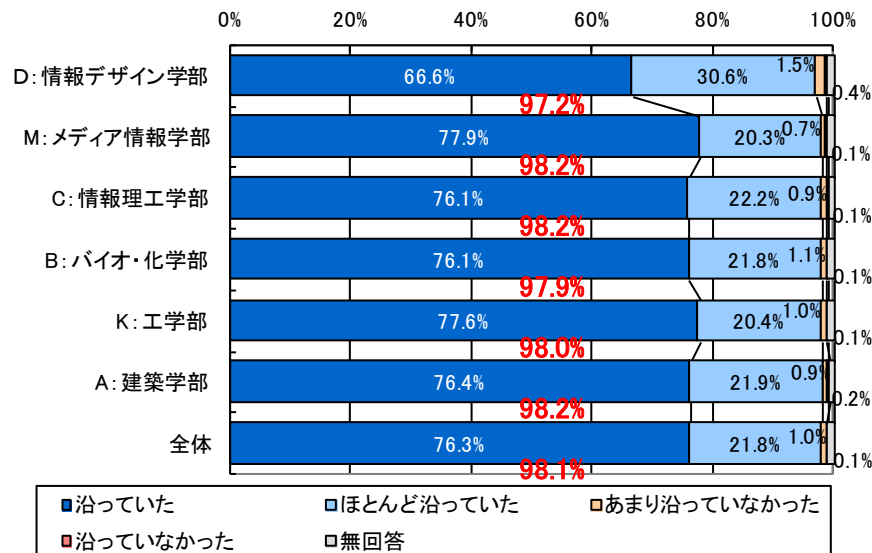


■F:課題・レポートの適切さ

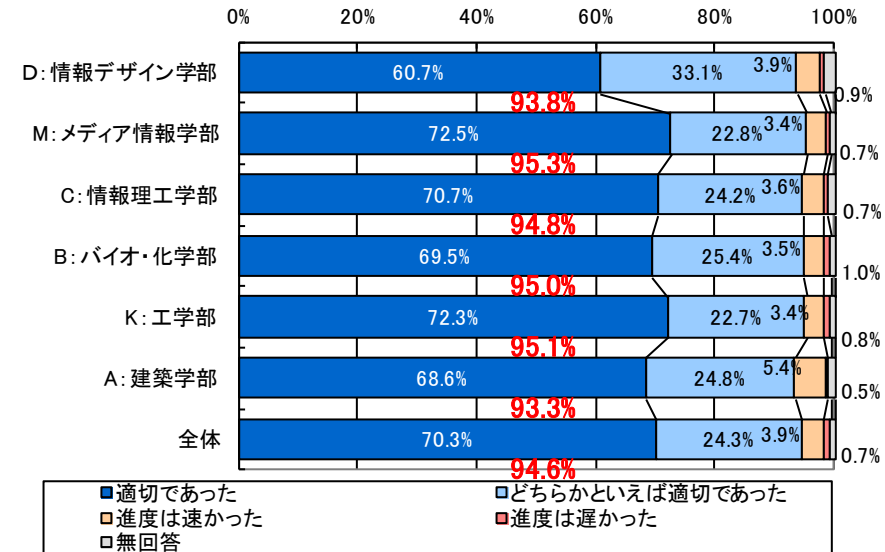


- 「G:学習支援計画書との一致」で肯定的な意見が多いのは「M:メディア情報学部」「C:情報理工学部」「A:建築学部」で、3学部ともに98.2%である。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」の97.2%で、「沿っていた」が66.6%と、唯一7割を下回る。ただし、肯定的な意見はいずれの学部でも95%を超えており、学習支援計画書との一致に関しては全体的に非常に高い評価である。
- 「H:授業の進度の適切さ」で肯定的な意見が最も多いのは「M:メディア情報学部」の95.3%であり、「K:工学部」が95.1%、「B:バイオ・化学部」が95.0%で続いている。一方、最も少ないのは「A:建築学部」の93.3%であり、差は最大で2.0ポイントと小さく、授業の進度に関しても全体的に非常に高い評価である。
- 「I:学習相談(OH、チューター)の有効性」で「相談しなかった」の割合を見ると、「C:情報理工学部」が60.8%、「M:メディア情報学部」が57.9%であり、この2学部がやや多い。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」の40.1%で、差は最大で20.7ポイントと非常に大きい。そして、有効性を見ると、否定的な意見はいずれの学部でも3%に満たず、利用者からの評価は非常に高い。

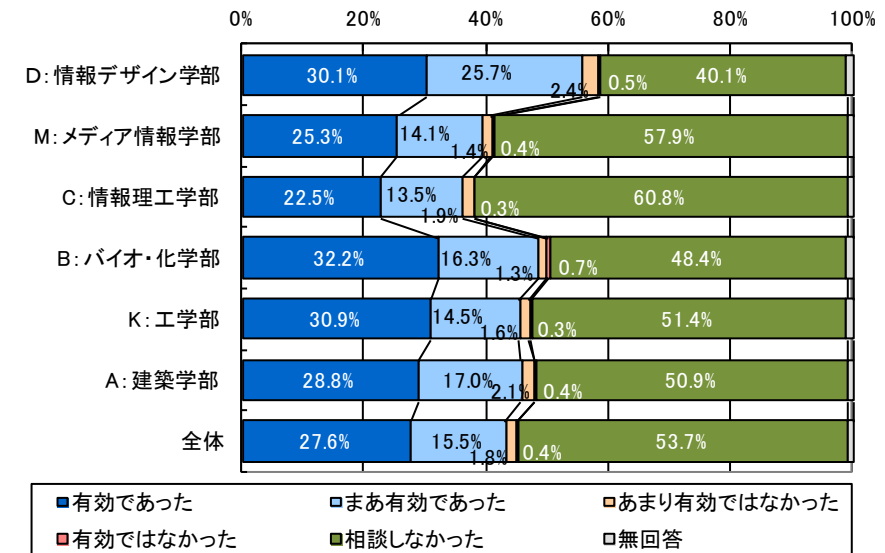
■ G: 学習支援計画書との一致



■ H: 授業の進度の適切さ

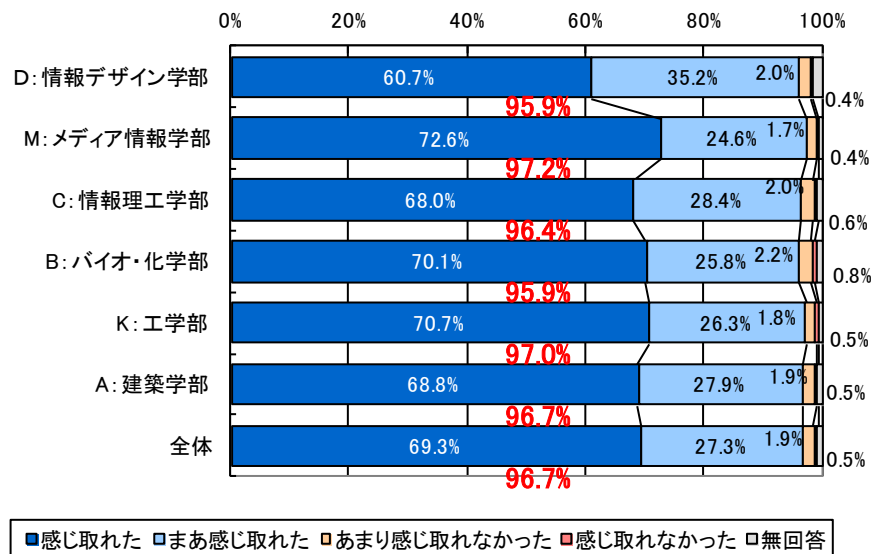


■ I: 学習相談(OH、チューター)の有効性

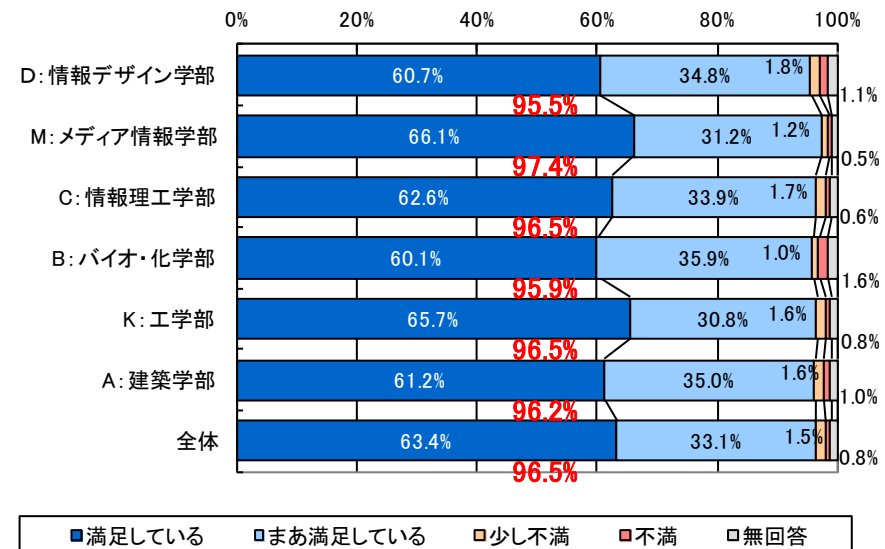


- 「J:教員の熱意」で肯定的な意見が最も多いのは「M:メディア情報学部」の97.2%であり、「感じ取れた」も72.6%と最も多い。次いで、「K:工学部」が97.0%、「A:建築学部」が96.7%で続いている。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」と「B:バイオ・化学部」の95.9%で、中でも「D:情報デザイン学部」では「感じ取れた」が60.7%とやや少ない。ただし、肯定的な意見はいずれの学部でも95%を超えており、教員の熱意を強く感じているようである。
- 「K:この科目の満足度」で肯定的な意見が最も多いのは「M:メディア情報学部」の97.4%であり、不満という否定的な意見は1.7%にとどまっている。次いで、「C:情報理工学部」と「K:工学部」がいずれも96.5%で続いている。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」の95.5%であり、満足という意見はすべての学部で95%を超えている。そして、差は最大で1.9ポイントと小さく、いずれの学部も非常に高い満足度と言える。

■ J: 教員の熱意

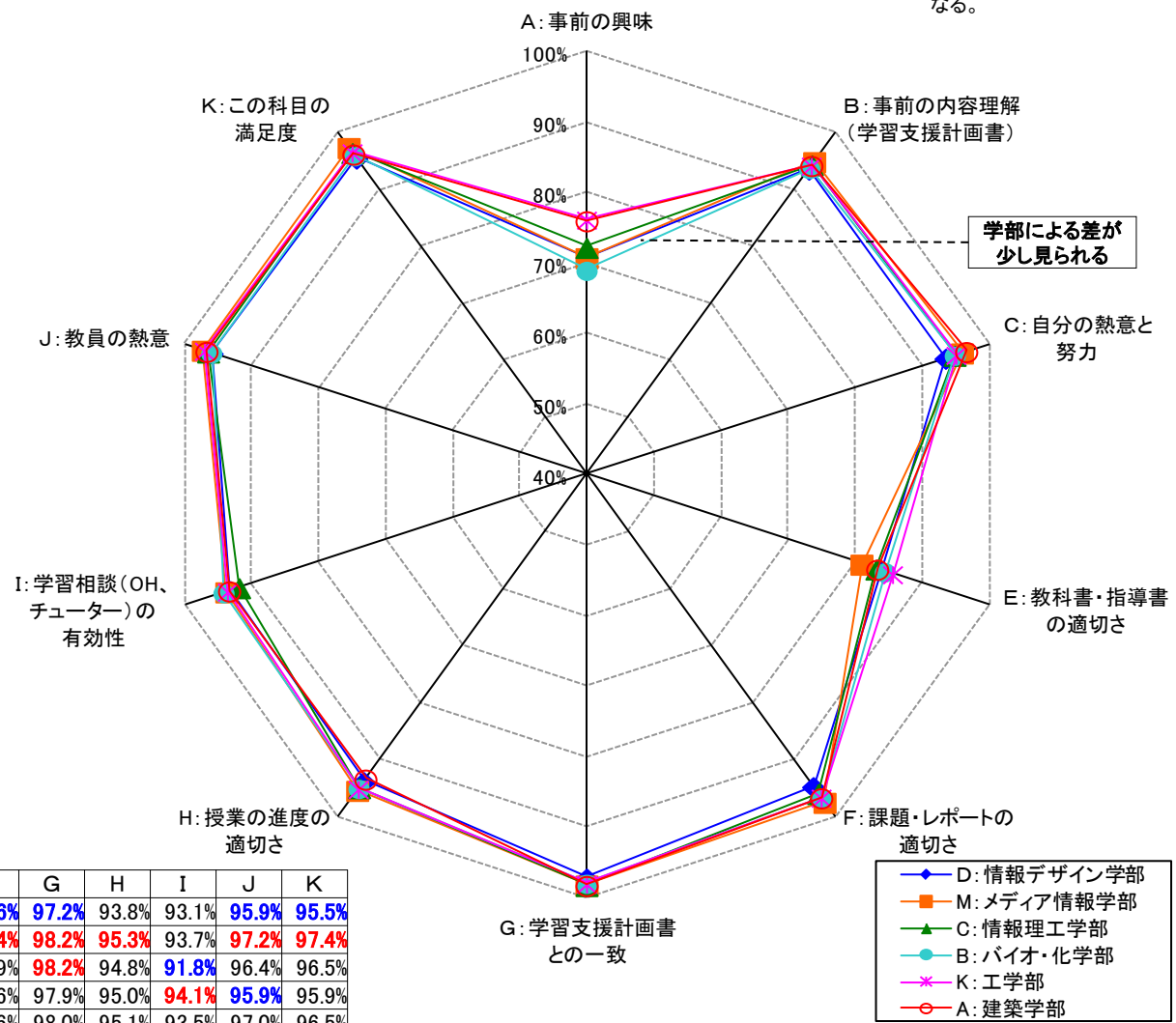


■ K: この科目の満足度



- 肯定的な意見の割合を学部別にレーダーチャートにプロットして比較している。
- 全体的に学部による大きな差は見られないが、「A:事前の興味」で少し差が見られ、「K:工学部」と「A:建築学部」が高く、「B:バイオ・化学部」がやや低い。また、「E:教科書・指導書の適切さ」で「M:メディア情報学部」がやや低い。
- 差は小さいものの、下表の数値を見ると、「M:メディア情報学部」は同率のものも含めて10項目中の6項目で最も高く、「D:情報デザイン学部」は6項目で最も低い。

■学部別比較レーダーチャート



■学部別比較

|            | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| D:情報デザイン学部 | 70.9% | 93.6% | 93.5% | 83.9% | 94.6% | 97.2% | 93.8% | 93.1% | 95.9% | 95.5% |
| M:メディア情報学部 | 70.8% | 94.9% | 96.0% | 81.0% | 97.4% | 98.2% | 95.3% | 93.7% | 97.2% | 97.4% |
| C:情報理工学部   | 72.3% | 94.4% | 94.9% | 83.2% | 95.9% | 98.2% | 94.8% | 91.8% | 96.4% | 96.5% |
| B:バイオ・化学部  | 69.0% | 93.7% | 94.9% | 84.5% | 96.6% | 97.9% | 95.0% | 94.1% | 95.9% | 95.9% |
| K:工学部      | 76.2% | 94.2% | 95.1% | 85.6% | 96.6% | 98.0% | 95.1% | 93.5% | 97.0% | 96.5% |
| A:建築学部     | 76.0% | 94.2% | 96.6% | 83.3% | 96.6% | 98.2% | 93.3% | 93.3% | 96.7% | 96.2% |

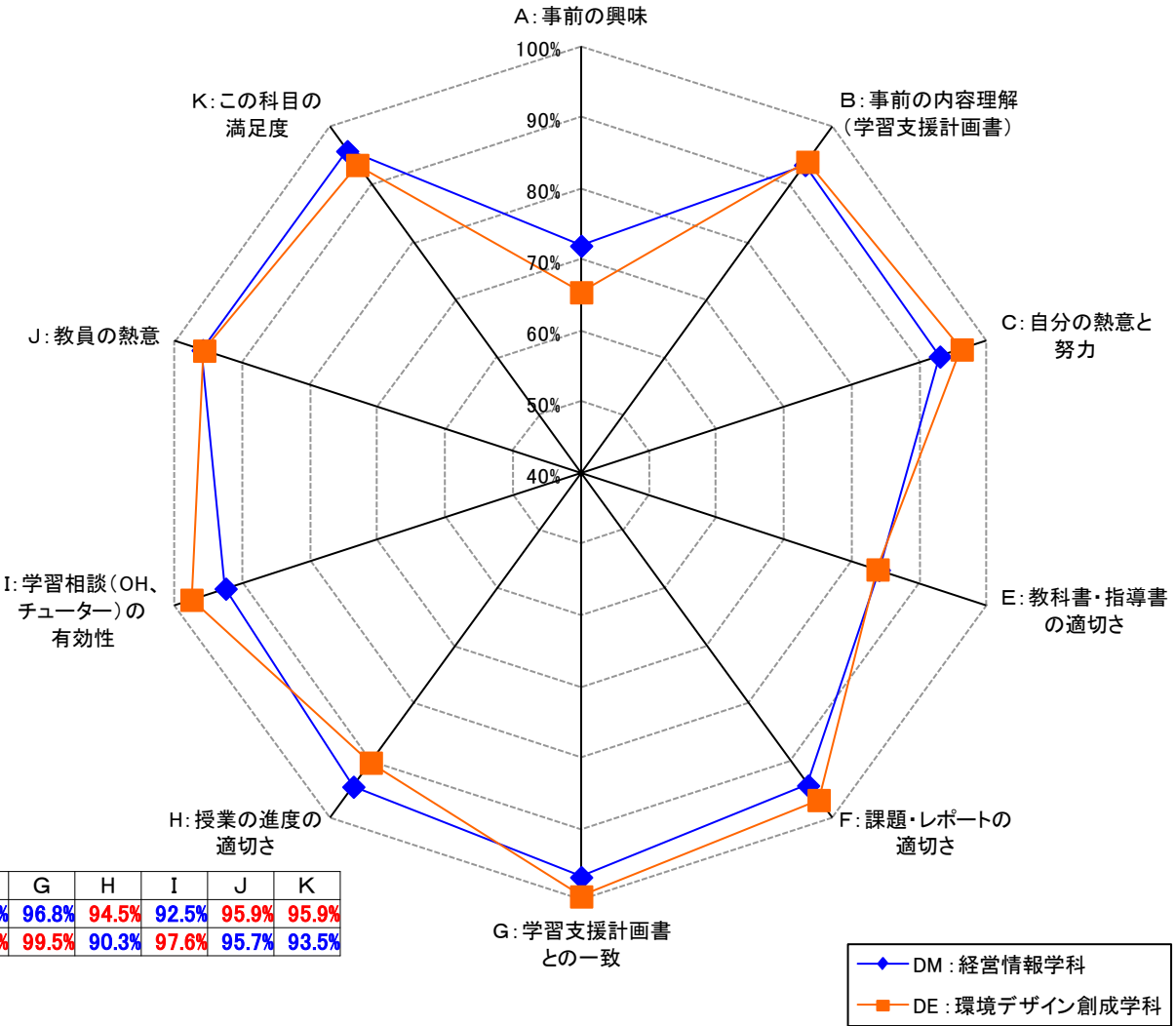
※最高が赤太文字、最低が青太文字としている。

- 学科数が多いため、学科別集計は学部ごとに分けて比較をしている。
- 「D:情報デザイン学部」の2学科の差を見ると、「DM:経営情報学科」「DE:環境デザイン創成学科」の両学科ともに10項目中の5項目が高く、5項目が低い。
- 項目ごとの差を見ると、「B:事前の内容理解(学習支援計画書)」「E:教科書・指導書の適切さ」「J:教員の熱意」はほぼ同じ評価であるが他では差が見られ、特に「DE:環境デザイン創成学科」の「A:事前の興味」の低さ、「I:学習相談(OH、チューター)の有効性」の高さが目立っている。

■情報デザイン学部 学科別比較

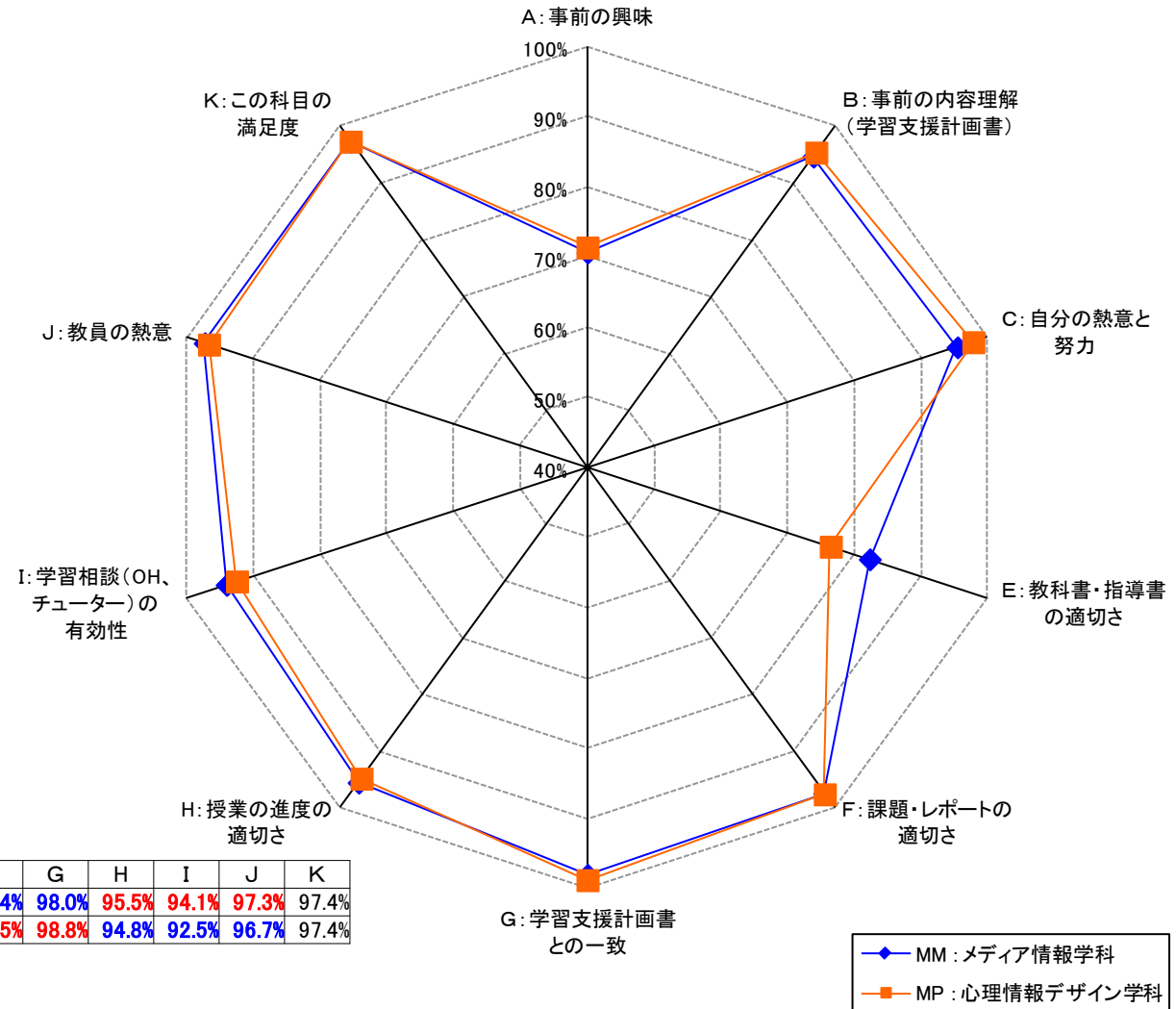
|                 | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| DM : 経営情報学科     | 71.9% | 93.5% | 93.0% | 84.0% | 94.2% | 96.8% | 94.5% | 92.5% | 95.9% | 95.9% |
| DE : 環境デザイン創成学科 | 65.4% | 94.1% | 96.2% | 83.8% | 96.8% | 99.5% | 90.3% | 97.6% | 95.7% | 93.5% |

■情報デザイン学部 学科別比較レーダーチャート



- 「M:メディア情報学部」の2学科の差は全体的に小さいが、数値を見ると「MP:心理情報デザイン学科」は10項目中の5項目で高く、「MM:メディア情報学科」は4項目で高い。そして、「K:この科目の満足度」は同じである。
- 差は全体的に小さいものの、「E:教科書・指導書の適切さ」では差があり、「MP:心理情報デザイン学科」の低さが目立っている。

■メディア情報学部 学科別比較レーダーチャート

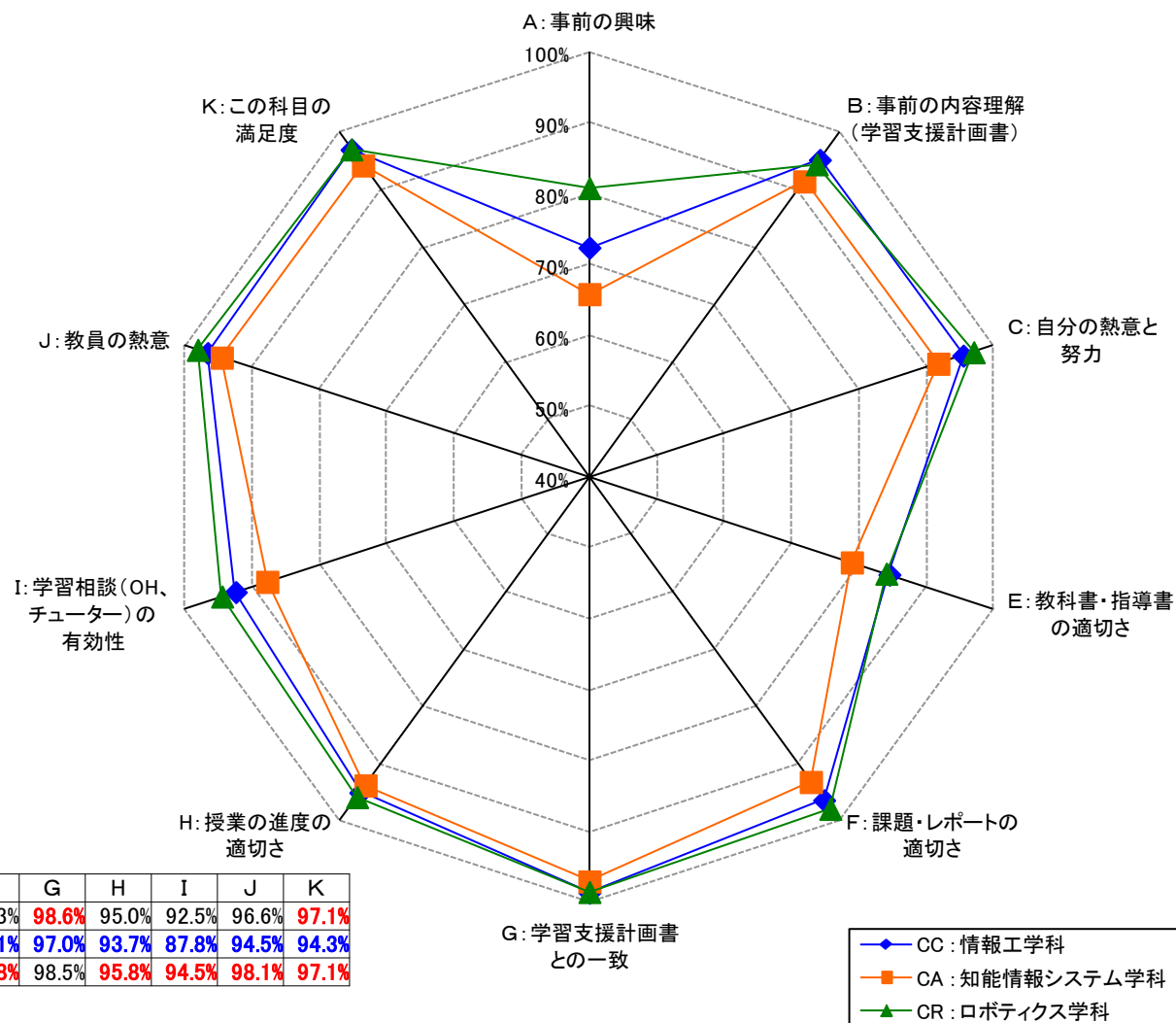


■メディア情報学部 学科別比較

|                 | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| MM : メディア情報学科   | 70.6% | 94.7% | 95.4% | 82.3% | 97.4% | 98.0% | 95.5% | 94.1% | 97.3% | 97.4% |
| MP : 心理情報デザイン学科 | 71.3% | 95.5% | 97.8% | 76.4% | 97.5% | 98.8% | 94.8% | 92.5% | 96.7% | 97.4% |

- 「C:情報理工学部」は3学科の比較となるが、10項目すべてで「CA:知能情報システム学科」が最も低い。一方、「CR:ロボティクス学科」は7項目で、「CC:情報工学科」は4項目で最も高い。
- 3学科の差を見ると、特に「A:事前の興味」の差が大きく、「CA:知能情報システム学科」の低さが目立っている。また、「CA:知能情報システム学科」は「E:教科書・指導書の適切さ」も低い。
- 「CR:ロボティクス学科」と「CC:情報工学科」の評価は似ており、差は大きくないが、「A:事前の興味」では「CR:ロボティクス学科」の高さが目立っている。

■情報理工学部 学科別比較レーダーチャート

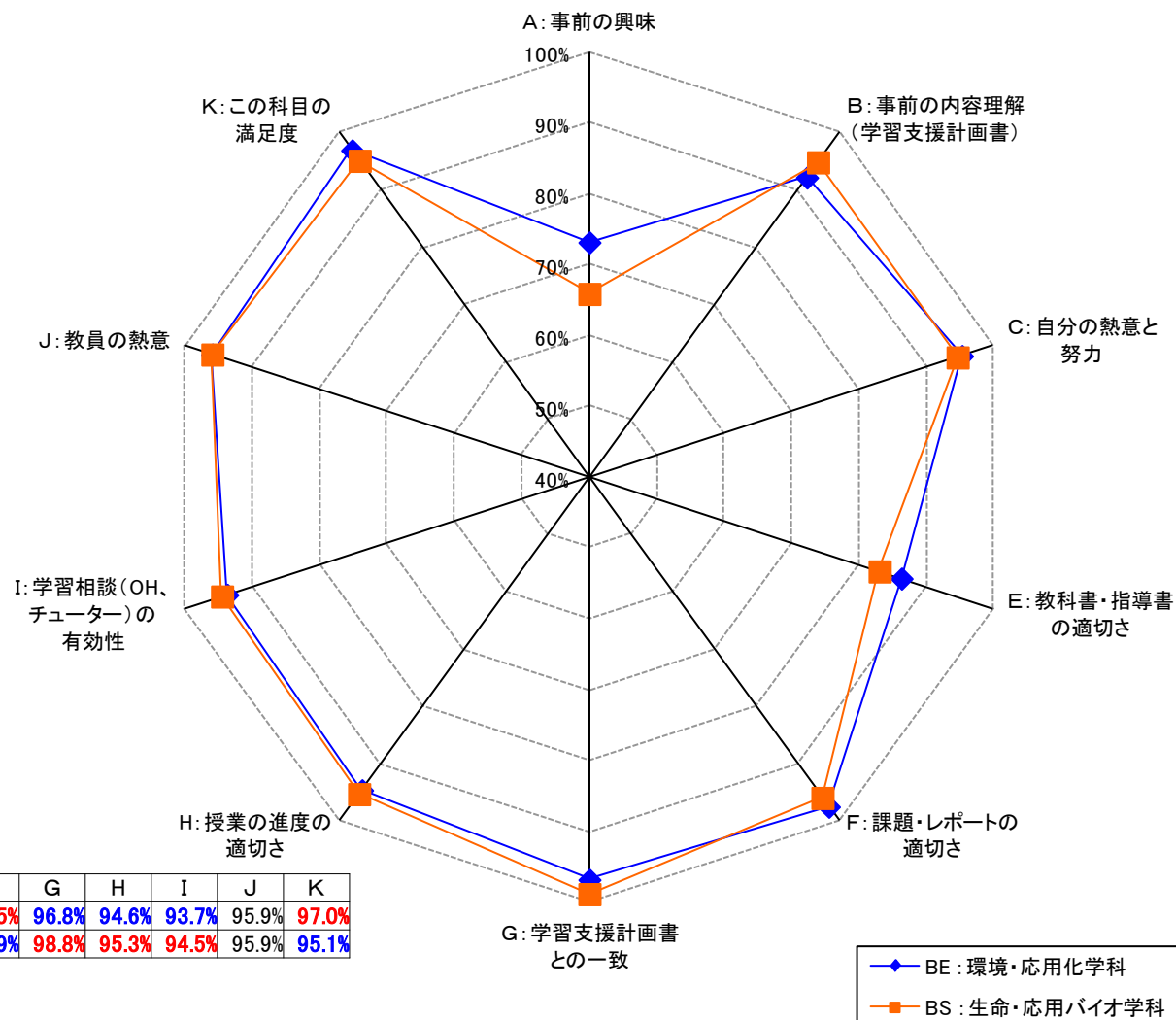


■情報理工学部 学科別比較

|                 | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| CC : 情報工学科      | 72.4% | 95.3% | 95.4% | 84.5% | 96.3% | 98.6% | 95.0% | 92.5% | 96.6% | 97.1% |
| CA : 知能情報システム学科 | 65.8% | 91.6% | 91.7% | 78.9% | 93.1% | 97.0% | 93.7% | 87.8% | 94.5% | 94.3% |
| CR : ロボティクス学科   | 80.8% | 94.5% | 97.0% | 84.0% | 97.8% | 98.5% | 95.8% | 94.5% | 98.1% | 97.1% |

- 「B: バイオ・化学部」の2学科の差は全体的に小さく、「BE: 環境・応用化学学科」が10項目中の5項目で高く、「BS: 生命・応用バイオ学科」が4項目で高い。そして、「J: 教員の熱意」は同じである。
- 差は全体的に小さいものの、「A: 事前の興味」では「BS: 生命・応用バイオ学科」の低さが目立っている。

■ バイオ・化学部 学科別比較レーダーチャート

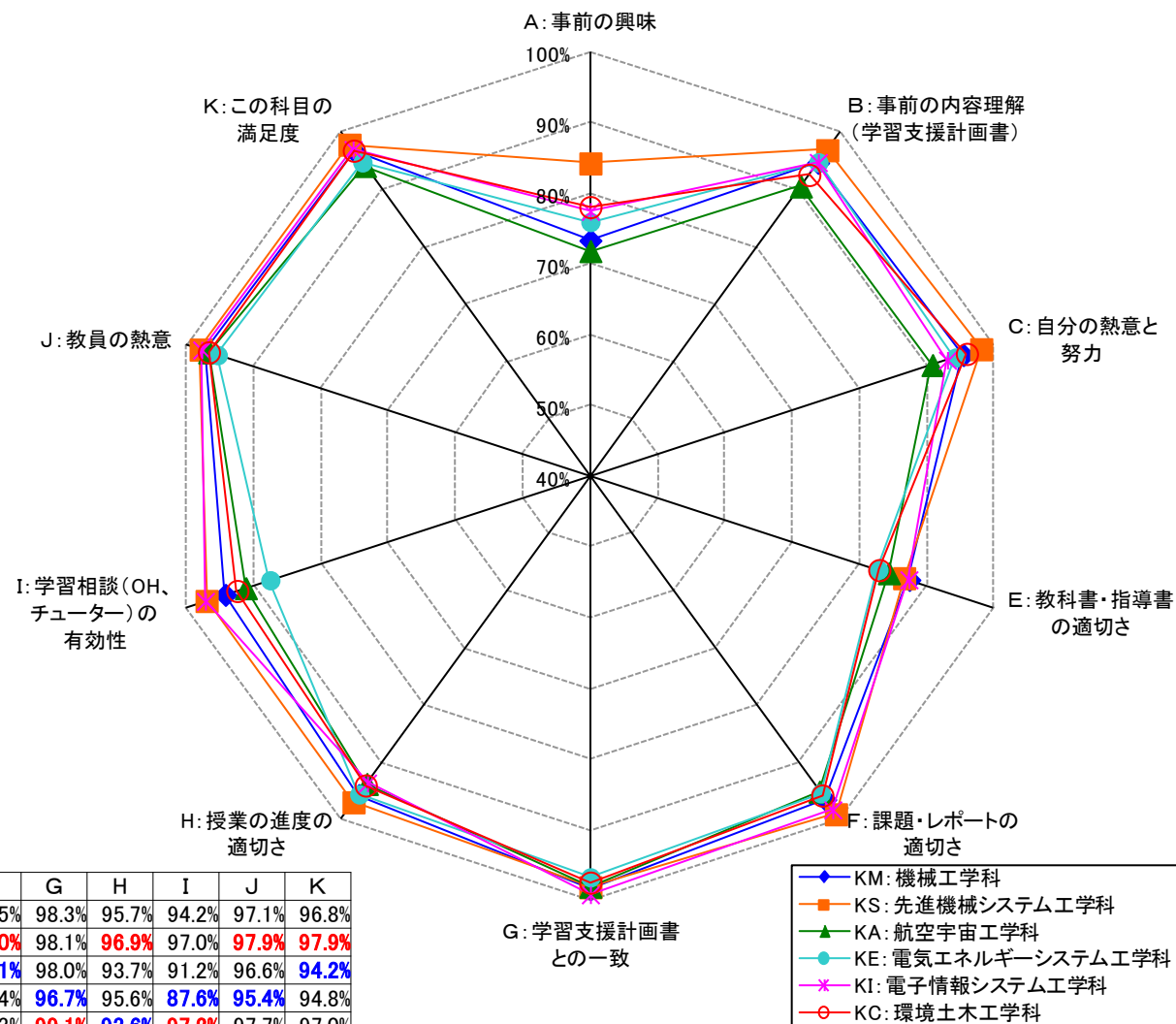


■ バイオ・化学部 学科別比較

|                 | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| BE : 環境・応用化学学科  | 73.1% | 92.2% | 95.3% | 86.3% | 97.5% | 96.8% | 94.6% | 93.7% | 95.9% | 97.0% |
| BS : 生命・応用バイオ学科 | 65.8% | 94.9% | 94.6% | 83.0% | 95.9% | 98.8% | 95.3% | 94.5% | 95.9% | 95.1% |

- 「K:工学部」は6学科の比較となるが、「G:学習支援計画書との一致」「H:授業の進度の適切さ」「J:教員の熱意」「K:この科目の満足度」の4項目では学科間の差はそれほど大きくないが、他の項目ではやや差が見られる。
- 下表の数値を見ると、「KS:先進機械システム工学科」は10項目中の7項目で最も高く、特に「A:事前の興味」「B:事前の内容理解(学習支援計画書)」「C:自分の熱意と努力」など、事前の準備や自分自身の取り組み姿勢が高い。
- 一方、「KA:航空宇宙工学科」は5項目で最も低く、「KS:先進機械システム工学科」とは逆に、事前の準備や自分自身の取り組み姿勢である、「A:事前の興味」「B:事前の内容理解(学習支援計画書)」「C:自分の熱意と努力」が特に低い。また、「KE:電気エネルギーシステム工学科」は4項目で最も低く、特に「I:学習相談(OH、チューター)の有効性」の低さが目立っている。

■工学部 学科別比較レーダーチャート

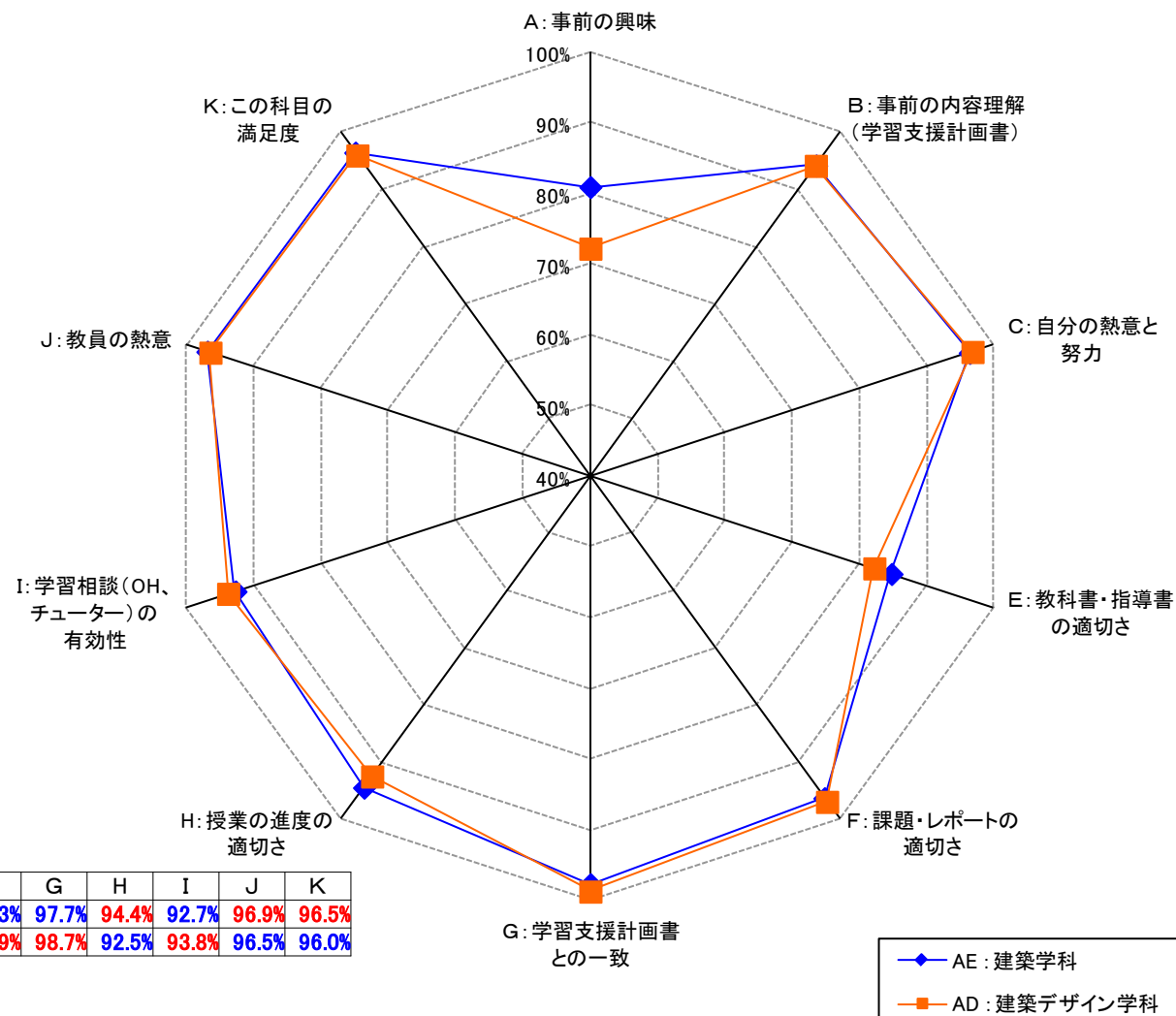


■工学部 学科別比較

|                    | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| KM: 機械工学科          | 73.3% | 94.7% | 95.4% | 87.4% | 96.5% | 98.3% | 95.7% | 94.2% | 97.1% | 96.8% |
| KS: 先進機械システム工学科    | 84.2% | 96.9% | 98.1% | 86.6% | 99.0% | 98.1% | 96.9% | 97.0% | 97.9% | 97.9% |
| KA: 航空宇宙工学科        | 71.8% | 90.6% | 90.8% | 84.3% | 95.1% | 98.0% | 93.7% | 91.2% | 96.6% | 94.2% |
| KE: 電気エネルギーシステム工学科 | 75.9% | 94.8% | 94.3% | 82.8% | 95.4% | 96.7% | 95.6% | 87.6% | 95.4% | 94.8% |
| KI: 電子情報システム工学科    | 77.4% | 94.8% | 93.1% | 87.3% | 98.3% | 99.1% | 93.6% | 97.2% | 97.7% | 97.0% |
| KC: 環境土木工学科        | 78.0% | 92.6% | 95.9% | 82.9% | 95.8% | 97.4% | 94.0% | 92.5% | 96.7% | 96.9% |

- 「A:建築学部」の2学科の差は全体的に大きくないが、「AE:建築学科」が10項目中の6項目で高く、「AD:建築デザイン学科」が4項目で高い。
- 差は全体的に小さいものの、「A:事前の興味」では「AD:建築デザイン学科」の低さが目立ち、「E:教科書・指導書の適切さ」でもやや低い。

■ 建築学部 学科別比較レーダーチャート

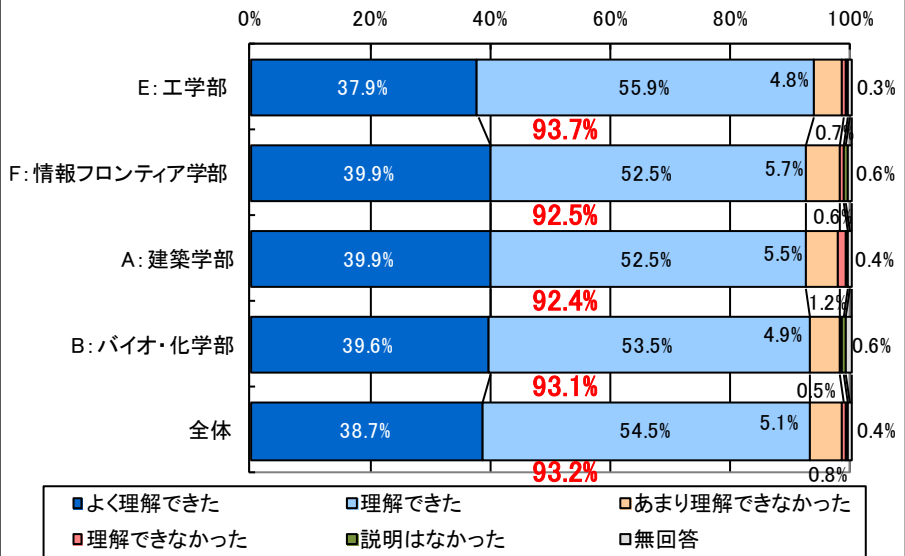


■ 建築学部 学科別比較

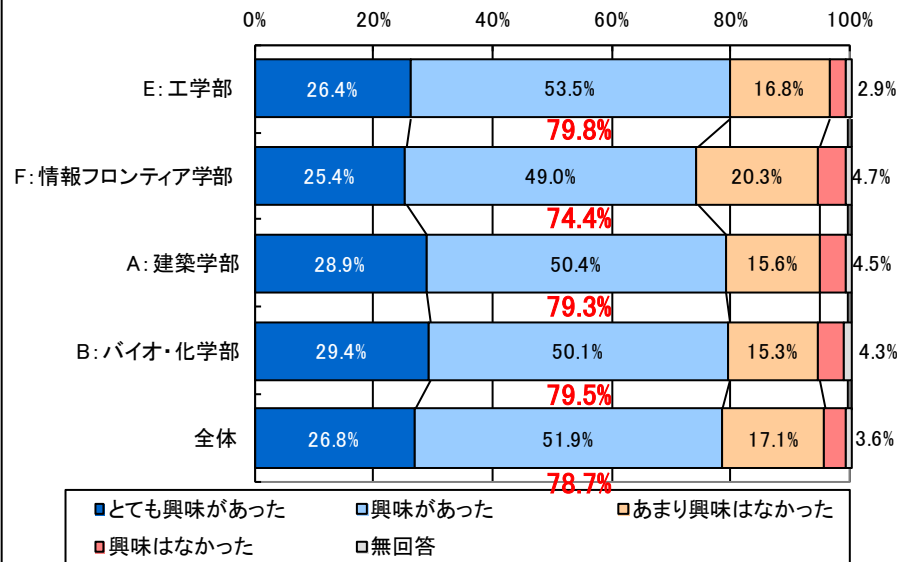
|               | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| AE : 建築学科     | 80.8% | 94.3% | 96.4% | 84.7% | 96.3% | 97.7% | 94.4% | 92.7% | 96.9% | 96.5% |
| AD : 建築デザイン学科 | 72.1% | 94.2% | 96.8% | 82.2% | 96.9% | 98.7% | 92.5% | 93.8% | 96.5% | 96.0% |

- 令和6年度以前入学者の学部学科による比較は、「2年次」から「4年次」のみを対象として集計している。
- 「A:事前の興味」で肯定的な意見が最も多いのは「E:工学部」の79.8%である。次いで、「B:バイオ・化学部」が79.5%、「A:建築学部」が79.3%と続き、この3学部の差は小さい。一方、最も少ないのは「F:情報フロンティア学部」の74.4%であるが、最も多い「E:工学部」との差は5.4ポイントとやや大きい。
- 「B:事前の内容理解(学習支援計画書)」で肯定的な意見が最も多いのは「E:工学部」の93.7%である。そして、「B:バイオ・化学部」が93.1%、「F:情報フロンティア学部」が92.5%、「A:建築学部」が92.7%と続くが、4学部の差は最大で1.3ポイントと小さい。
- 「C:自分の熱意と努力」で肯定的な意見が最も多いのは「B:バイオ・化学部」の96.3%であり、「努力した」が62.8%と多さが目立っている。そして、「A:建築学部」が96.0%、「F:情報フロンティア学部」が95.4%、「E:工学部」が95.2%と続き、差は最大で1.1ポイントと小さく、いずれの学部でも高い熱意と努力が感じられる。

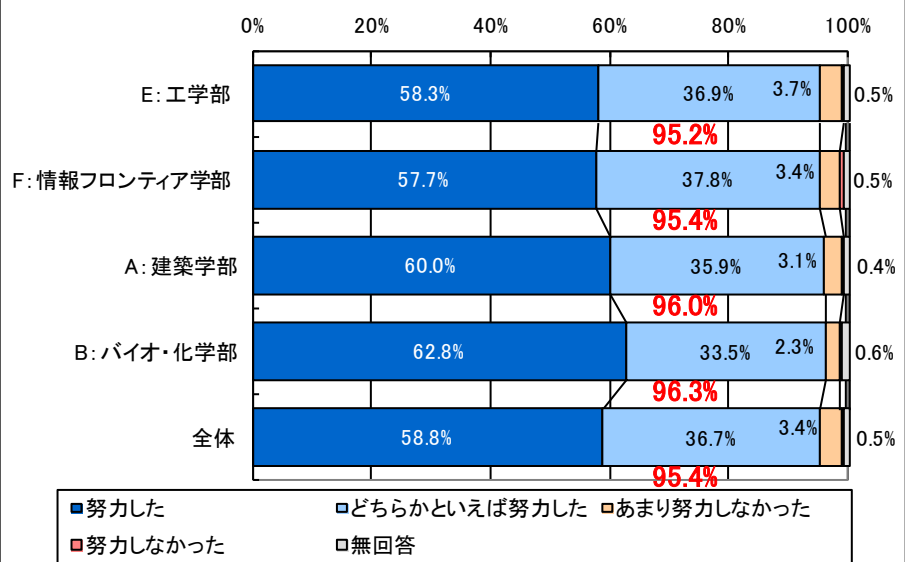
■B: 事前の内容理解(学習支援計画書)



■A: 事前の興味

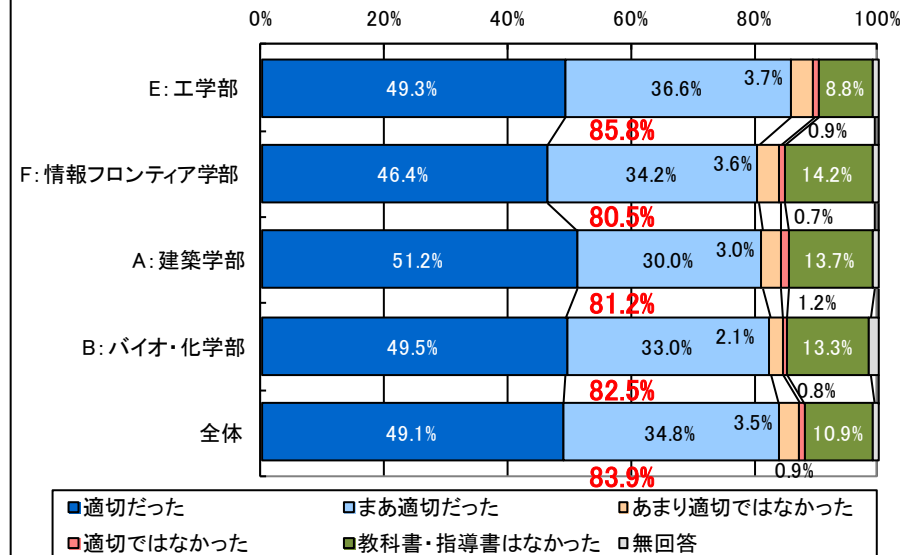


■C: 自分の熱意と努力

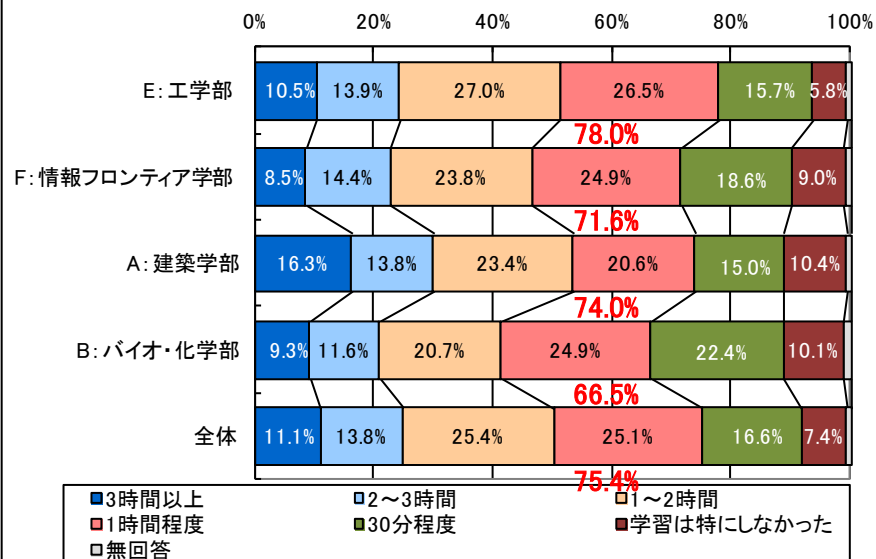


- 「D: 予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)」で「1時間程度」までの合計を学部別に比較すると、最も多いのは「E: 工学部」の78.0%であり、多さが目立っている。次いで、「A: 建築学部」が74.0%で、「3時間以上」が16.3%と多い。そして、「F: 情報フロンティア学部」が71.6%、「B: バイオ・化学部」が66.5%で続き、差は最大で11.5ポイントと大きい。
- 「E: 教科書・指導書の適切さ」で肯定的な意見が最も多いのは「E: 工学部」の85.8%であり、「B: バイオ・化学部」が82.5%、「A: 建築学部」が81.2%、「F: 情報フロンティア学部」が80.5%で続き、差は最大で5.3ポイントである。そして、「教科書・指導書はなかった」が最も多いのは「F: 情報フロンティア学部」の14.2%である。
- 「F: 課題・レポートの適切さ」で肯定的な意見が最も多いのは「E: 工学部」の95.0%である。次いで、「F: 情報フロンティア学部」が94.8%、「B: バイオ・化学部」が94.7%、「A: 建築学部」が93.5%で続き、差は最大で1.5ポイントと小さく、いずれの学部でも高い評価である。

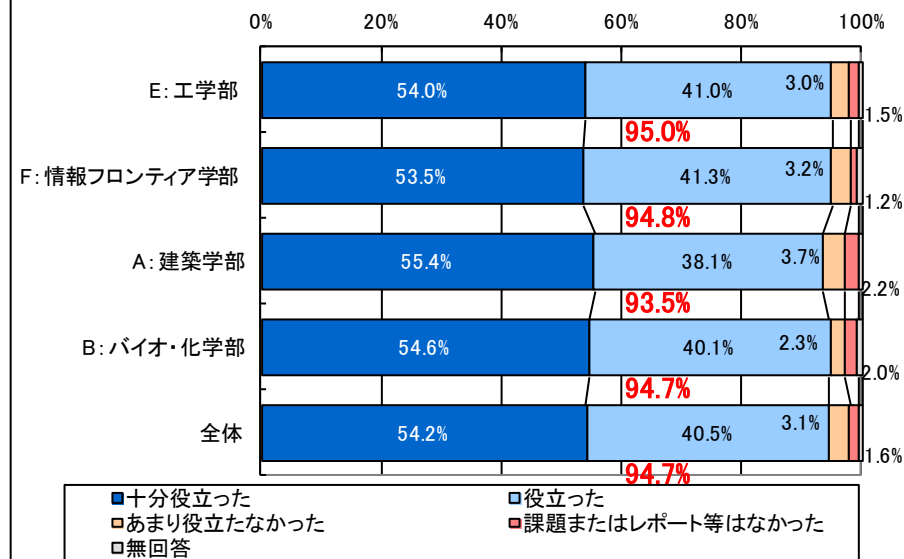
■ E: 教科書・指導書の適切さ



■ D: 予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)

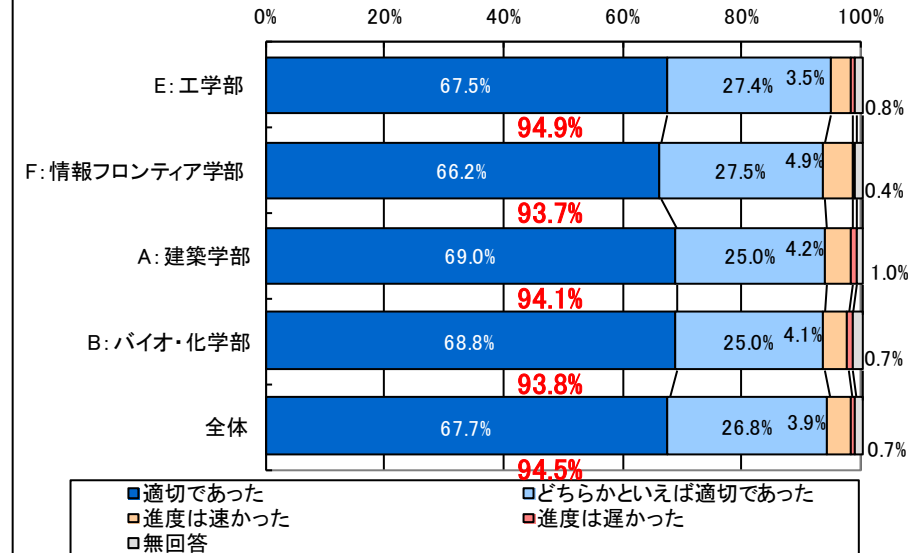


■ F: 課題・レポートの適切さ

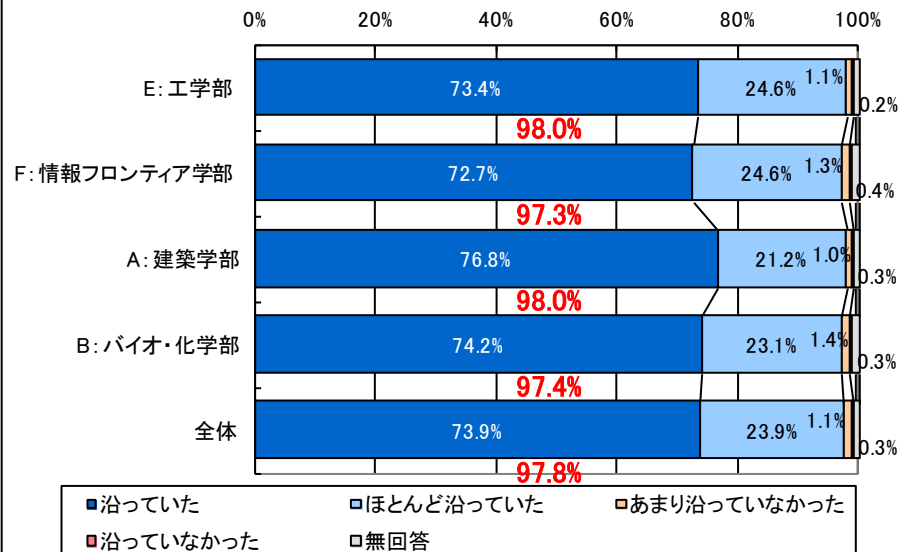


- 「G:学習支援計画書との一致」の肯定的な意見は「E:工学部」と「A:建築学部」がともに98.0%で最も多い。ただし、「沿っていた」だけを見ると「A:建築学部」が76.8%と多さが目立っている。次いで、「B:バイオ・化学部」が97.4%、「F:情報フロンティア学部」が97.3%で続き、差は最大で0.7ポイントと小さく、学習支援計画書の評価はいずれの学部でも非常に高い。
- 「H:授業の進度の適切さ」で肯定的な意見が最も多いのは「E:工学部」の94.9%であり、「A:建築学部」が94.1%、「B:バイオ・化学部」が93.8%、「F:情報フロンティア学部」が93.7%で続き、差は最大で1.2ポイントと小さく、授業の進度の評価も全体的に高い。
- 「I:学習相談(OH、チューター)の有効性」で「相談しなかった」の割合を見ると、「F:情報フロンティア学部」「A:建築学部」「E:工学部」はほぼ6割で似た傾向であるが、「B:バイオ・化学部」は52.4%と少なさが目立っている。そして、有効性を見ると、否定的な意見はいずれの学部でも3%に満たず、利用者からの評価は非常に高い。

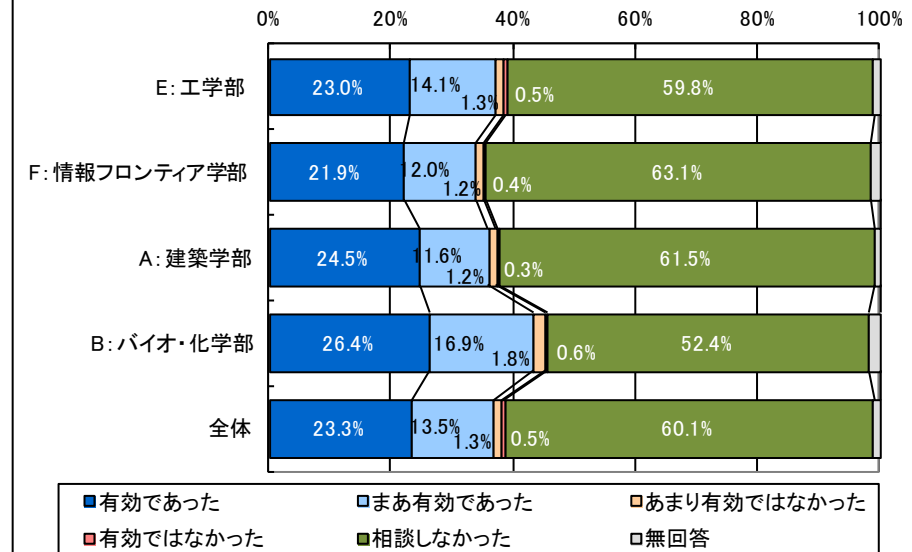
■H: 授業の進度の適切さ



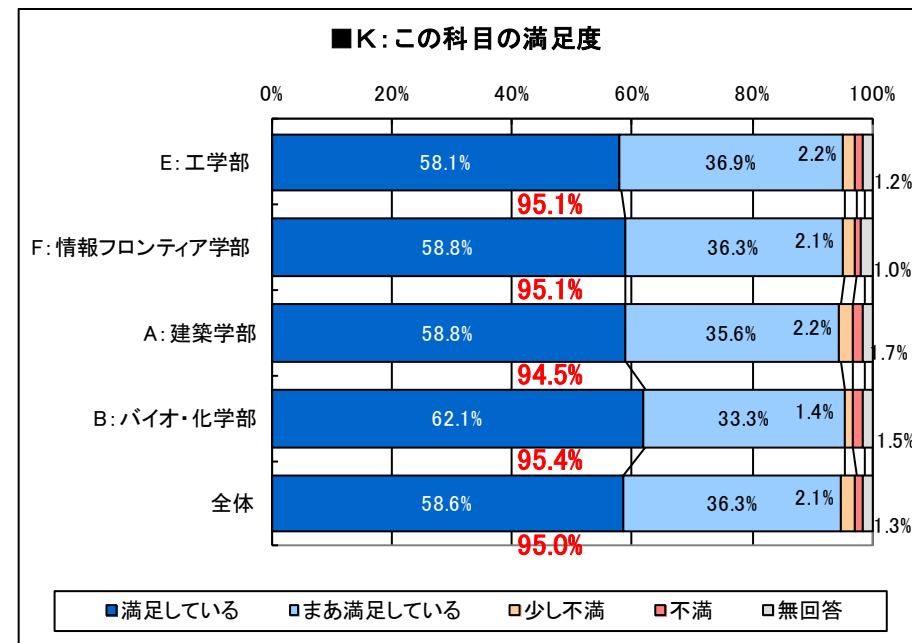
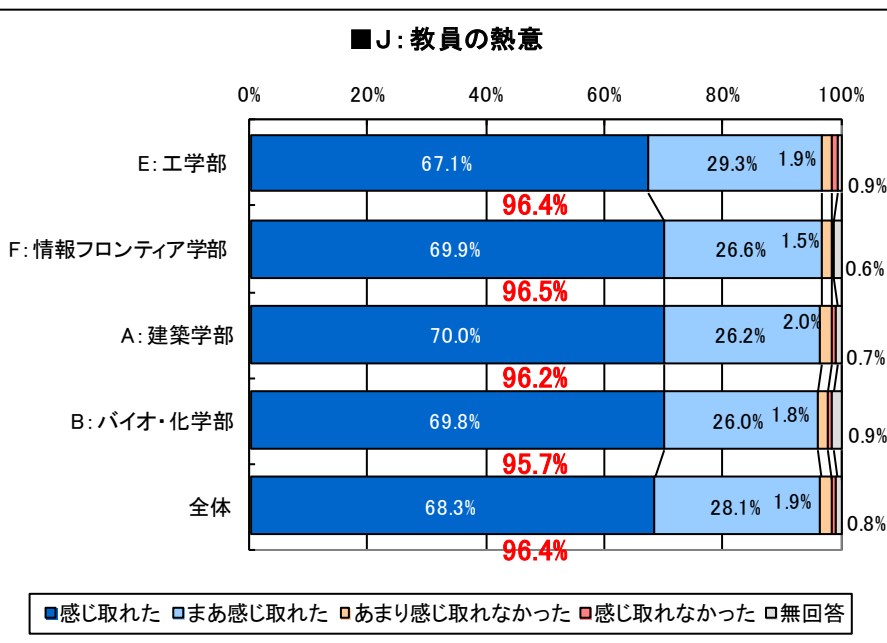
■G: 学習支援計画書との一致



■I: 学習相談(OH、チューター)の有効性



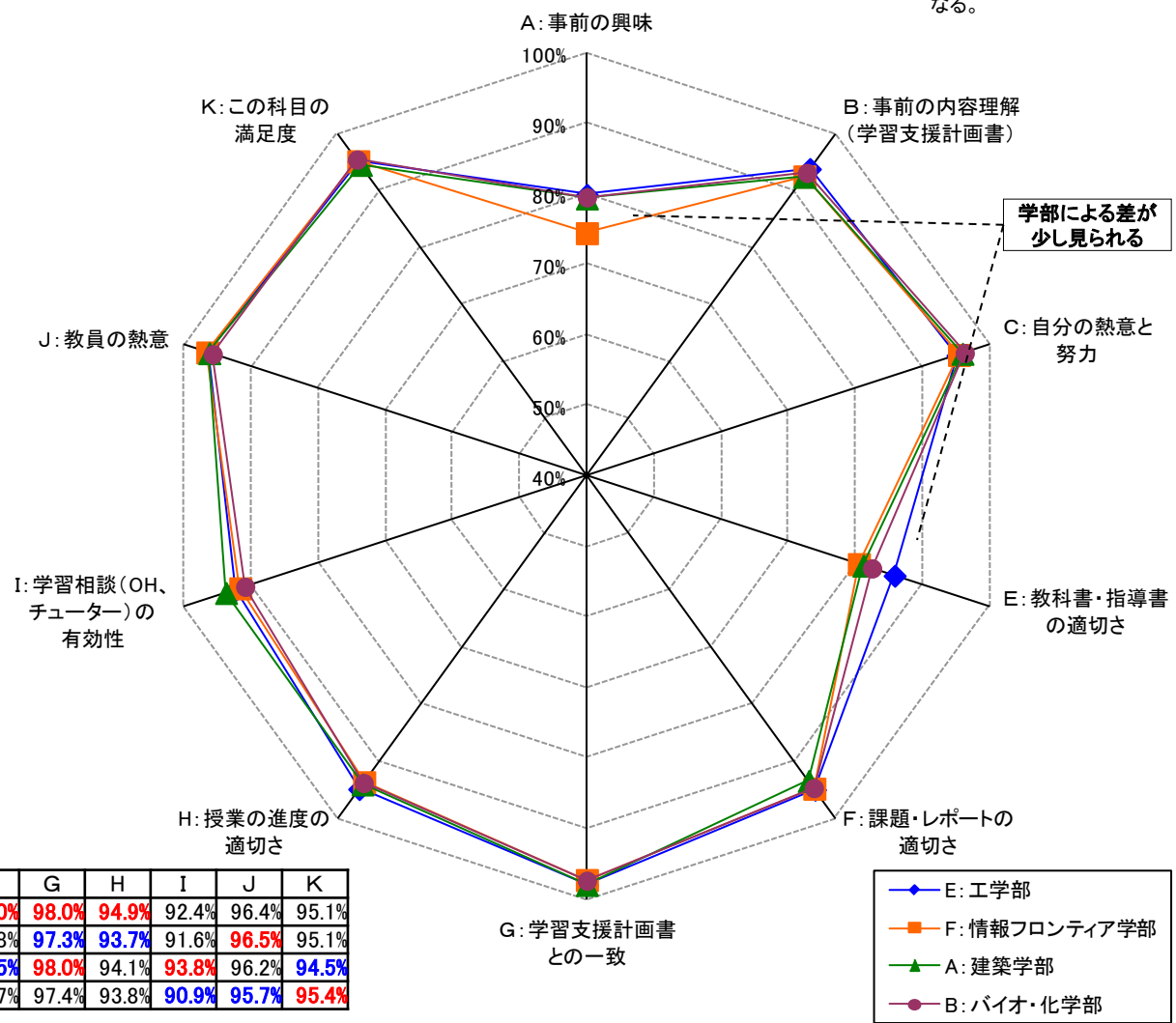
- 「J:教員の熱意」で肯定的な意見が最も多いのは「F:情報フロンティア学部」の96.5%であり、次いで、「E:工学部」が96.4%、「A:建築学部」が96.2%、「B:バイオ・化学部」が95.7%と続き、差は最大で0.8ポイントと小さい。そして、いずれの学部でも「感じ取れた」が7割に近く、教員の熱意を強く感じているようである。
- 「K:この科目の満足度」で肯定的な意見が最も多いのは「B:バイオ・化学部」の95.4%であり、「E:工学部」と「F:情報フロンティア学部」が95.1%、「A:建築学部」が94.5%で続いている。差は最大で0.9ポイントと小さく、いずれの学部でも「満足している」が6割前後で、非常に高い満足度である。



- 肯定的な意見の割合を学部別にレーダーチャートにプロットして比較をしている。
- 全体的に学部による大きな差は見られないが、「A:事前の興味」と「E:教科書・指導書の適切さ」では「F:情報フロンティア学部」の低さ、「A:事前の興味」では「F:情報フロンティア学部」の低さ、「E:教科書・指導書の適切さ」では「E:工学部」の高さが目立っている。
- 差は小さいものの、下表の数値を見ると、「E:工学部」は同率のものも含めて10項目中の6項目で最も高い。一方、「F:情報フロンティア学部」は4項目で最も低い。

■学部別比較レーダーチャート

※「I:学習相談の有効性」は「相談しなかった」を除いた上で、「有効であった」と「まあ有効であった」の割合を集計しており、利用者からのみの評価となる。



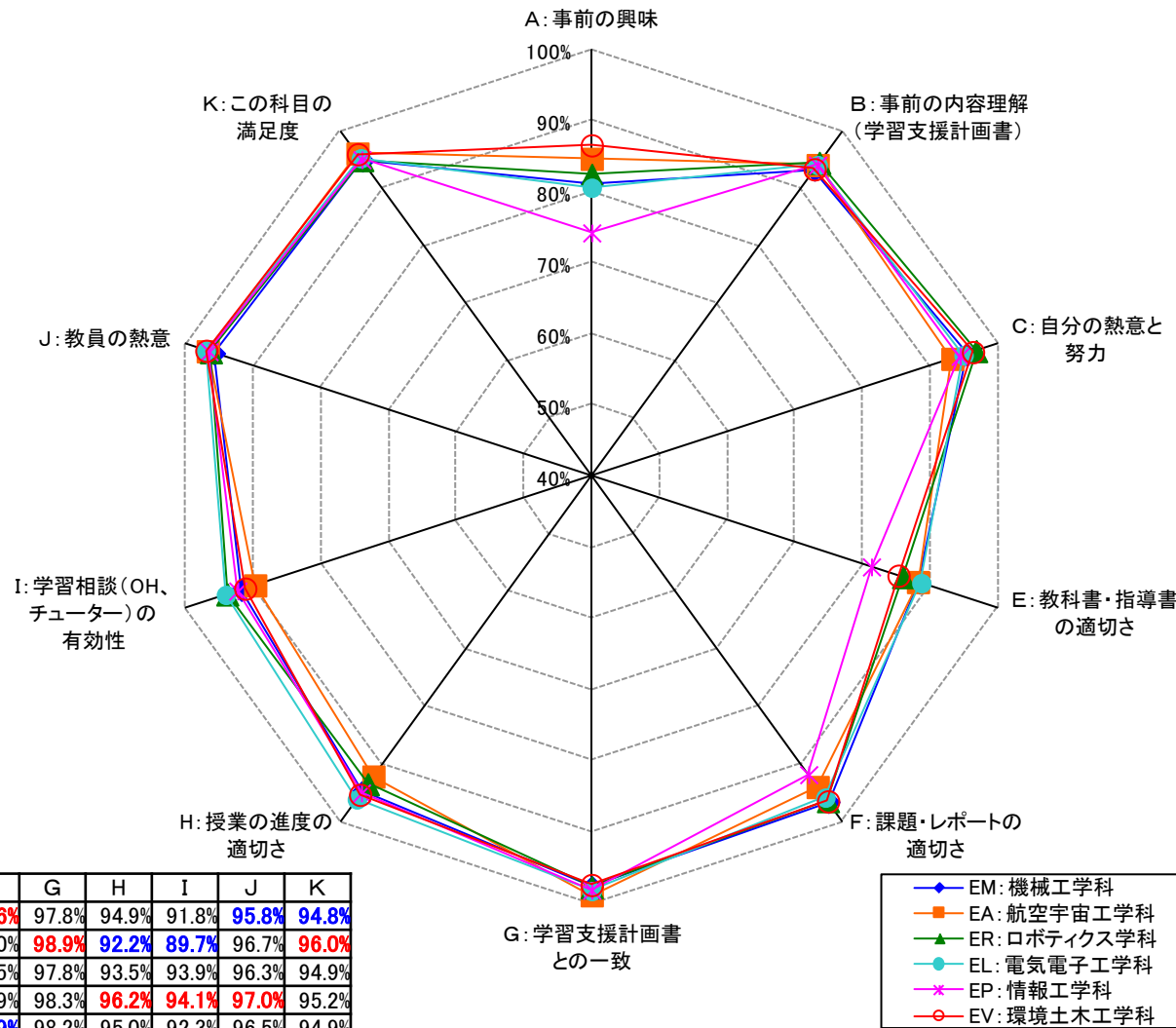
※最高が赤太文字、最低が青太文字としている。

- 学科数が多いため、学科別集計は学部ごとに分けて比較をしている。
- 「工学部」の6学科の特徴を見ると、「A:事前の興味」「E:教科書・指導書の適切さ」で学科による差が見られ、2項目ともに「EP:情報工学科」の低さが目立っており、「A:事前の興味」では「EV:環境土木工学科」がやや高い。
- 下表の数値を見ると、「EL:電気電子工学科」が10項目中の4項目で最も高く、「EM:機械工学科」「EA:航空宇宙工学科」「EP:情報工学科」が各々、3項目で最も低い。

■工学部 学科別比較

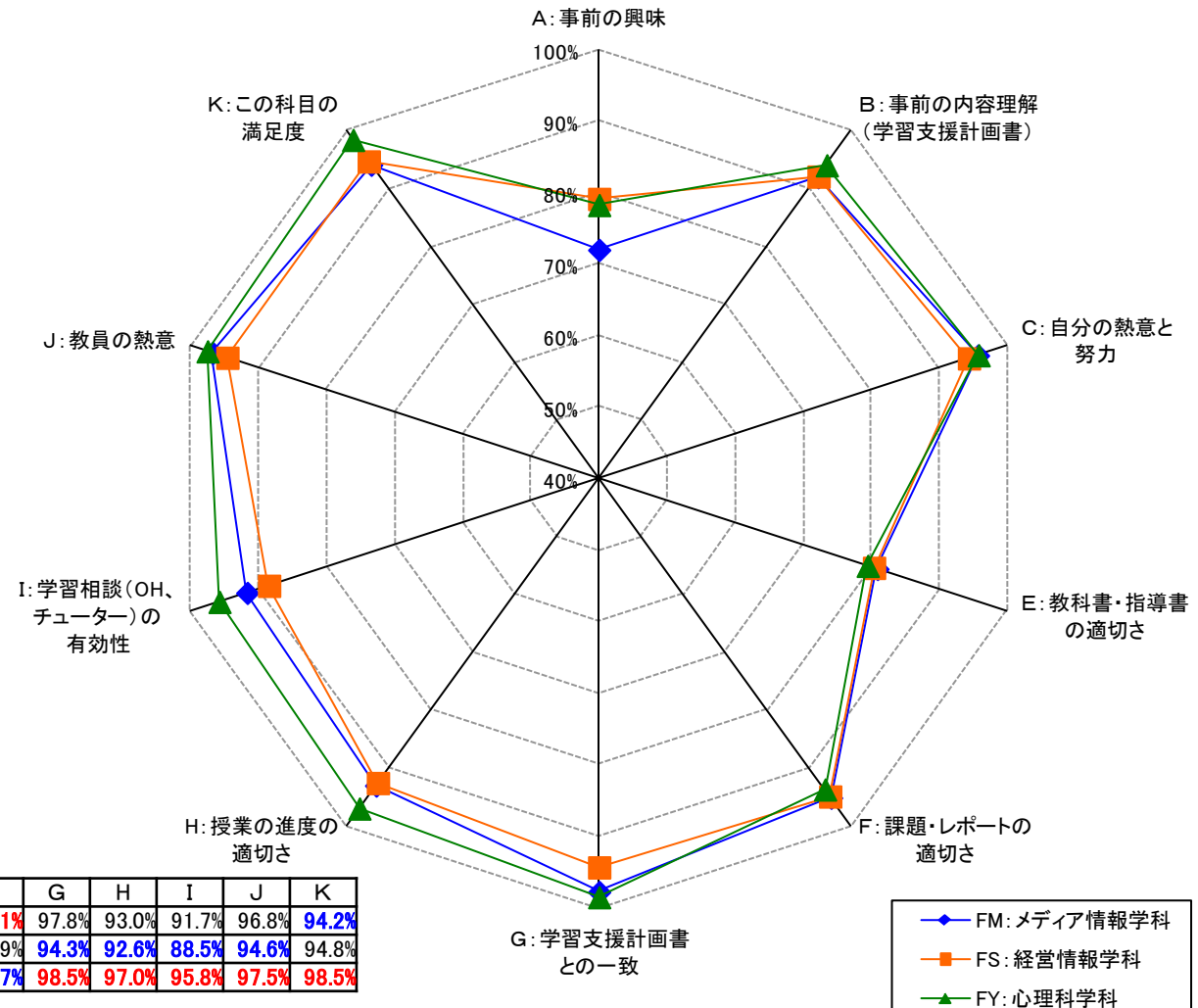
|             | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| EM:機械工学科    | 81.1% | 93.2% | 95.4% | 88.4% | 96.6% | 97.8% | 94.9% | 91.8% | 95.8% | 94.8% |
| EA:航空宇宙工学科  | 84.6% | 94.0% | 93.3% | 88.2% | 94.0% | 98.9% | 92.2% | 89.7% | 96.7% | 96.0% |
| ER:ロボティクス学科 | 82.3% | 94.4% | 96.8% | 86.0% | 96.5% | 97.8% | 93.5% | 93.9% | 96.3% | 94.9% |
| EL:電気電子工学科  | 80.5% | 94.0% | 94.9% | 88.7% | 95.9% | 98.3% | 96.2% | 94.1% | 97.0% | 95.2% |
| EP:情報工学科    | 74.2% | 94.0% | 94.4% | 81.3% | 91.9% | 98.2% | 95.0% | 92.3% | 96.5% | 94.9% |
| EV:環境土木工学科  | 86.5% | 93.3% | 96.3% | 85.3% | 96.5% | 97.5% | 95.4% | 91.2% | 96.9% | 95.9% |

■工学部 学科別比較レーダーチャート



- 「情報フロンティア学部」の3学科では全体的にわずかな差があり、「FY:心理科学科」が全体的に高めで、「K:この科目の満足度」をはじめとして、10項目中の7項目で最も高い。
- 一方、「FS:経営情報学科」は10項目中の5項目で最も低い。そして、「FM:メディア情報学科」は3項目で最も低く、中でも「A:事前の興味」の低さが目立っている。

■情報フロンティア学部 学科別比較レーダーチャート

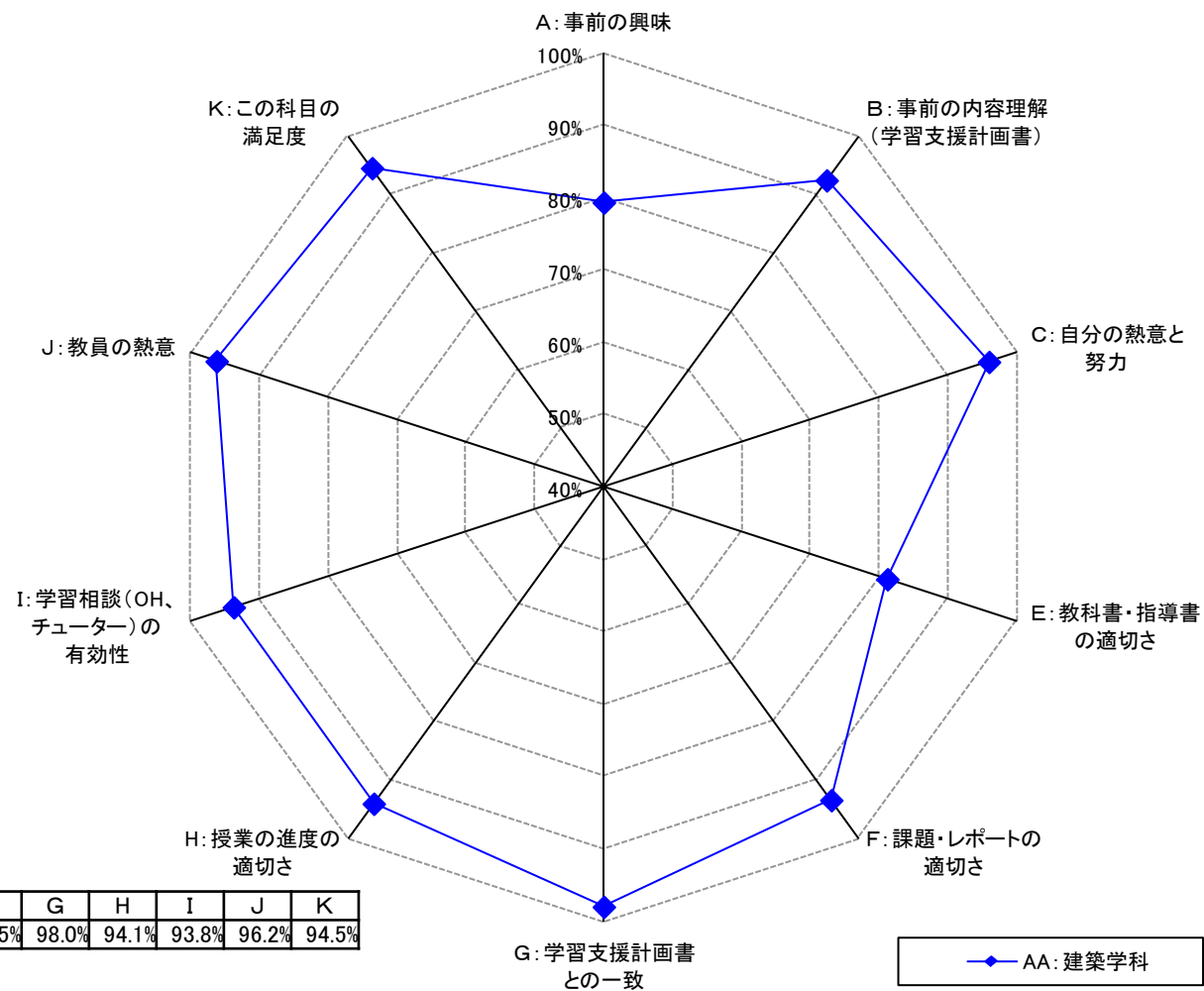


■情報フロンティア学部 学科別比較

|              | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| FM: メディア情報学科 | 71.9% | 92.0% | 95.7% | 80.9% | 95.1% | 97.8% | 93.0% | 91.7% | 96.8% | 94.2% |
| FS: 経営情報学科   | 79.1% | 92.2% | 94.3% | 80.4% | 94.9% | 94.3% | 92.6% | 88.5% | 94.6% | 94.8% |
| FY: 心理科学科    | 78.2% | 94.1% | 95.8% | 79.5% | 93.7% | 98.5% | 97.0% | 95.8% | 97.5% | 98.5% |

- 「建築学部」は「AA:建築学科」だけなので、比較は行っていない。

■建築学部 学科別比較レーダーチャート

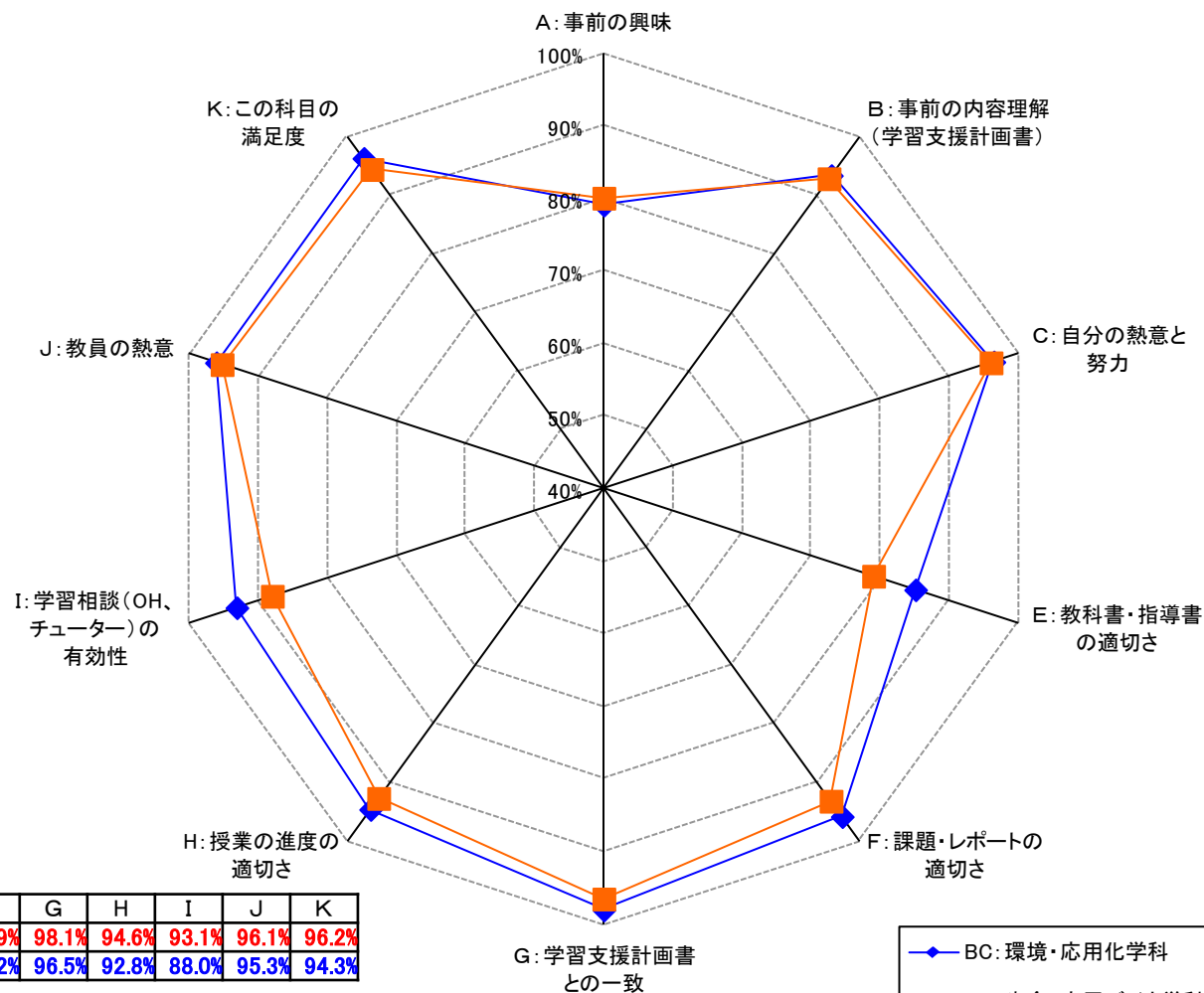


■建築学部 学科別比較

|          | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| AA: 建築学科 | 79.3% | 92.4% | 96.0% | 81.2% | 93.5% | 98.0% | 94.1% | 93.8% | 96.2% | 94.5% |

- 「バイオ・化学部」は2学科の比較になるが、「BC:環境・応用化学科」は10項目中の9項目で高く、特に「E:教科書・指導書の適切さ」で差が見られる。
- 「BB:生命・応用バイオ学科」が高いのは「A:事前の興味」だけであるが、差はわずかである。

■ バイオ・化学部 学科別比較レーダーチャート

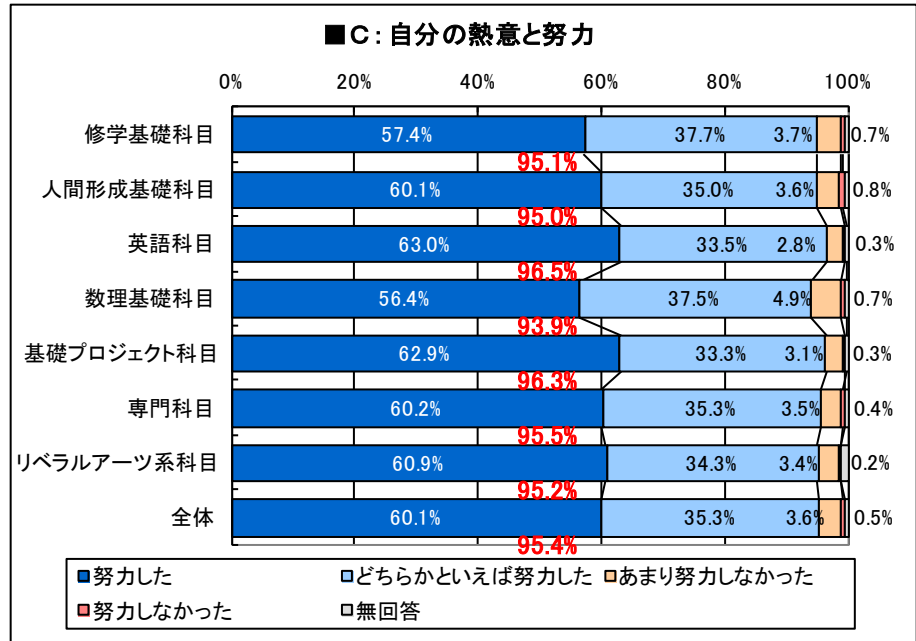
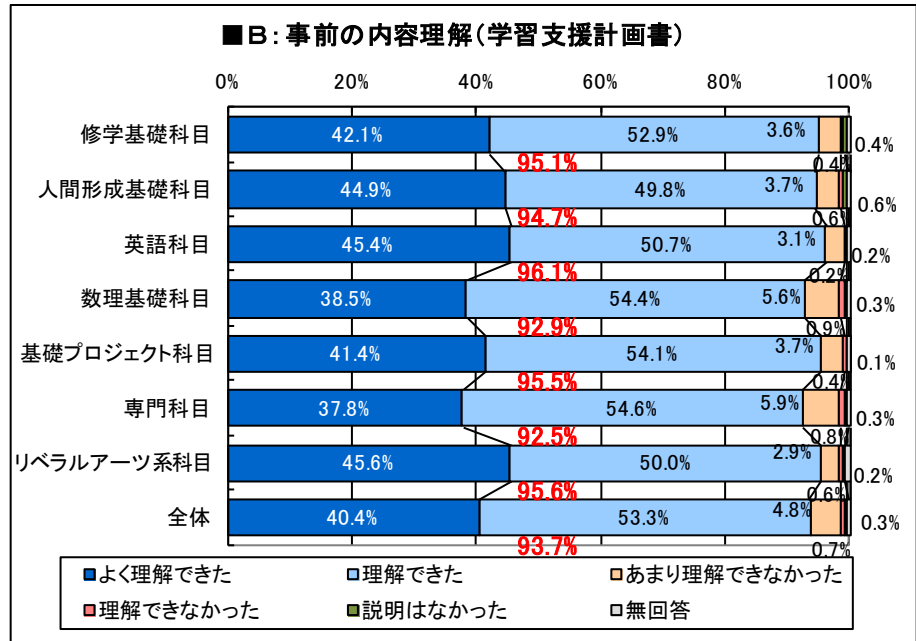
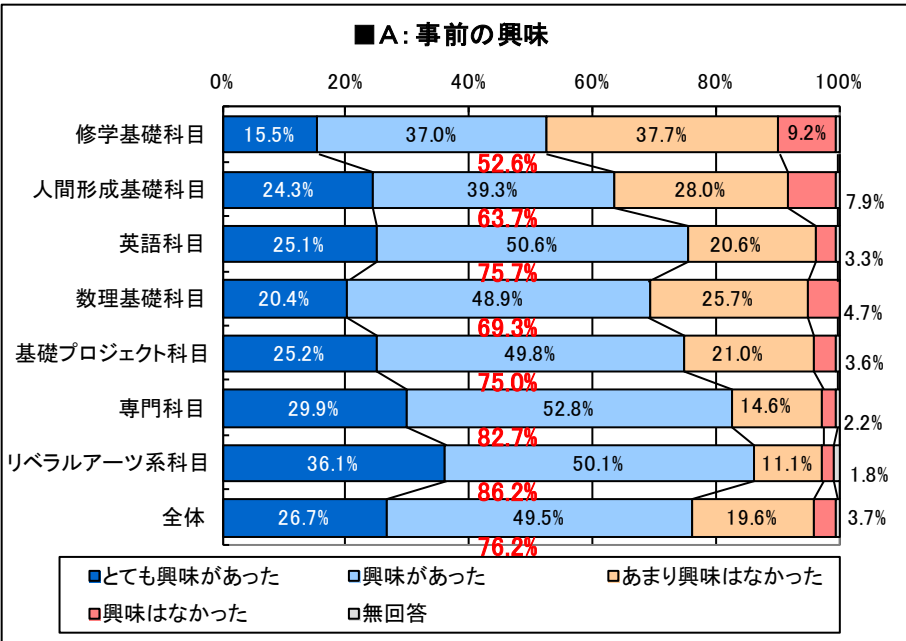


■ バイオ・化学部 学科別比較

|                | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| BC: 環境・応用化学科   | 79.0% | 93.3% | 96.5% | 85.1% | 95.9% | 98.1% | 94.6% | 93.1% | 96.1% | 96.2% |
| BB: 生命・応用バイオ学科 | 80.0% | 92.8% | 96.1% | 79.1% | 93.2% | 96.5% | 92.8% | 88.0% | 95.3% | 94.3% |

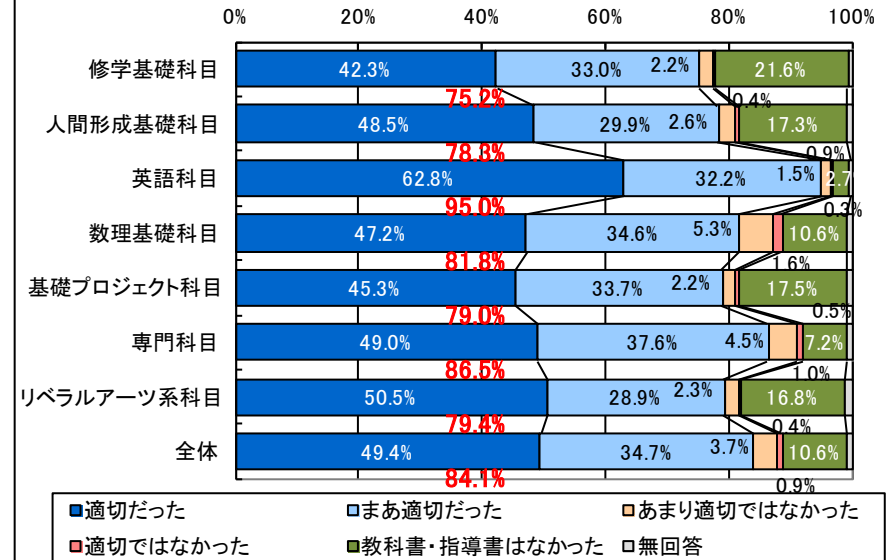
## ＜5＞科目区分別の分析

- 「A:事前の興味」で肯定的な意見が最も多いのは「リベラルアーツ系科目」の86.2%であり、「専門科目」が82.7%、「英語科目」が75.7%で続いている。一方、最も少ないのは「修学基礎科目」の52.6%で少なさが目立ち、7つの科目区分の差は最大で33.6ポイントと大きい。
- 「B:事前の内容理解(学習支援計画書)」で肯定的な意見が最も多いのは「英語科目」の96.1%である。一方、最も少ないのは「専門科目」の92.5%で差は最大で3.6ポイントと小さく、事前の内容理解の評価はいずれの科目区分でも高い。
- 「C:自分の熱意と努力」で肯定的な意見が最も多いのは「英語科目」の96.5%である。一方、最も少ないのは「数理基礎科目」の93.9%で差は最大で2.6ポイントと小さく、いずれの科目区分でも高い熱意と努力が感じられる。

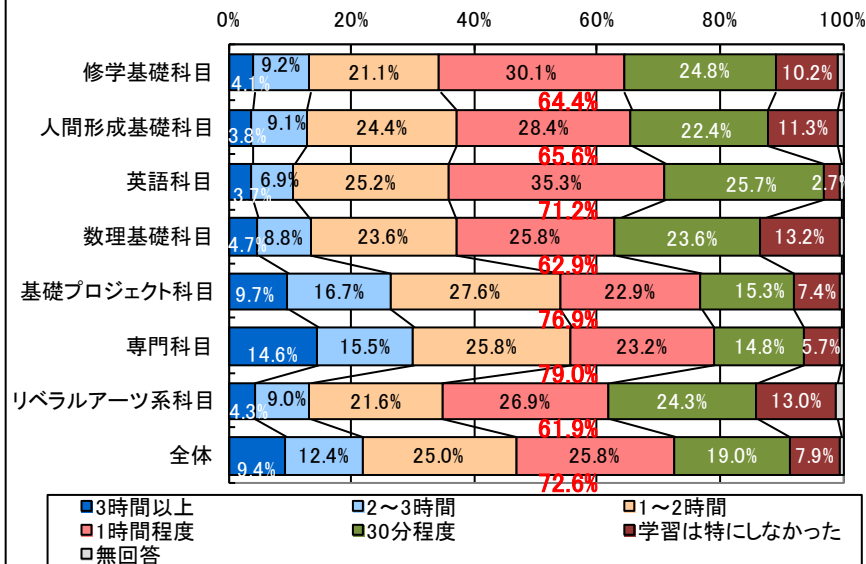


- 「D:予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)」で「1時間程度」までの合計を科目区分別に見ると、「専門科目」が79.0%、「基礎プロジェクト科目」が76.9%で多さが目立つ。また、この2つの科目区分では、長時間である「3時間以上」と「2～3時間」も多い。一方、少ないのは「リベラルアーツ系科目」の61.9%と「数理基礎科目」の62.9%であり、この2つは「学習は特にしなかった」も多い。
- 「E:教科書・指導書の適切さ」で肯定的な意見が最も多いのは「英語科目」の95.0%で多さが目立ち、「適切だった」も62.8%と多い。そして、「専門科目」が86.5%、「数理基礎科目」が81.8%で続いている。一方、最も少ないのは「修学基礎科目」の75.2%であり、「教科書・指導書はなかった」が21.6%と多い。
- 「F:課題・レポートの適切さ」で肯定的な意見が最も多いのは「英語科目」の98.2%であり、「十分役立った」も64.3%と多い。一方、最も少ないのは「専門科目」の94.5%であるが、いずれの科目区分でもほぼ95%以上が肯定的な意見であり、課題・レポートの評価は全体的に非常に高い。

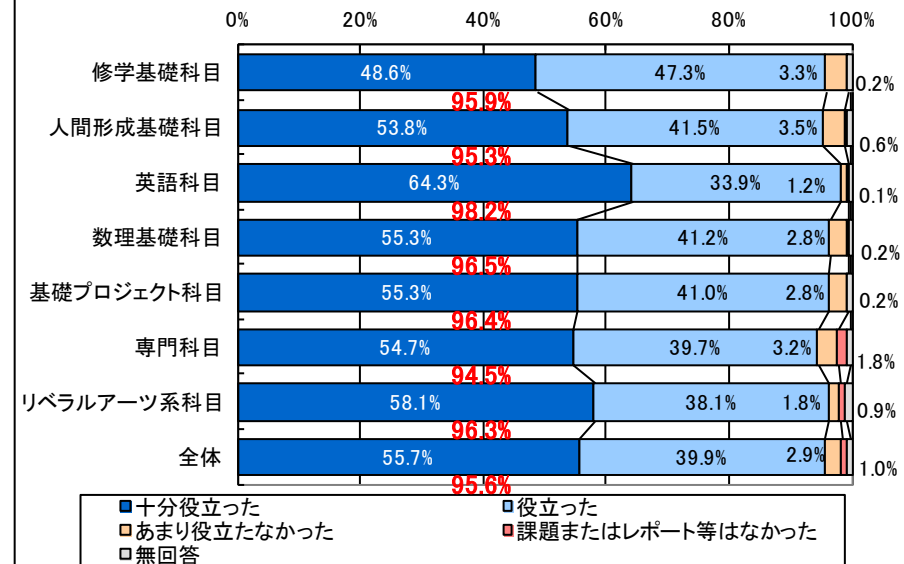
■E:教科書・指導書の適切さ



■D:予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)

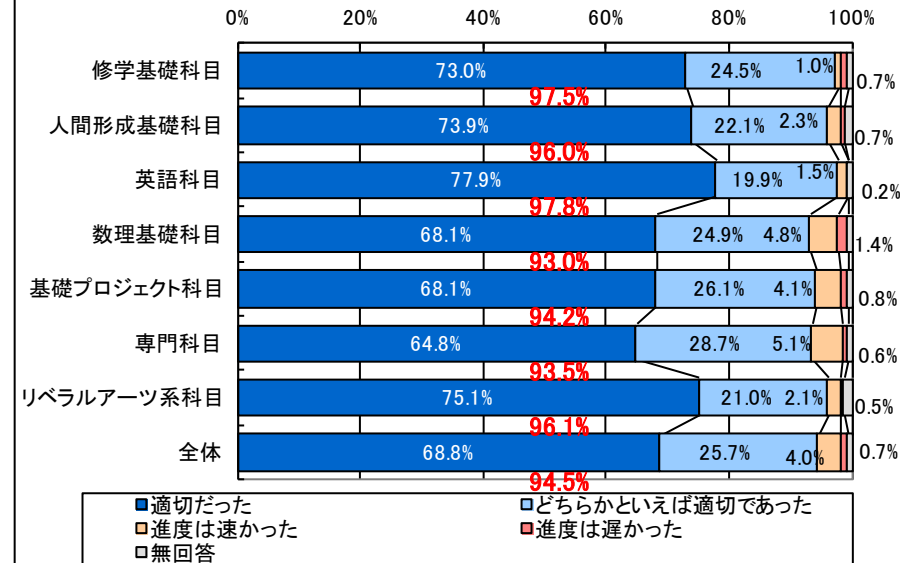


■F:課題・レポートの適切さ

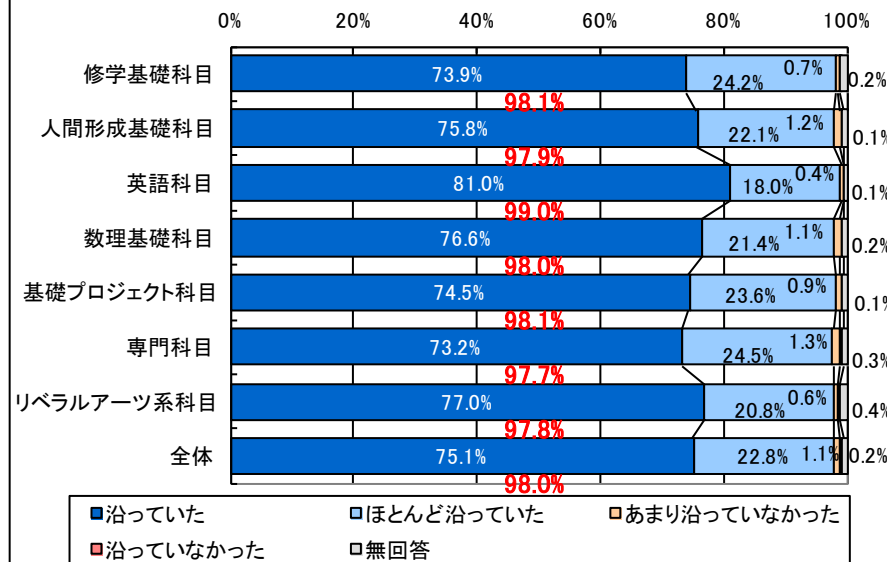


- 「G:学習支援計画書との一致」はすべての科目区分で肯定的な意見が97%以上であり、評価は全体的に非常に高い。中でも最も高いのは「英語科目」の99.0%で、「沿っていた」も81.0%と最も多い。一方、最も低いのは「専門科目」の97.7%である。
- 「H:授業の進度の適切さ」もすべての科目区分で肯定的な意見が90%を超え、高い評価である。中でも最も高いのは「英語科目」の97.8%で、「適切だった」も77.9%で最も多い。一方、最も低いのは「数理基礎科目」の93.0%である。
- 「I:学習相談(OH、チューター)の有効性」で「相談しなかった」の割合を見ると、「修学基礎科目」が49.5%とやや少ないが、他はすべて5割を超えており、最も多い「リベラルアーツ系科目」では61.9%が学習相談をしていない。そして、利用者の評価を見ると、いずれの科目区分でも否定的な意見は3%に満たず、利用者の評価は高い。

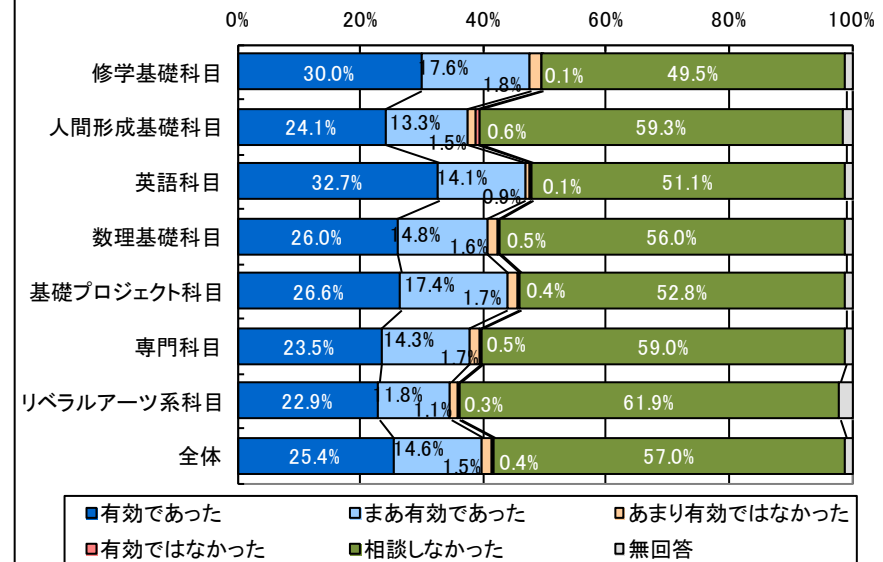
■H: 授業の進度の適切さ



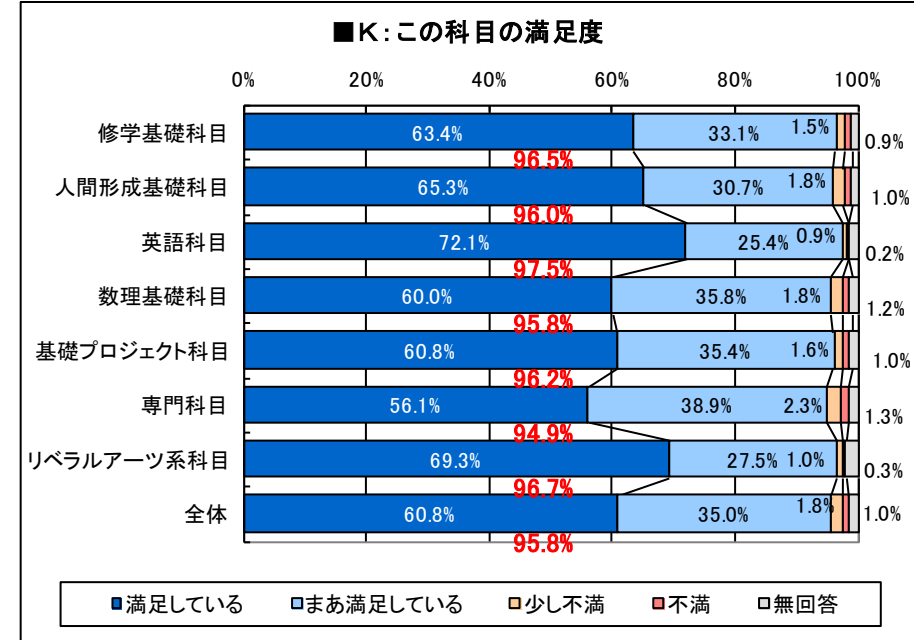
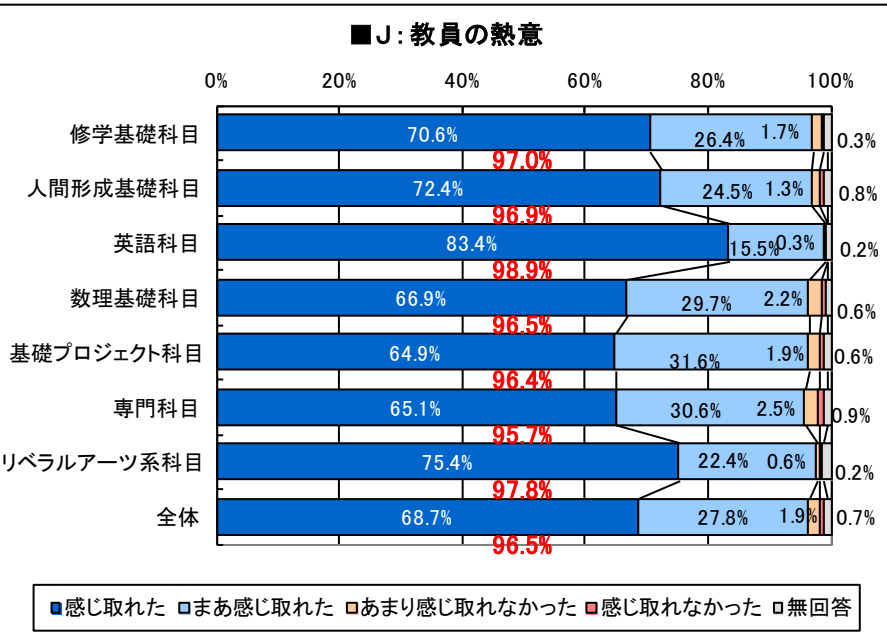
■G: 学習支援計画書との一致



■I: 学習相談(OH、チューター)の有効性



- 「J:教員の熱意」はすべての科目区分で肯定的な意見が95%を超えて非常に高い評価であり、ほとんどの学生が教員の熱意を感じ取れたと答えている。そして、「感じ取れた」だけで比較すると「英語科目」が83.4%、「リベラルアーツ系科目」が75.4%で多さが目立っている。
- 「K:この科目の満足度」もほとんどの科目区分で肯定的な意見が95%を超え、非常に高い満足度である。最も多いのは「英語科目」の97.5%、最も少ないのは「専門科目」の94.9%であり、差は2.6ポイントと小さい。そして、「満足している」だけで比較すると「英語科目」が72.1%、「リベラルアーツ系科目」が69.3%で多さが目立っている。一方、最も少ないのは「専門科目」の56.1%であるが、これも5割を超えている。

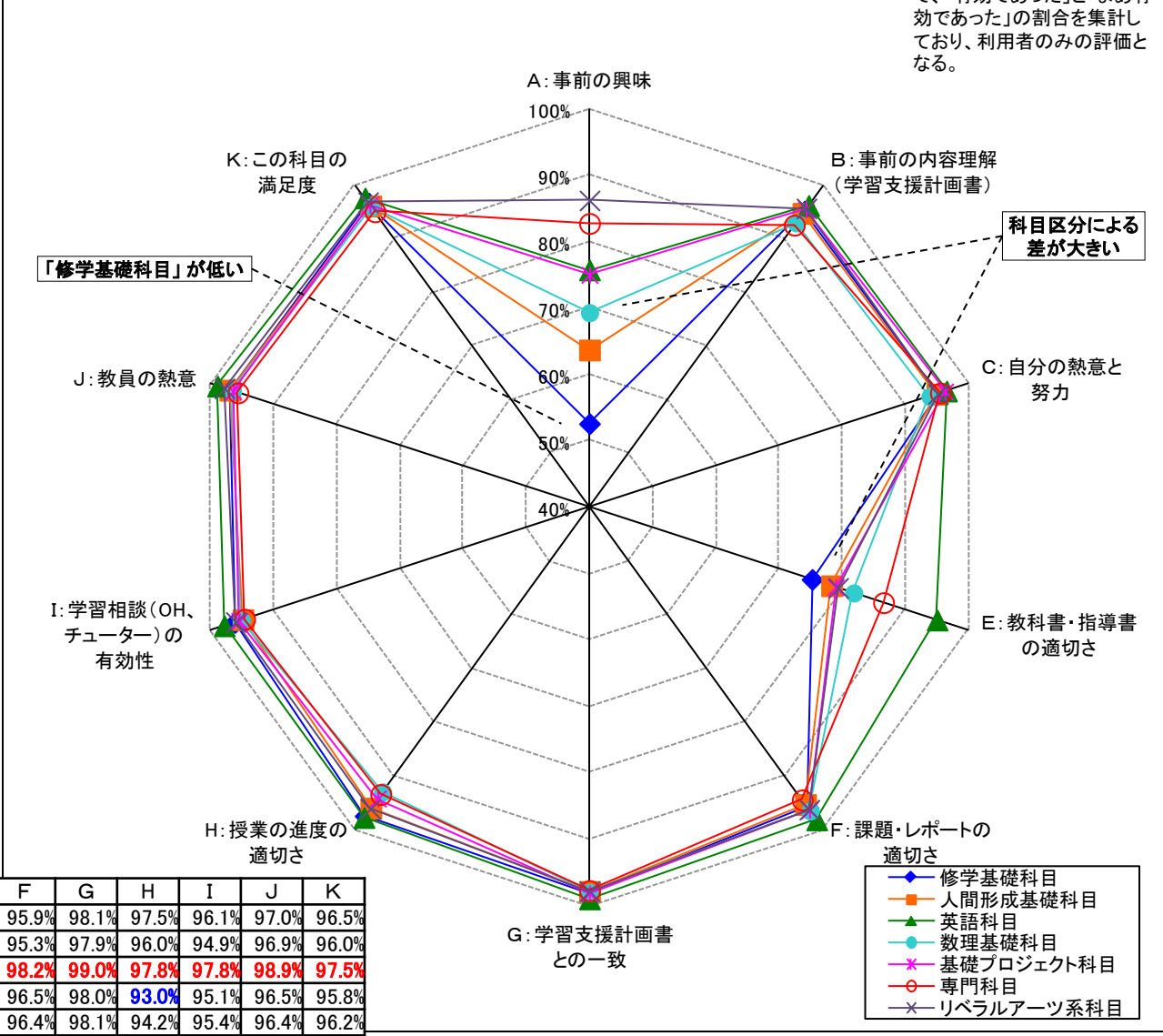


- 肯定的な意見の割合を、科目区分別にレーダーチャートで比較している。
- 科目区分による差が大きいのは、「A:事前の興味」と「E:教科書・指導書の適切さ」の2項目である。
- 上記の2項目のうち、「A:事前の興味」では「リベラルアーツ系科目」と「専門科目」が高い。一方で「修学基礎科目」が目立って低く、「人間形成基礎科目」も低めである。そして、「E:教科書・指導書の適切さ」は「英語科目」が非常に高い点が特徴的である。
- 下表の数値を見ると、「英語科目」は10項目中の9項目で最も高い。一方、「専門科目」は6項目で最も低い。

■科目の評価比較

|            | A     | B     | C     | E     | F     | G     | H     | I     | J     | K     |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 修学基礎科目     | 52.6% | 95.1% | 95.1% | 75.2% | 95.9% | 98.1% | 97.5% | 96.1% | 97.0% | 96.5% |
| 人間形成基礎科目   | 63.7% | 94.7% | 95.0% | 78.3% | 95.3% | 97.9% | 96.0% | 94.9% | 96.9% | 96.0% |
| 英語科目       | 75.7% | 96.1% | 96.5% | 95.0% | 98.2% | 99.0% | 97.8% | 97.8% | 98.9% | 97.5% |
| 数理基礎科目     | 69.3% | 92.9% | 93.9% | 81.8% | 96.5% | 98.0% | 93.0% | 95.1% | 96.5% | 95.8% |
| 基礎プロジェクト科目 | 75.0% | 95.5% | 96.3% | 79.0% | 96.4% | 98.1% | 94.2% | 95.4% | 96.4% | 96.2% |
| 専門科目       | 82.7% | 92.5% | 95.5% | 86.5% | 94.5% | 97.7% | 93.5% | 94.6% | 95.7% | 94.9% |
| リベラルアーツ系科目 | 86.2% | 95.6% | 95.2% | 79.4% | 96.3% | 97.8% | 96.1% | 96.0% | 97.8% | 96.7% |

■科目区分別比較レーダーチャート



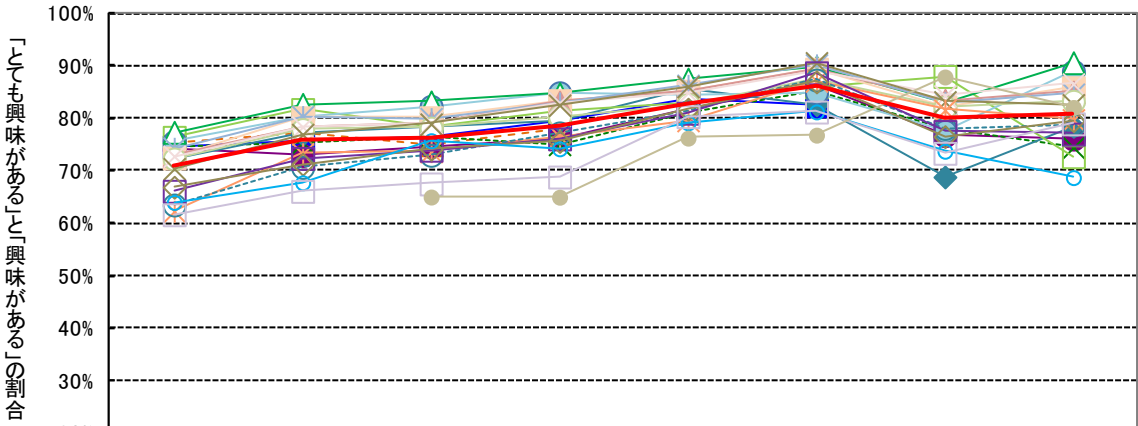
※「I:学習相談の有効性」は「相談しなかった」を除いた上で、「有効であった」と「まあ有効であった」の割合を集計しており、利用者の方の評価となる。

※最高が赤太文字、最低が青太文字としている。

## ＜6＞同一学生群の分析

- 同一学生群が学年が上がるにつれてどのような意識変化をしているのか、主要な指標を追跡してグラフ化した。
- 「H21卒業生」の段階で学期が3学期制から2学期制となったため、「H21卒業生」以前の学生群は「秋学期」を「後学期」として集計し、「冬学期」のデータは除外している。
- 「A:事前の興味」の「全体平均」を見ると、「1年次-前学期」には71.0%であり、それ以降は「3年次-後学期」の86.2%まで徐々に増加している。そして、「4年次-前学期」で低下して、「4年次-後学期」までほぼ横ばいで卒業に至っている。
- 学生群ごとに見ると、以前は4年間を通して低い学生群が多かったが、「H26卒業生」あたりから肯定的な意見が増えて「2年次」頃から8割を超えており、授業に対する事前の興味が強くなってきているようである。特に「R2卒業生」などは4年間を通じて肯定的な意見が多い状態を維持している。
- ここ数年の卒業生と現在の在学生はそれほど高いわけではなく、「全体平均」に近い値となっており、事前の興味が目立って強い学生群は見られない。

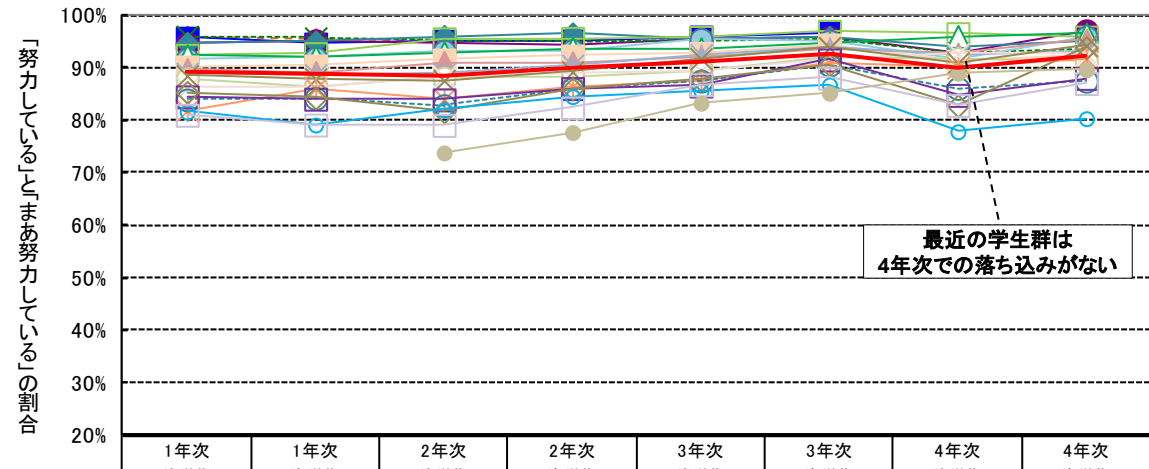
■ 学年毎・学期毎の「A:事前の興味」の変化 同一学生群の変化



|                | 1年次<br>前学期 | 1年次<br>後学期 | 2年次<br>前学期 | 2年次<br>後学期 | 3年次<br>前学期 | 3年次<br>後学期 | 4年次<br>前学期 | 4年次<br>後学期 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ---▲--- 現2年次   | 75.4%      | 77.2%      | 75.0%      | 77.9%      |            |            |            |            |
| —■— 現3年次       | 74.6%      | 75.6%      | 76.5%      | 79.4%      | 83.6%      | 82.4%      |            |            |
| —●— 現4年次       | 74.1%      | 73.0%      | 74.7%      | 76.2%      | 81.9%      | 86.4%      | 76.7%      | 76.1%      |
| ---×--- R6卒業生  | 74.7%      | 75.4%      | 76.6%      | 75.1%      | 81.2%      | 85.1%      | 78.1%      | 74.5%      |
| —◆— R5卒業生      | 72.4%      | 77.0%      | 78.4%      | 79.6%      | 85.6%      | 82.6%      | 68.9%      | 78.5%      |
| —□— R4卒業生      | 76.4%      | 81.7%      | 78.5%      | 81.3%      | 83.0%      | 86.0%      | 88.0%      | 72.7%      |
| —●— R3卒業生      | 75.6%      | 80.4%      | 82.3%      | 84.9%      | 84.5%      | 84.9%      | 77.6%      | 89.0%      |
| —▲— R2卒業生      | 77.4%      | 82.7%      | 83.2%      | 84.7%      | 87.5%      | 89.9%      | 83.0%      | 90.6%      |
| —■— R1卒業生      | 72.5%      | 80.1%      | 80.2%      | 83.4%      | 85.2%      | 89.4%      | 82.2%      | 85.9%      |
| —▲— H30卒業生     | 73.0%      | 78.2%      | 79.2%      | 83.1%      | 85.2%      | 89.5%      | 83.5%      | 85.0%      |
| —※— H29卒業生     | 74.3%      | 80.4%      | 80.0%      | 83.0%      | 86.3%      | 90.2%      | 83.0%      | 84.6%      |
| —○— H28卒業生     | 72.3%      | 77.9%      | 78.2%      | 80.4%      | 82.7%      | 87.5%      | 82.2%      | 83.3%      |
| —×— H27卒業生     | 72.8%      | 78.4%      | 79.2%      | 83.0%      | 84.9%      | 89.1%      | 84.3%      | 86.6%      |
| —×— H26卒業生     | 70.4%      | 77.0%      | 78.9%      | 82.5%      | 86.1%      | 90.6%      | 83.2%      | 82.6%      |
| —※— H25卒業生     | 62.3%      | 73.3%      | 73.7%      | 76.6%      | 79.6%      | 87.1%      | 81.6%      | 79.7%      |
| ---○--- H24卒業生 | 63.5%      | 70.7%      | 73.0%      | 77.3%      | 81.3%      | 87.3%      | 78.1%      | 78.8%      |
| —□— H23卒業生     | 66.2%      | 72.4%      | 74.0%      | 76.1%      | 81.0%      | 88.7%      | 77.5%      | 77.0%      |
| —◆— H22卒業生     | 66.9%      | 71.3%      | 74.2%      | 75.6%      | 81.8%      | 87.0%      | 76.6%      | 79.6%      |
| —○— H21卒業生     | 64.0%      | 67.8%      | 75.8%      | 74.2%      | 79.2%      | 81.3%      | 73.8%      | 68.8%      |
| —□— H20卒業生     | 61.7%      | 66.1%      | 67.5%      | 68.9%      | 80.4%      | 81.2%      | 73.4%      | 79.0%      |
| —●— H19卒業生     |            |            | 65.1%      | 65.0%      | 76.3%      | 76.8%      | 87.9%      | 82.1%      |
| —■— 全体平均       | 71.0%      | 75.8%      | 76.4%      | 78.5%      | 82.9%      | 86.2%      | 80.0%      | 80.8%      |

- 「C:自分の熱意と努力」の「全体平均」を見ると、「1年次-前学期」から「2年次-前学期」にかけて横ばいの後、「3年次-後学期」にかけてゆるやかに増加し、「4年次-前学期」で低下して「4年次-後学期」で再び増加している。ただし、いずれの変化も大きいものではなく、熱意と努力は4年間であまり大きく変動していない。
- 学生群ごとに見ると、以前は「H20卒業生」「H21卒業生」「H22卒業生」「H23卒業生」のように、4年次で大きく低下する学生群も見られたが、ここ数年は低学年の時点から高く、4年間を通じて中だるみなく卒業に至るケースが増加しているように思われる。
- 特に「R5卒業生」以降の学生群は「1年次-前学期」から非常に強い熱意を持っており、「R6卒業生」は過去最高、「現2年次」は過去2番目の高さであり、強い熱意と努力が感じられる。

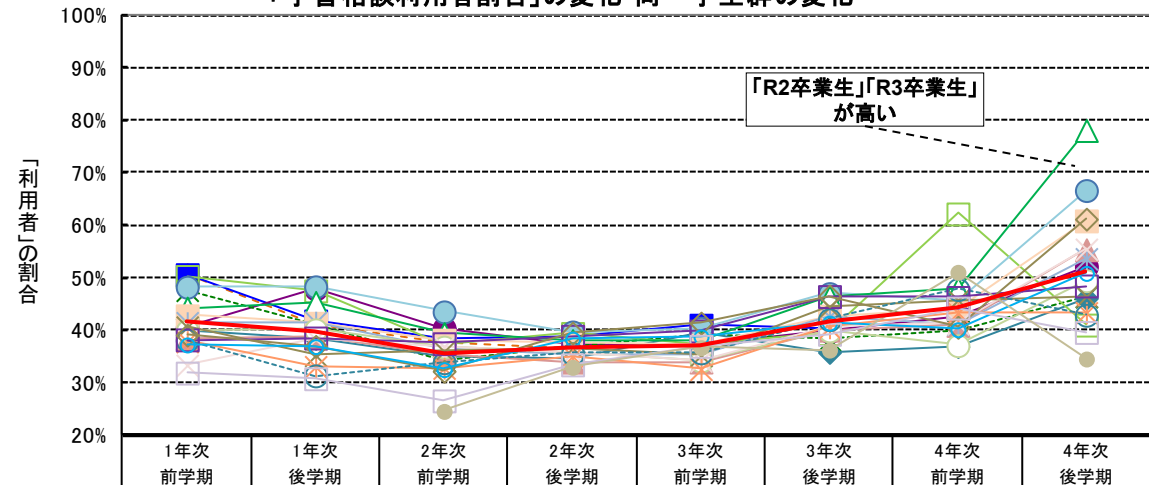
■ 学年毎・学期毎の「C: 自分の熱意と努力」の変化 同一学生群の変化



|                | 1年次<br>前学期 | 1年次<br>後学期 | 2年次<br>前学期 | 2年次<br>後学期 | 3年次<br>前学期 | 3年次<br>後学期 | 4年次<br>前学期 | 4年次<br>後学期 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ---▲--- 現2年次   | 95.9%      | 95.4%      | 95.1%      | 95.1%      |            |            |            |            |
| —■— 現3年次       | 95.7%      | 94.6%      | 95.1%      | 95.1%      | 95.9%      | 96.6%      |            |            |
| —●— 現4年次       | 94.6%      | 95.2%      | 94.5%      | 94.3%      | 95.5%      | 95.8%      | 92.7%      | 97.1%      |
| ---×--- R6卒業生  | 96.0%      | 95.7%      | 95.1%      | 95.0%      | 95.1%      | 95.5%      | 92.9%      | 93.5%      |
| —◆— R5卒業生      | 94.7%      | 95.0%      | 96.0%      | 96.5%      | 95.4%      | 95.9%      | 93.8%      | 95.1%      |
| —□— R4卒業生      | 92.4%      | 92.7%      | 95.6%      | 95.6%      | 95.8%      | 97.0%      | 96.5%      | 95.9%      |
| —○— R3卒業生      | 91.7%      | 91.9%      | 93.2%      | 93.3%      | 95.4%      | 95.1%      | 91.5%      | 95.9%      |
| —→— R2卒業生      | 92.3%      | 92.1%      | 92.9%      | 93.7%      | 93.7%      | 94.7%      | 96.0%      | 96.5%      |
| —■— R1卒業生      | 90.2%      | 90.4%      | 91.5%      | 92.3%      | 92.8%      | 94.4%      | 91.3%      | 92.3%      |
| —▲— H30卒業生     | 89.7%      | 89.1%      | 91.1%      | 91.0%      | 92.0%      | 93.5%      | 92.7%      | 95.3%      |
| —※— H29卒業生     | 89.0%      | 88.7%      | 88.9%      | 90.5%      | 92.5%      | 93.8%      | 92.3%      | 93.1%      |
| —○— H28卒業生     | 87.9%      | 86.5%      | 88.1%      | 88.4%      | 89.5%      | 92.1%      | 91.8%      | 91.2%      |
| —×— H27卒業生     | 86.2%      | 86.3%      | 88.3%      | 89.2%      | 89.5%      | 91.8%      | 92.7%      | 92.6%      |
| —×— H26卒業生     | 88.5%      | 87.9%      | 87.6%      | 89.3%      | 91.8%      | 93.9%      | 91.0%      | 94.3%      |
| —※— H25卒業生     | 81.9%      | 86.1%      | 84.0%      | 86.5%      | 87.5%      | 91.0%      | 90.1%      | 91.8%      |
| ---○--- H24卒業生 | 83.9%      | 84.2%      | 82.8%      | 86.1%      | 87.5%      | 90.5%      | 86.1%      | 87.5%      |
| —□— H23卒業生     | 84.5%      | 84.1%      | 83.9%      | 86.1%      | 86.6%      | 91.5%      | 84.8%      | 88.0%      |
| —◆— H22卒業生     | 85.4%      | 84.3%      | 81.7%      | 86.0%      | 87.7%      | 90.6%      | 82.8%      | 93.9%      |
| —○— H21卒業生     | 81.6%      | 79.1%      | 82.0%      | 84.6%      | 85.6%      | 86.8%      | 77.9%      | 80.4%      |
| —□— H20卒業生     | 81.0%      | 79.1%      | 79.1%      | 82.4%      | 86.8%      | 88.1%      | 82.9%      | 87.0%      |
| —●— H19卒業生     |            |            | 73.8%      | 77.7%      | 83.3%      | 85.2%      | 89.0%      | 89.7%      |
| —■— 全体平均       | 89.2%      | 88.9%      | 88.6%      | 89.9%      | 91.0%      | 92.7%      | 89.9%      | 92.2%      |

- 「I:学習相談の有効性」は内容の評価ではなく、「学習相談利用者割合」の変化を見ている。
- 「学習相談利用者割合」の「全体平均」は、「1年次-前学期」から「2年次-前学期」にかけてやや低下し、その後は「4年次-後学期」にかけて徐々に増加している。利用者の割合は約35%から約50%に収まり、一定割合の学生は継続的に学習相談を利用しているようである。
- 各学生群の動きを見ると、「2年次-後学期」から「3年次-後学期」にかけてはバラツキが少ないが、「4年次」になると大きな差がついており、特に「4年次-後学期」の差は大きい。
- 「4年次」の時期に特徴的であったのは「R2卒業生」「R3卒業生」などであり、「4年次-後学期」での利用率が一気に上がっている。また、「R4卒業生」は「4年次-前学期」に大きく向上し、「4年次-後学期」に一気に低下している。
- ここ数年の学生群を見ると、「現3年次」「現2年次」は「1年次-前学期」から利用率が高く、入学直後でも学習相談が使いやすくなっているのではないかとと思われる。

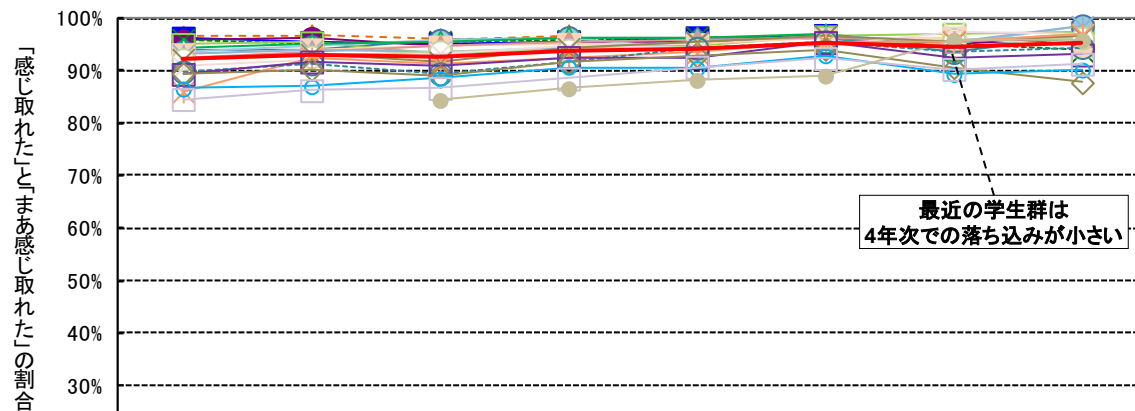
■ 学年毎・学期毎の「I:学習相談の有効性」による  
「学習相談利用者割合」の変化 同一学生群の変化



|                | 1年次<br>前学期 | 1年次<br>後学期 | 2年次<br>前学期 | 2年次<br>後学期 | 3年次<br>前学期 | 3年次<br>後学期 | 4年次<br>前学期 | 4年次<br>後学期 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ---▲--- 現2年次   | 50.6%      | 41.0%      | 37.6%      | 36.5%      |            |            |            |            |
| —■— 現3年次       | 50.7%      | 41.8%      | 38.4%      | 38.9%      | 41.0%      | 40.2%      |            |            |
| —●— 現4年次       | 40.5%      | 47.9%      | 40.4%      | 37.2%      | 37.4%      | 39.8%      | 42.6%      | 52.2%      |
| ---×--- R6卒業生  | 47.7%      | 41.3%      | 34.3%      | 37.0%      | 39.3%      | 38.3%      | 39.8%      | 46.5%      |
| —◆— R5卒業生      | 40.0%      | 38.5%      | 35.0%      | 34.6%      | 39.5%      | 35.9%      | 37.0%      | 46.2%      |
| —□— R4卒業生      | 50.3%      | 47.6%      | 37.2%      | 39.5%      | 37.3%      | 39.4%      | 62.2%      | 41.1%      |
| —●— R3卒業生      | 48.3%      | 48.3%      | 43.6%      | 39.7%      | 40.5%      | 47.0%      | 45.7%      | 66.7%      |
| —▲— R2卒業生      | 44.3%      | 45.4%      | 39.4%      | 38.1%      | 37.9%      | 46.4%      | 48.0%      | 78.1%      |
| —■— R1卒業生      | 42.8%      | 41.4%      | 38.2%      | 37.5%      | 37.3%      | 42.8%      | 44.2%      | 60.9%      |
| —▲— H30卒業生     | 38.5%      | 38.7%      | 35.3%      | 34.0%      | 34.0%      | 40.1%      | 41.0%      | 55.4%      |
| —※— H29卒業生     | 41.5%      | 41.6%      | 36.6%      | 35.5%      | 35.3%      | 42.7%      | 41.2%      | 53.7%      |
| —○— H28卒業生     | 40.0%      | 40.1%      | 36.9%      | 35.6%      | 34.2%      | 39.9%      | 37.1%      | 49.5%      |
| —×— H27卒業生     | 33.4%      | 38.4%      | 37.0%      | 35.8%      | 34.2%      | 40.8%      | 41.3%      | 55.5%      |
| —×— H26卒業生     | 40.7%      | 35.3%      | 36.0%      | 36.7%      | 35.3%      | 44.5%      | 45.8%      | 46.5%      |
| —※— H25卒業生     | 37.9%      | 33.1%      | 32.9%      | 35.1%      | 32.6%      | 40.5%      | 43.4%      | 43.4%      |
| ---○--- H24卒業生 | 38.2%      | 31.4%      | 33.9%      | 35.6%      | 35.8%      | 42.1%      | 47.8%      | 42.9%      |
| —■— H23卒業生     | 38.2%      | 38.6%      | 37.5%      | 38.9%      | 39.9%      | 46.5%      | 46.3%      | 48.5%      |
| —◆— H22卒業生     | 39.1%      | 37.0%      | 32.3%      | 39.5%      | 41.4%      | 46.6%      | 40.6%      | 61.2%      |
| —○— H21卒業生     | 37.3%      | 37.0%      | 32.6%      | 38.4%      | 38.8%      | 41.4%      | 40.2%      | 50.9%      |
| —□— H20卒業生     | 31.9%      | 30.8%      | 26.6%      | 33.5%      | 37.0%      | 39.3%      | 44.3%      | 39.7%      |
| —●— H19卒業生     |            |            | 24.6%      | 33.0%      | 36.8%      | 36.3%      | 51.1%      | 34.6%      |
| —■— 全体平均       | 41.6%      | 39.8%      | 35.5%      | 36.7%      | 37.3%      | 41.5%      | 44.2%      | 51.2%      |

- 「J:教員の熱意」の「全体平均」を見ると、わずかな低下はあるものの継続的に90%以上のまま緩やかな右肩上がりで推移しており、4年間を通してしっかりと教員の熱意を感じているものと思われる。
- 学生群の特徴を見ると、以前は「4年次-前学期」での中だるみのような低下が見られたが、最近の学生群では落ち込みが小さくなっており、高い評価のまま卒業に至る学生群が増加している。
- ここ数年の学生群を見ると、入学直後である「1年次-前学期」から肯定的な意見が非常に多く、「現2年次」は過去最高、「現3年次」「R6卒業生」がそれに続く高さであり、1年次から教員の熱意を強く感じているようである。

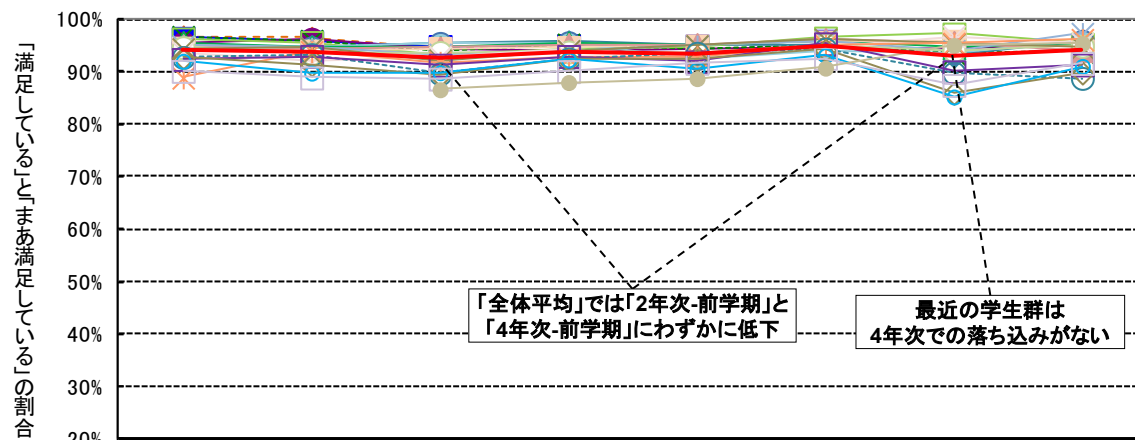
■ 学年毎・学期毎の「J:教員の熱意」の変化 同一学生群の変化



|                | 1年次<br>前学期 | 1年次<br>後学期 | 2年次<br>前学期 | 2年次<br>後学期 | 3年次<br>前学期 | 3年次<br>後学期 | 4年次<br>前学期 | 4年次<br>後学期 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ---▲--- 現2年次   | 96.5%      | 96.7%      | 96.0%      | 96.7%      |            |            |            |            |
| —■— 現3年次       | 96.3%      | 95.4%      | 95.2%      | 95.6%      | 96.3%      | 96.8%      |            |            |
| —●— 現4年次       | 95.7%      | 96.2%      | 94.7%      | 95.5%      | 95.5%      | 96.3%      | 95.2%      | 96.4%      |
| ---×--- R6卒業生  | 96.0%      | 94.9%      | 95.6%      | 95.7%      | 96.4%      | 96.5%      | 95.2%      | 93.8%      |
| —◆— R5卒業生      | 94.1%      | 94.0%      | 95.8%      | 96.3%      | 96.2%      | 96.1%      | 93.6%      | 96.8%      |
| —□— R4卒業生      | 95.0%      | 95.4%      | 93.3%      | 94.5%      | 94.8%      | 96.5%      | 97.0%      | 97.4%      |
| —○— R3卒業生      | 93.7%      | 94.6%      | 95.9%      | 96.4%      | 94.1%      | 95.0%      | 95.1%      | 98.6%      |
| —→— R2卒業生      | 94.2%      | 94.9%      | 95.5%      | 96.3%      | 96.2%      | 96.9%      | 94.3%      | 96.2%      |
| —■— R1卒業生      | 93.1%      | 94.0%      | 94.6%      | 95.1%      | 95.0%      | 96.1%      | 96.3%      | 94.8%      |
| —▲— H30卒業生     | 92.6%      | 93.7%      | 94.7%      | 95.5%      | 95.9%      | 96.2%      | 95.7%      | 96.8%      |
| —※— H29卒業生     | 93.0%      | 93.8%      | 93.5%      | 94.3%      | 95.4%      | 96.6%      | 95.6%      | 98.4%      |
| —○— H28卒業生     | 92.2%      | 92.7%      | 93.7%      | 94.0%      | 93.9%      | 95.3%      | 96.0%      | 96.3%      |
| —×— H27卒業生     | 90.7%      | 92.1%      | 93.3%      | 94.6%      | 94.1%      | 94.8%      | 97.3%      | 96.9%      |
| —×— H26卒業生     | 92.2%      | 93.1%      | 91.7%      | 94.2%      | 95.5%      | 96.6%      | 95.5%      | 96.7%      |
| —※— H25卒業生     | 86.0%      | 92.5%      | 91.2%      | 92.6%      | 93.4%      | 95.4%      | 95.6%      | 96.9%      |
| ---○--- H24卒業生 | 89.8%      | 91.4%      | 89.5%      | 91.8%      | 94.3%      | 95.6%      | 93.5%      | 94.5%      |
| —□— H23卒業生     | 89.4%      | 91.7%      | 90.9%      | 92.6%      | 92.5%      | 95.4%      | 92.5%      | 93.1%      |
| —◆— H22卒業生     | 89.5%      | 90.3%      | 88.9%      | 91.6%      | 92.9%      | 94.1%      | 90.6%      | 87.8%      |
| —○— H21卒業生     | 86.6%      | 87.0%      | 88.5%      | 90.7%      | 90.5%      | 92.9%      | 89.3%      | 90.2%      |
| —□— H20卒業生     | 84.6%      | 86.2%      | 86.7%      | 88.5%      | 90.7%      | 92.4%      | 90.3%      | 91.3%      |
| —●— H19卒業生     |            |            | 84.4%      | 86.6%      | 88.2%      | 89.0%      | 95.9%      | 95.8%      |
| —■— 全体平均       | 92.0%      | 93.0%      | 92.5%      | 93.8%      | 94.1%      | 95.2%      | 94.4%      | 95.2%      |

- 「K:この科目の満足度」の「全体平均」を見ると、「2年次-前学期」と「4年次-前学期」にわずかに低下するものの、4年間を通して92%から95%の学生が満足と答えており、非常に高い満足度と言える。
- 以前の学生群は「4年次-前学期」で満足度が大きく低下する中だるみのような状況が見られたが、「H26卒業生」あたりからは他の指標と同様に4年間の変動が少なくなってきたおり、満足度が高いまま卒業に至っている。
- ここ数年の学生群の満足度を見ると、「1年次-前学期」から非常に高く、「現2年次」と「R6卒業生」が同率で過去最高、「現3年次」「R4卒業生」がそれに次ぐ高さであり、入学直後の授業から高い満足度となっている。そして、それ以降も高い満足度を保っており、「R4卒業生」は「4年次-前学期」で在学中の最高の満足度になるなど、学生の意識の変化がうかがえる。

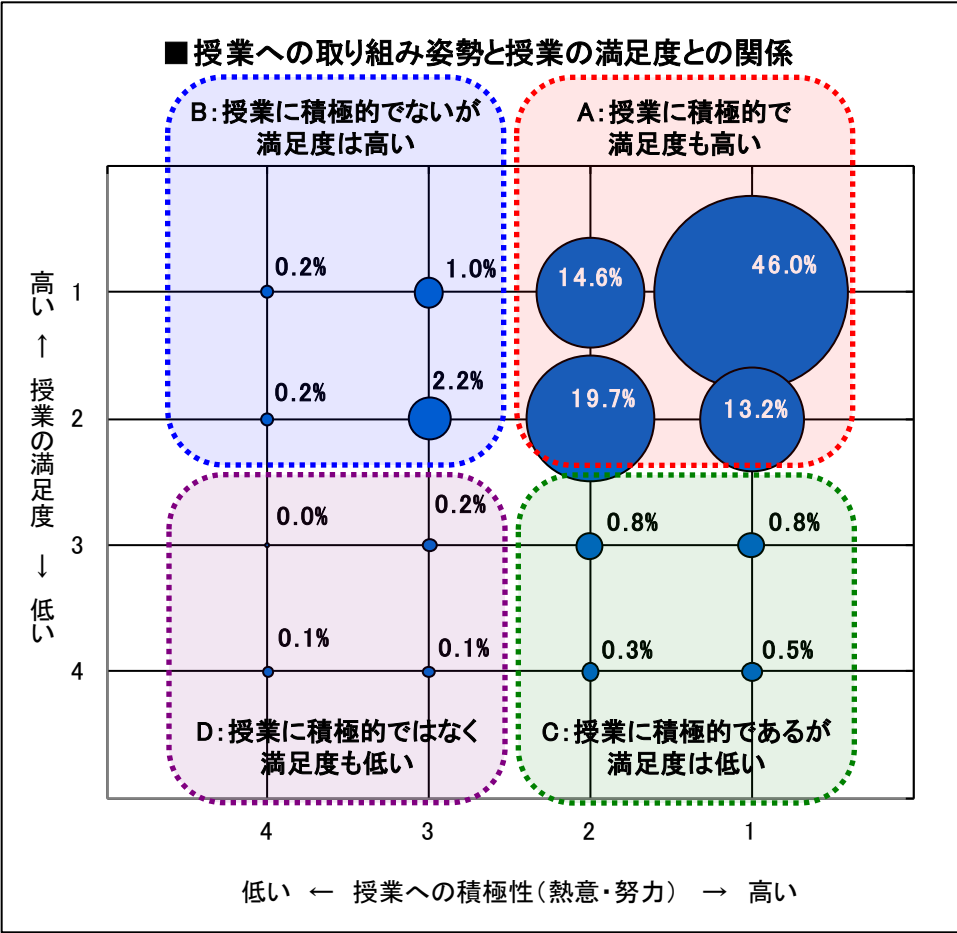
■ 学年毎・学期毎の「K:この科目の満足度」の変化 同一学生群の変化



|                | 1年次<br>前学期 | 1年次<br>後学期 | 2年次<br>前学期 | 2年次<br>後学期 | 3年次<br>前学期 | 3年次<br>後学期 | 4年次<br>前学期 | 4年次<br>後学期 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| ---▲--- 現2年次   | 96.7%      | 96.4%      | 94.5%      | 95.2%      |            |            |            |            |
| —■— 現3年次       | 96.4%      | 95.7%      | 94.9%      | 95.0%      | 95.0%      | 95.9%      |            |            |
| —●— 現4年次       | 95.5%      | 96.3%      | 94.4%      | 94.0%      | 94.2%      | 94.8%      | 94.3%      | 95.7%      |
| ---×--- R6卒業生  | 96.7%      | 96.0%      | 93.9%      | 95.3%      | 94.4%      | 94.9%      | 93.5%      | 93.8%      |
| —◆— R5卒業生      | 94.6%      | 94.9%      | 95.4%      | 95.8%      | 94.9%      | 95.2%      | 93.0%      | 95.8%      |
| —□— R4卒業生      | 96.3%      | 95.6%      | 93.3%      | 94.4%      | 94.5%      | 96.5%      | 97.2%      | 95.3%      |
| —○— R3卒業生      | 94.7%      | 94.6%      | 95.5%      | 95.6%      | 92.6%      | 94.1%      | 93.7%      | 95.9%      |
| —→— R2卒業生      | 95.6%      | 94.7%      | 94.7%      | 95.6%      | 95.0%      | 95.9%      | 94.6%      | 94.9%      |
| —■— R1卒業生      | 94.6%      | 94.0%      | 94.5%      | 94.7%      | 95.0%      | 95.7%      | 95.9%      | 94.1%      |
| —▲— H30卒業生     | 95.0%      | 94.2%      | 94.6%      | 95.3%      | 95.3%      | 96.2%      | 95.7%      | 94.1%      |
| —※— H29卒業生     | 94.9%      | 94.5%      | 93.4%      | 94.0%      | 94.9%      | 95.9%      | 94.0%      | 97.3%      |
| —○— H28卒業生     | 94.6%      | 93.6%      | 93.7%      | 93.8%      | 93.4%      | 95.2%      | 94.1%      | 94.9%      |
| —×— H27卒業生     | 93.7%      | 92.0%      | 92.9%      | 94.3%      | 92.9%      | 94.8%      | 96.8%      | 95.4%      |
| —×— H26卒業生     | 94.4%      | 94.5%      | 92.2%      | 94.1%      | 95.0%      | 96.2%      | 95.3%      | 94.6%      |
| —※— H25卒業生     | 88.9%      | 93.9%      | 91.9%      | 92.6%      | 92.9%      | 95.1%      | 95.4%      | 96.2%      |
| ---○--- H24卒業生 | 92.8%      | 93.3%      | 89.7%      | 92.5%      | 93.6%      | 94.4%      | 89.8%      | 88.8%      |
| —□— H23卒業生     | 92.4%      | 93.0%      | 91.3%      | 93.0%      | 91.9%      | 95.4%      | 90.1%      | 91.3%      |
| —◆— H22卒業生     | 92.7%      | 91.3%      | 89.4%      | 92.3%      | 92.3%      | 94.2%      | 85.9%      | 89.8%      |
| —○— H21卒業生     | 92.0%      | 89.8%      | 89.9%      | 92.3%      | 90.5%      | 93.1%      | 85.2%      | 91.1%      |
| —□— H20卒業生     | 90.1%      | 88.9%      | 88.6%      | 90.1%      | 91.7%      | 92.6%      | 87.5%      | 91.6%      |
| —○— H19卒業生     |            |            | 86.6%      | 88.0%      | 88.7%      | 90.7%      | 95.1%      | 95.4%      |
| —■— 全体平均       | 94.1%      | 93.9%      | 92.6%      | 93.7%      | 93.4%      | 94.8%      | 93.0%      | 94.0%      |

## ＜7＞授業への取り組み姿勢と授業の満足度の分析

- 「C:自分の熱意と努力」(積極性)と「K:この科目の満足度」の2つの指標を掛け合わせ、4つのグループに分けて比較した。
- 「A:授業に積極的で満足度も高い」は全体の93.6%を占めている。内訳を見ると、「満足度」「積極性」がともに高い学生が46.0%であり、半数近くが非常に積極的で満足度が高く、充実していると答えている。
- 「B:授業に積極的でないが満足度は高い」というグループは3.5%である。これは授業には積極的ではないものの満足度は高いという学生群であり、教員の指導で引っ張られているようなケースが考えられる。
- 「C:授業に積極的であるが満足度は低い」というグループは2.4%である。これは授業には積極的に取り組んでいるものの満足度が低いという学生群であり、授業の内容や指導方法などに不満を持っているようなケースが考えられる。
- 「D:授業に積極的ではなく満足度も低い」というグループは0.5%とわずかである。これは最も課題が多く、退学予備軍にも近いと思われ、しっかりとしたフォローが必要だと思われる。

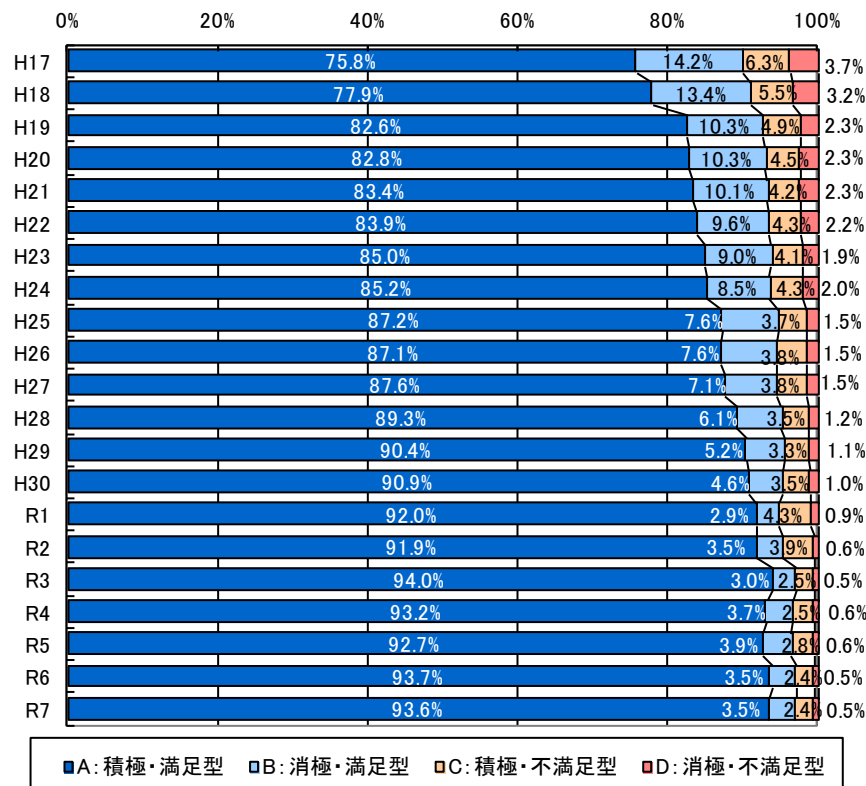


| 領域 | 割合    | 取り組み姿勢                                                                               | 略号     |
|----|-------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| A  | 93.6% | 授業に積極的で満足度も高い。<br>良い状態にある学生群であり、このグループが増えることが望ましい。                                   | 積極・満足型 |
| B  | 3.5%  | 授業に積極的でないが満足度は高い。<br>教員の指導によって引っばられているものと思われる。<br>積極性を持ってもらいたいが、無理強いをする必要まではないと思われる。 | 消極・満足型 |
| C  | 2.4%  | 授業に積極的であるが満足度は低い。<br>頑張っているのに満足が得られないグループであり、注意が必要。<br>「期待はずれ」「ついていけない」といった理由が考えられる。 | 積極・不満型 |
| D  | 0.5%  | 授業に積極的ではなく満足度も低い。<br>最も大きな課題であり、学生自身の自主性もないものと思われる。                                  | 消極・不満型 |

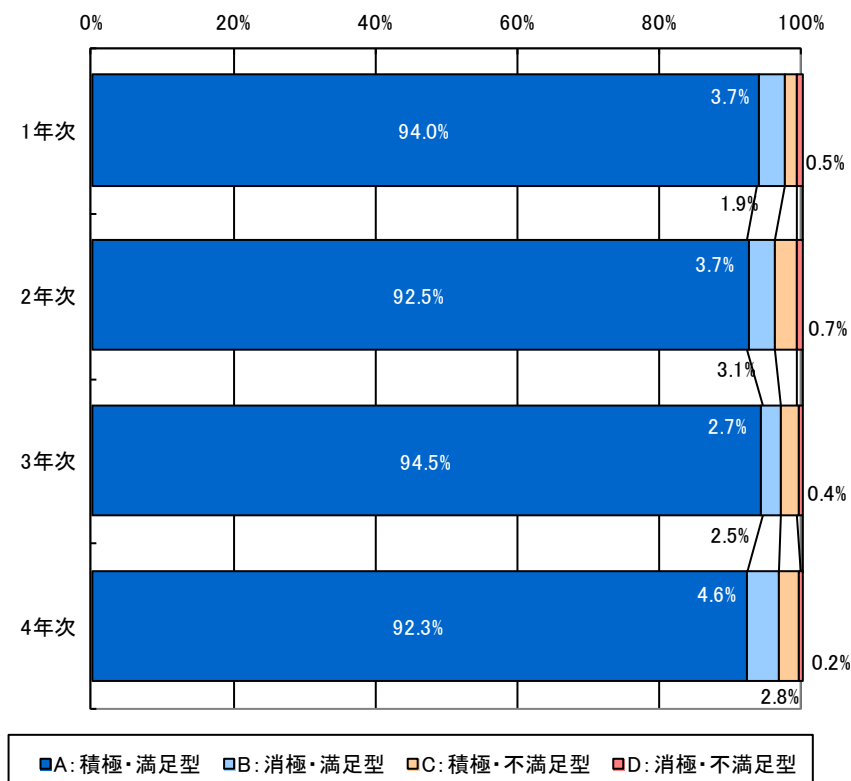
※上記グラフは「C:自分の熱意と努力」と「K:この科目の満足度」の1～4の回答を組み合わせ、全体を100%として各々の割合をプロットしている。

- 前項で見た4グループの経年変化を見ると、「A:積極・満足型」は93.6%で前回は0.1ポイントとわずかに下回るものの過去3番目で、多い状態が続いている。また、「B:消極・満足型」「C:積極・不満足型」「D:消極・不満足型」はいずれも前回と同じである。
- 「A:積極・満足型」の割合を学年別に比較すると、最も多いのは「3年次」の94.5%である。次いで「1年次」が94.0%、「2年次」が92.5%、「4年次」が92.3%が続いている。ただし、4学年の差は最大で2.0ポイントとわずかであり、学年との相関関係も見られない。

■ 積極性と満足度の経年変化

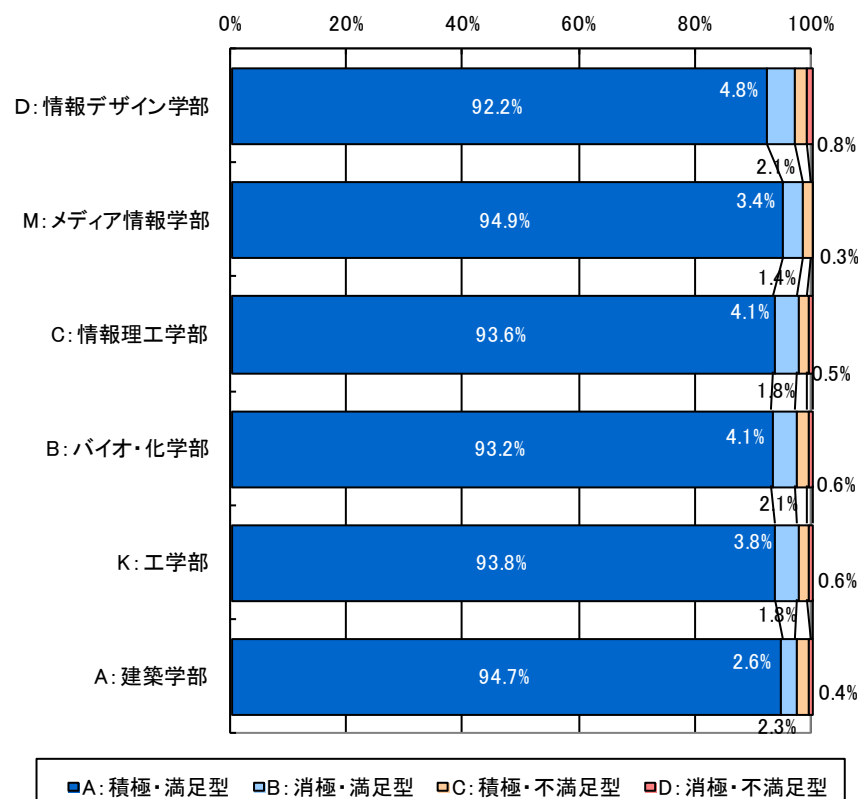


■ 積極性と満足度の学年別比較

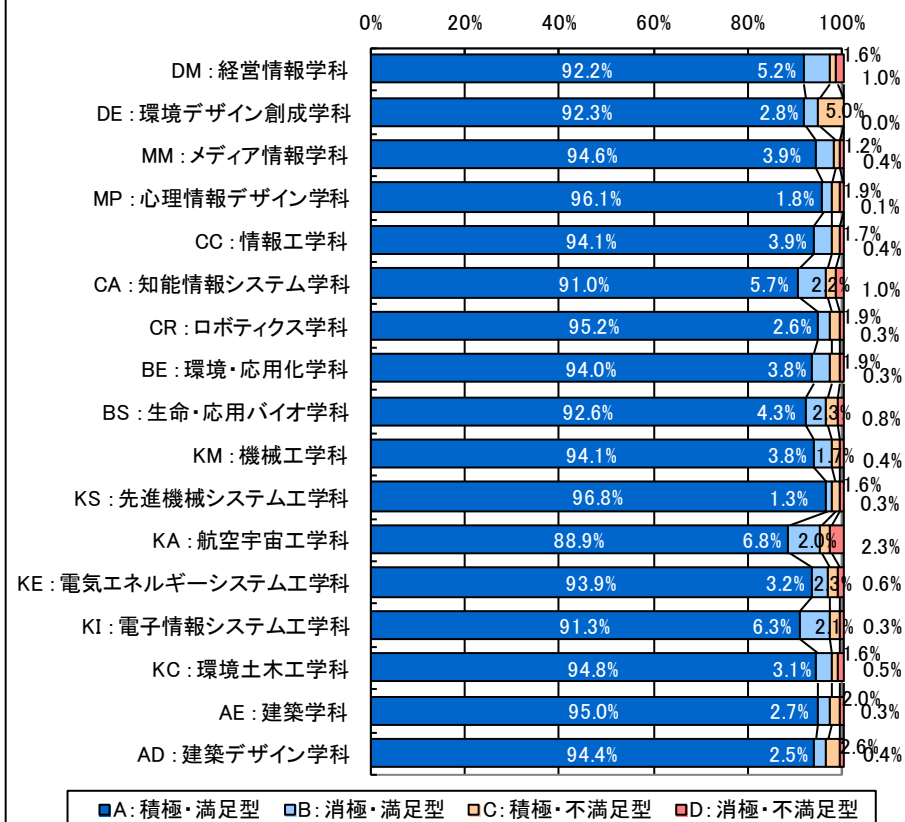


- 令和7年度以降入学者の新たな学部別に「A:積極・満足型」の割合を比較すると、最も多いのは「M:メディア情報学部」の94.9%であり、「A:建築学部」が94.7%、「K:工学部」が93.8%が続いている。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」の92.2%で、6学部の差は最大で2.7ポイントである。
- 学科別比較で最も多いのは「KS:先進機械システム工学科」の96.8%であり、「MP:心理情報デザイン学科」が96.1%、「CR:ロボティクス学科」が95.2%が続いている。一方、最も少ないのは「KA:航空宇宙工学科」の88.9%であり、唯一9割に満たない。そして、17学科の差は最大で7.9ポイントである。

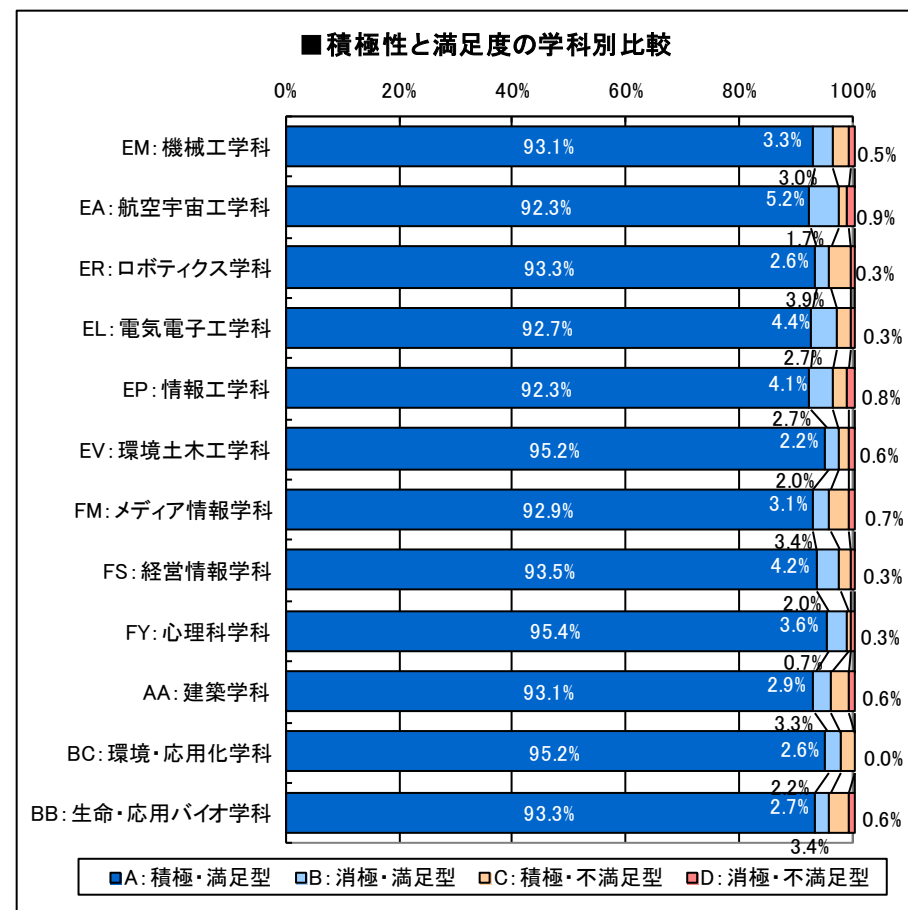
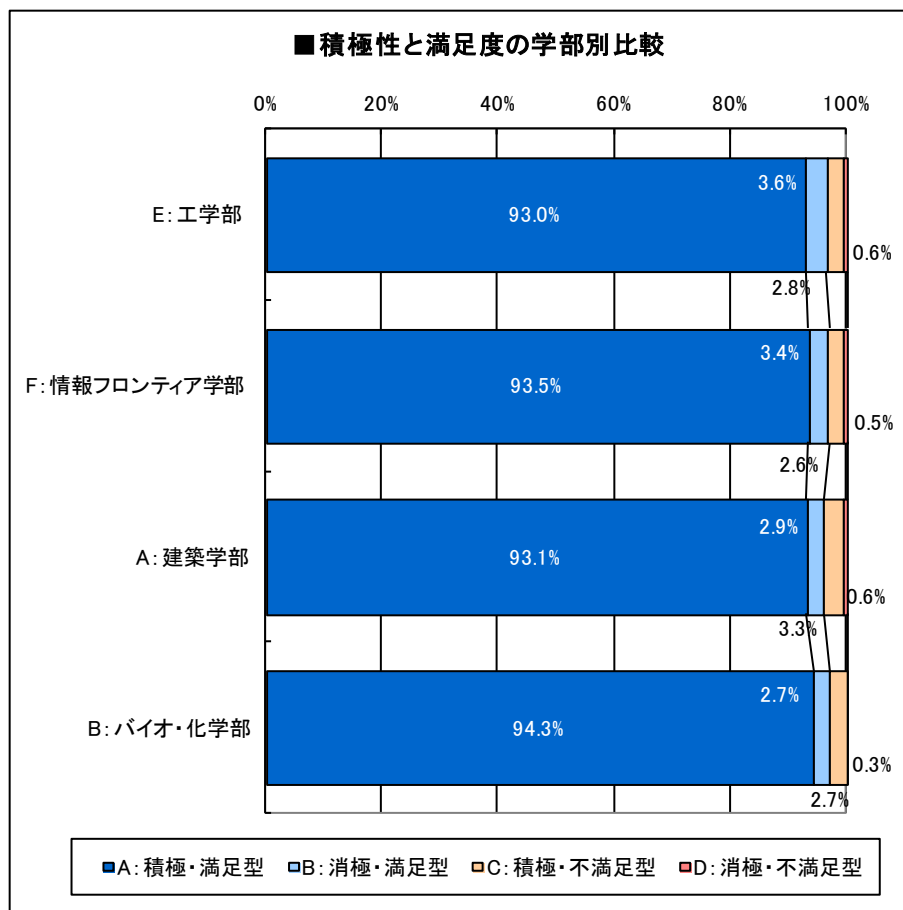
■積極性と満足度の学部別比較



■積極性と満足度の学科別比較



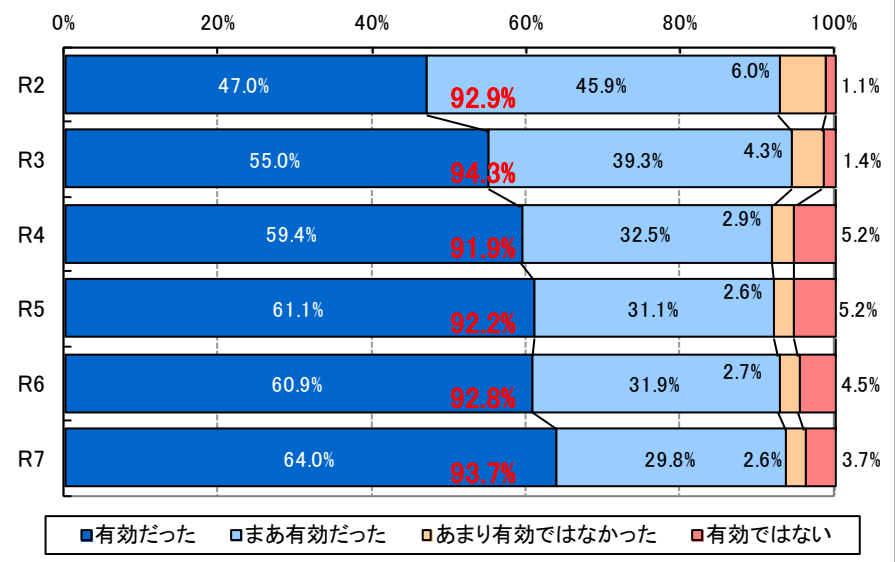
- 令和6年度以前入学者の学部別に「A:積極・満足型」の割合を比較すると、最も多いのは「B:バイオ・化学部」の94.3%である。次いで、「F:情報フロンティア学部」が93.5%、「A:建築学部」が93.1%、「E:工学部」が93.0%で続いており、4学部の差は最大で1.3ポイントである。
- 学科別比較で最も多いのは、「FY:心理科学科」の95.4%であり、「EV:環境土木工学科」と「BC:環境・応用化学科」が同率の95.2%で続いている。一方、最も少ないのは、こちらも同率で「EA:航空宇宙工学科」と「EP:情報工学科」の92.3%であり、12学科の差は最大で3.1ポイントである。



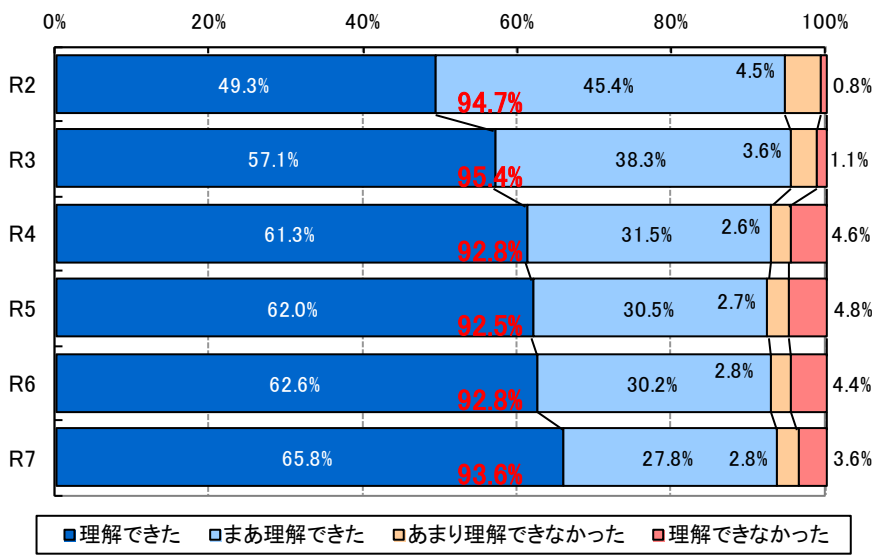
## ＜8＞遠隔授業の評価の分析

- 「遠隔授業」の集計はR3までは「無回答」を含めていたが、R4以降は遠隔授業減少のためか「無回答」が多くなったため、過去に遡って「無回答」を除外して経年変化を見ている。
- 「遠隔授業の理解度」の肯定的な意見は93.6%で、前回は0.8ポイント上回っている。肯定的な意見はR3の95.4%が過去最高であるが、「理解できた」だけを見るとR2から今回まで継続的に増加が続いており、今回は過去最高の65.8%である。ただし、前回から減少したものの6.4%が否定的な意見であり、この点にも注意する必要がある。
- 「主体的(自主的)な学習への有効性」の肯定的な意見は93.7%で、前回は0.9ポイント上回って過去2番目評価となっている。「有効だった」だけを見ても、前回は3.1ポイント上回り過去最高の64.0%である。
- 「遠隔授業の満足度」の肯定的な意見は93.2%で、前回は0.6ポイント上回って過去2番目高さである。「満足している」だけを見ても過去最高の62.2%である。ただし、満足できていないという否定的な意見が6.8%という点には注意する必要がある。

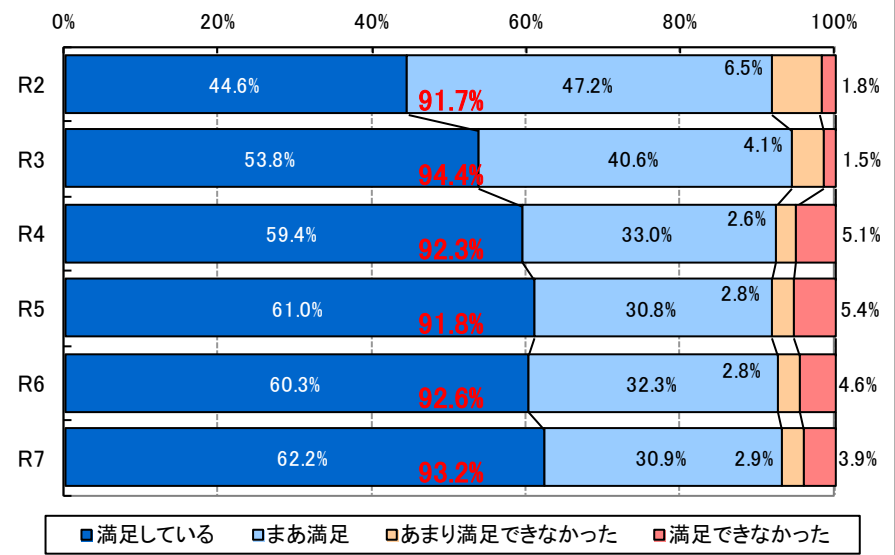
■主体的(自主的)な学習への有効性



■遠隔授業の理解度

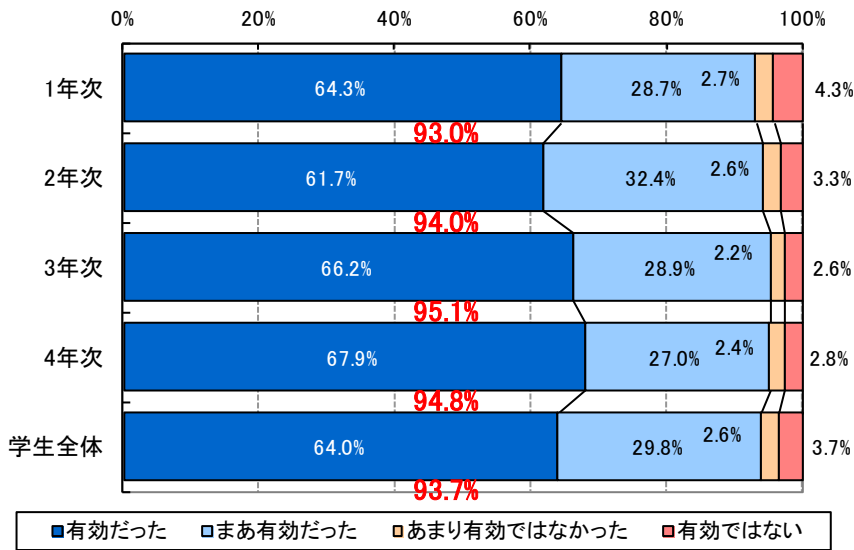


■遠隔授業の満足度

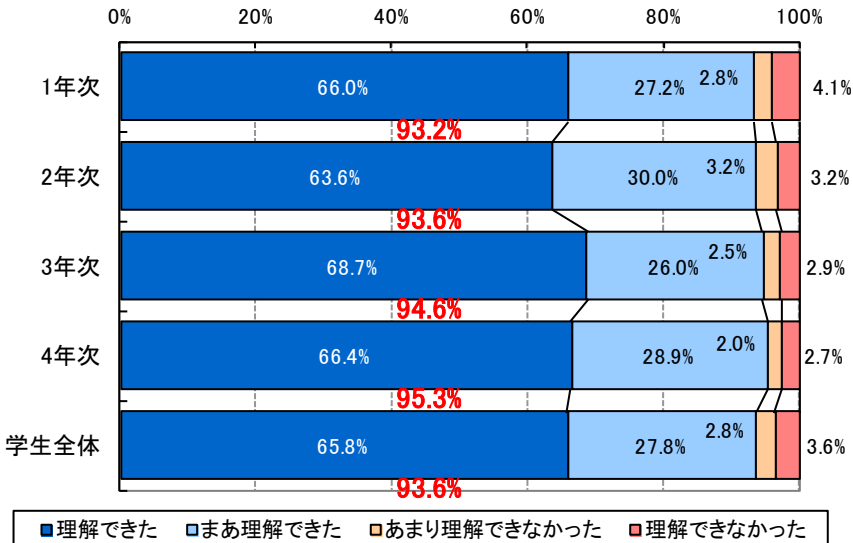


- 「遠隔授業の理解度」の肯定的な意見を学年別に見ると、最も多いのは「4年次」の95.3%であるが、「理解できた」だけを見ると「3年次」の68.7%が最も多い。一方、肯定的な意見が最も少ないのは「1年次」の93.2%であり、4学年の差は最大で2.1ポイントである。
- 「主体的(自主的)な学習への有効性」の肯定的な意見が最も多いのは「3年次」の95.1%であるが、「有効だった」だけを見ると「4年次」の67.9%が最も多い。一方、肯定的な意見が最も少ないのは「1年次」の93.0%であり、差は最大で2.1ポイントである。
- 「遠隔授業の満足度」の肯定的な意見が最も多いのは「3年次」の94.4%であるが、「満足している」だけを見ると「4年次」が68.3%で多さが目立っている。一方、肯定的な意見が最も少ないのは「1年次」の92.3%であり、否定的な意見の合計は7.6%である。そして、肯定的な意見の差は最大で2.1ポイントである。

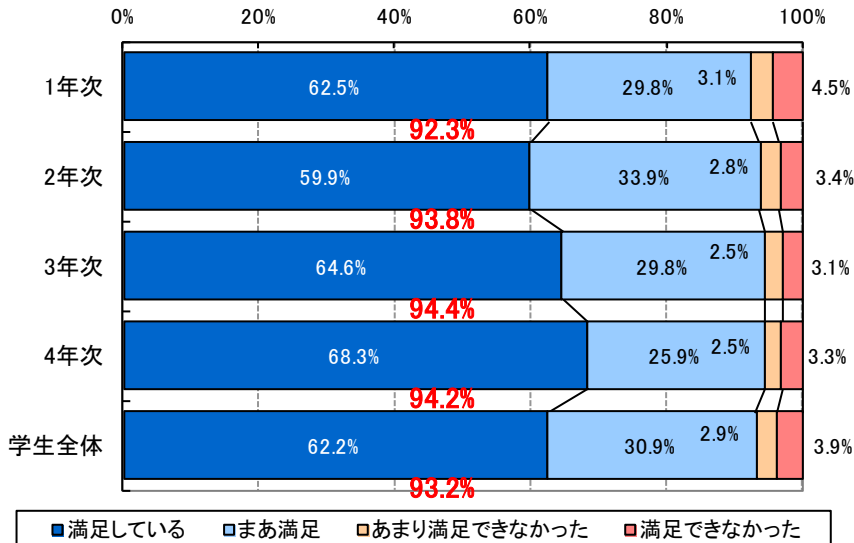
■主体的(自主的)な学習への有効性 学年別比較



■遠隔授業の理解度 学年別比較

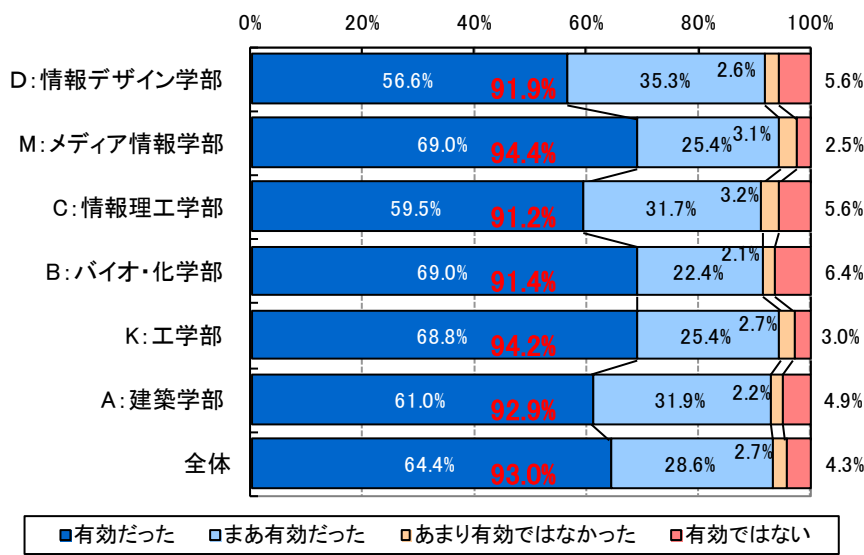


■遠隔授業の満足度 学年別比較

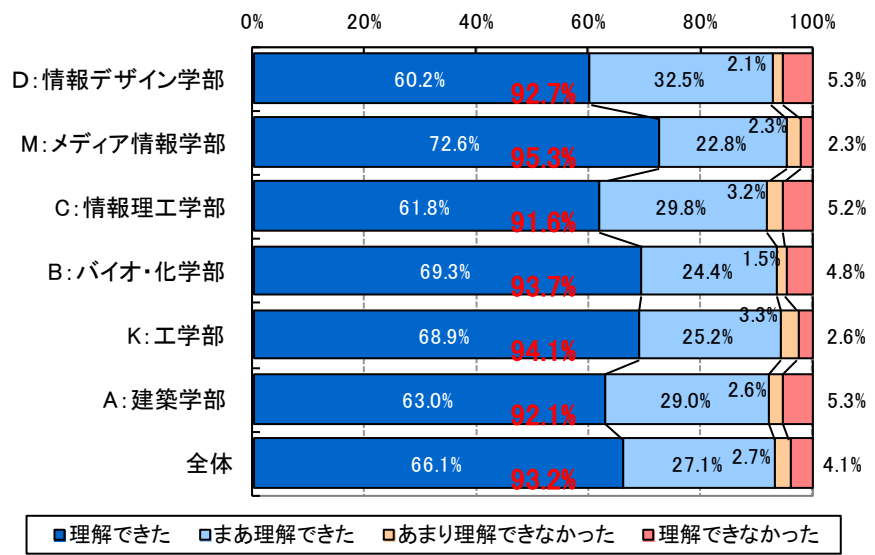


- 令和7年度以降入学者の1年次で「遠隔授業の理解度」を学部別に見ると、肯定的な意見が最も多いのは「M:メディア情報学部」の95.3%であり、「理解できた」も72.6%と多さが目立つ。一方、最も少ないのは「C:情報理工学部」の91.6%であり、6学部の差は最大で3.7ポイントである。
- 「主体的(自主的)な学習への有効性」の肯定的な意見も「M:メディア情報学部」が94.4%で最も多い。一方、最も少ないのは「C:情報理工学部」の91.2%であり、差は最大で3.2ポイントである。そして、「有効だった」は「M:メディア情報学部」「B:バイオ・化学部」「K:工学部」の多さが目立つ。
- 「遠隔授業の満足度」の肯定的な意見も「M:メディア情報学部」が94.2%で最も多く、「満足している」も69.7%で多さが目立つ。一方、最も少ないのは「D:情報デザイン学部」の90.9%である。差は最大で3.3ポイントと小さく、いずれの学部でも「満足している」が55%以上で、不満という否定的な意見は1割に満たず、全体的に十分に高い満足度である。

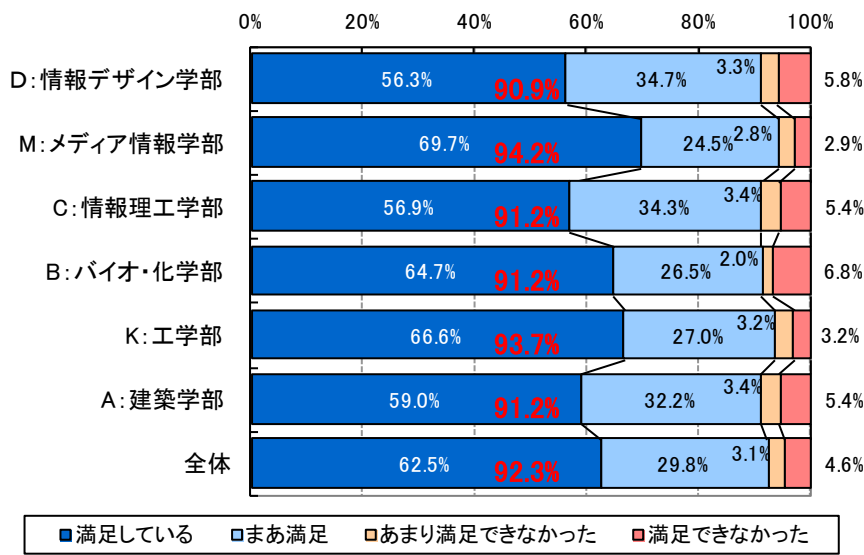
■主体的(自主的)な学習への有効性 学部別比較



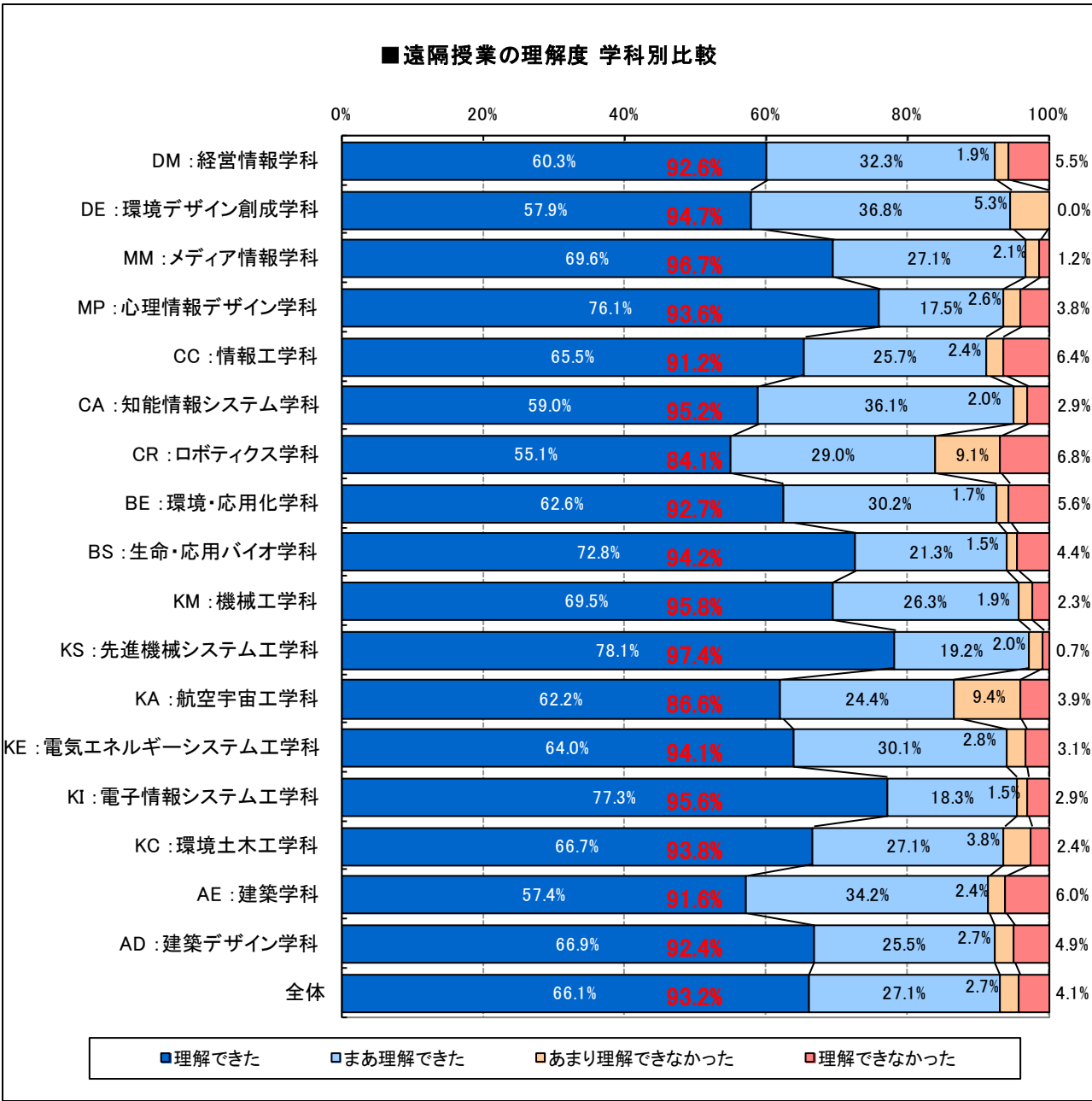
■遠隔授業の理解度 学部別比較



■遠隔授業の満足度 学部別比較

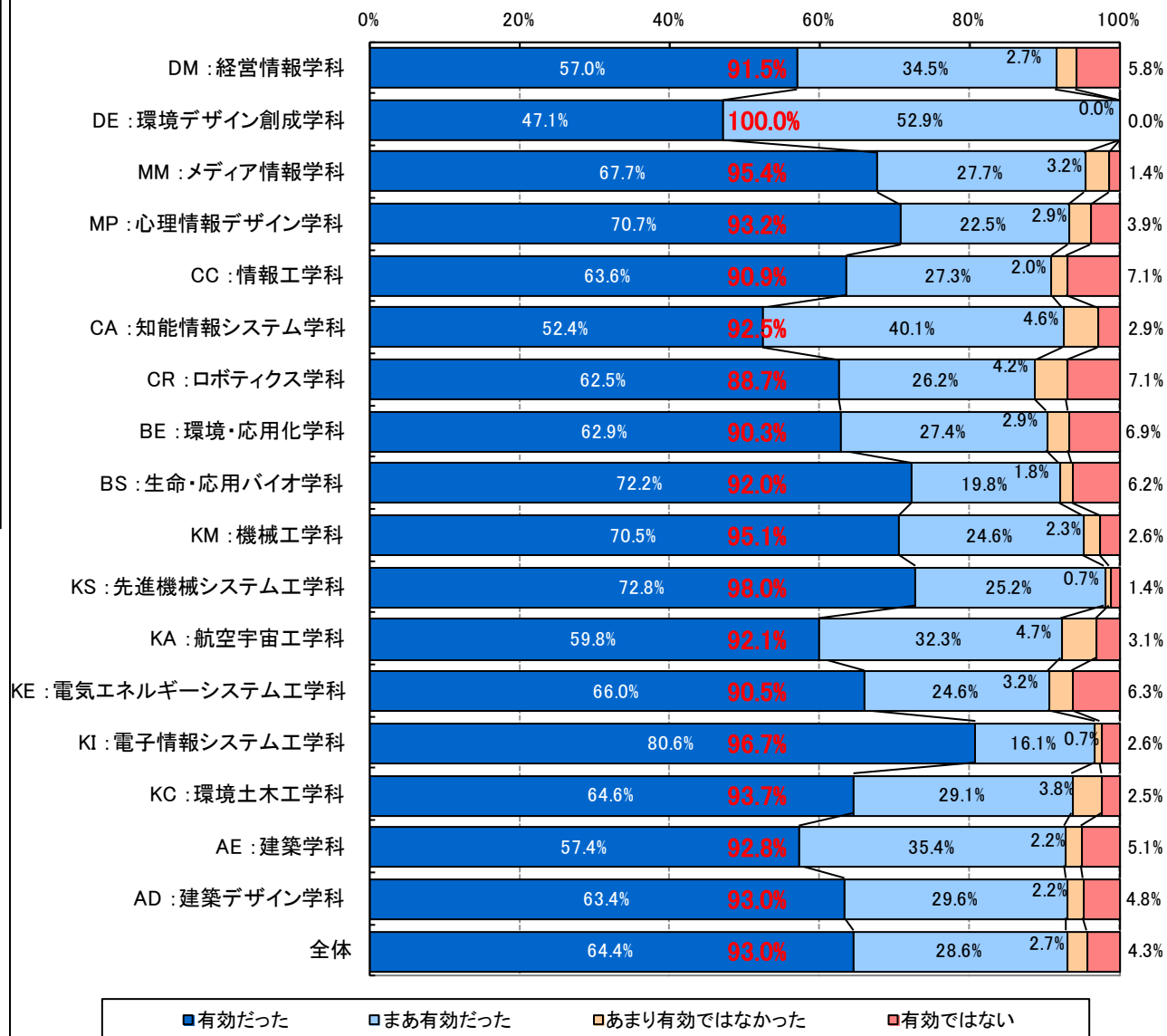


- 令和7年度以降入学者の1年次で「遠隔授業の理解度」の学科別に見ると、肯定的な意見が最も多いのは、「KS:先進機械システム工学科」の97.4%であり、「理解できた」も78.1%と最も多い。次いで、「MM:メディア情報学科」が96.7%、「KM:機械工学科」が95.8%で続いている。
- 一方、肯定的な意見が最も少ないのは「CR:ロボティクス学科」の84.1%で、「KA:航空宇宙工学科」が86.6%で続き、この2学科は9割を下回っている。そして、17学科の差は最大で13.3ポイントとやや大きい。
- 「理解できた」だけを見ると、上記でも見たように「KS:先進機械システム工学科」が78.1%で最も多く、次いで、「KI:電子情報システム工学科」が77.3%、「MP:心理情報デザイン学科」が76.1%であり、多さが目立っている。



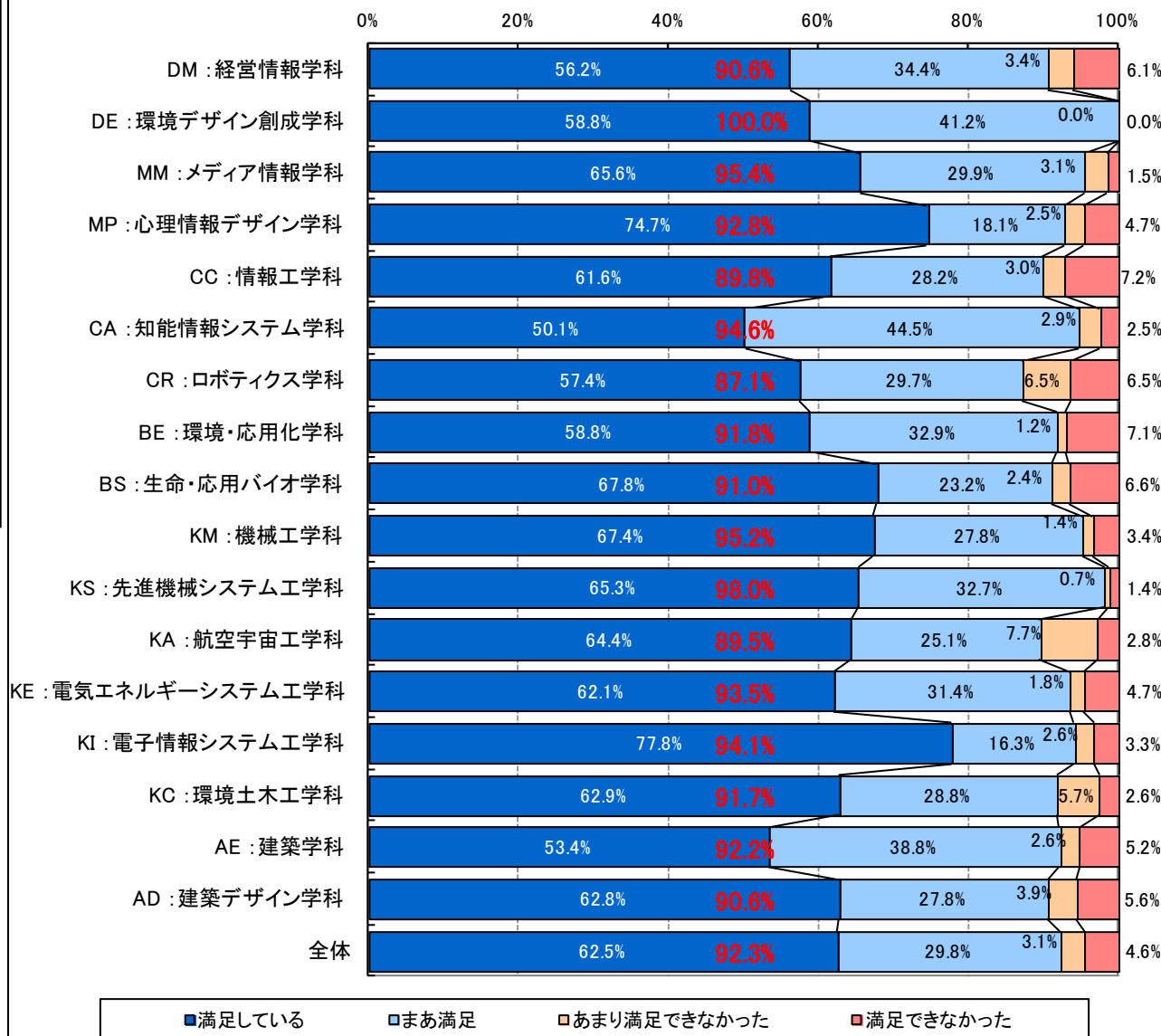
- 「主体的(自主的)な学習への有効性」を学科別に見ると、「DE:環境デザイン創成学科」では全員が肯定的な意見である。次いで、「KS:先進機械システム工学科」が98.0%、「KI:電子情報システム工学科」が96.7%で続いている。
- 一方、肯定的な意見が最も少ないのは「CR:ロボティクス学科」の88.7%であり、唯一9割を下回っている。次いで、「BE:環境・応用化学科」が90.3%、「KE:電気エネルギーシステム工学科」が90.5%であり、差は最大で11.3ポイントとやや大きい。
- 「有効だった」だけを見ると、「KI:電子情報システム工学科」が80.6%であり、8割を超えて多さが目立っている。一方、最も少ないのは全員が肯定的な意見である「DE:環境デザイン創成学科」の47.1%であり、特徴的な結果である。

■主体的(自主的)な学習への有効性 学科別比較



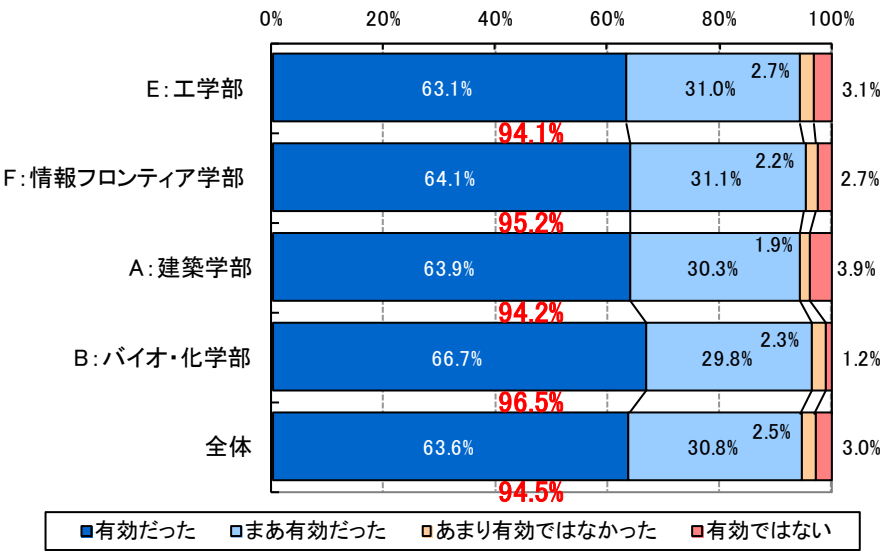
- 「遠隔授業の満足度」で肯定的な意見が最も多いのは「DE:環境デザイン創成学科」であり、ここでも肯定的な意見が100%である。次いで、「KS:先進機械システム工学科」が98.0%、「MM:メディア情報学科」が95.4%で続いている。
- 一方、肯定的な意見が最も少ないのは「CR:ロボティクス学科」の87.1%であり、「KA:航空宇宙工学科」の89.5%、「CC:情報工学科」の89.8%を合わせて3学科が9割に満たない。そして、差は最大で12.9ポイントと大きい。
- 「満足している」だけを見ると、「KI:電子情報システム工学科」の77.8%と、「MP:心理情報デザイン学科」の74.7%が目立っており、強く満足する学生が多い。一方、「CA:知能情報システム学科」は50.1%と少なさが目立つ。

■遠隔授業の満足度 学科別比較

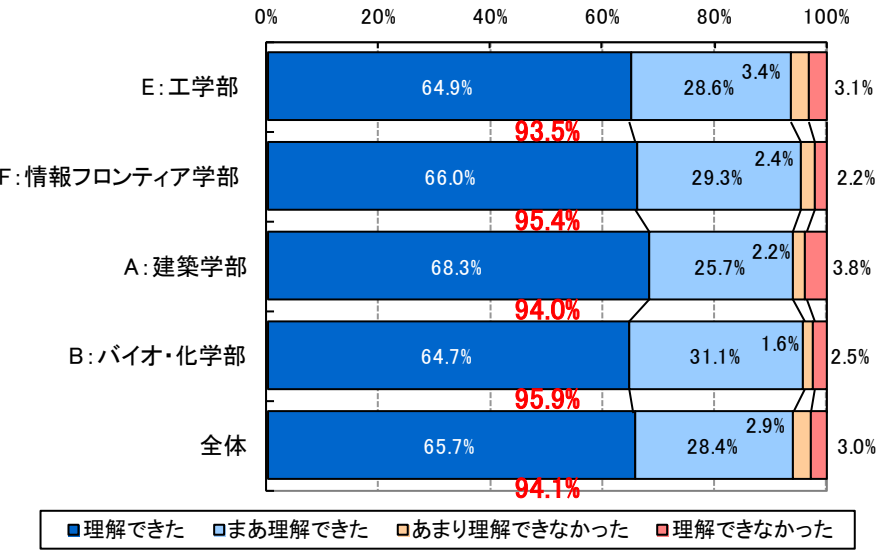


- 令和6年度以前入学者の2～4年次で「遠隔授業の理解度」を学部別に見ると、肯定的な意見が最も多いのは「B: バイオ・化学部」の95.9%であり、「F: 情報フロンティア学部」が95.4%、「A: 建築学部」が94.0%、「E: 工学部」が93.5%で続き、4学部の差は最大で2.4ポイントと小さく、いずれも高い評価である。
- 「主体的(自主的)な学習への有効性」も「B: バイオ・化学部」が96.5%で最も多く、最も少ない「E: 工学部」の94.1%との差は2.4ポイントと小さく、いずれも高い評価である。
- 「遠隔授業の満足度」も最も多いのは「B: バイオ・化学部」の96.1%であり、「F: 情報フロンティア学部」が95.2%、「A: 建築学部」が93.7%、「E: 工学部」が93.6%で続き、いずれも高い満足度で、差は最大で2.5ポイントと小さい。そして、「満足している」だけを見ても、いずれの学部でもほぼ6割を超えており、遠隔授業には非常に強く満足しているようである。

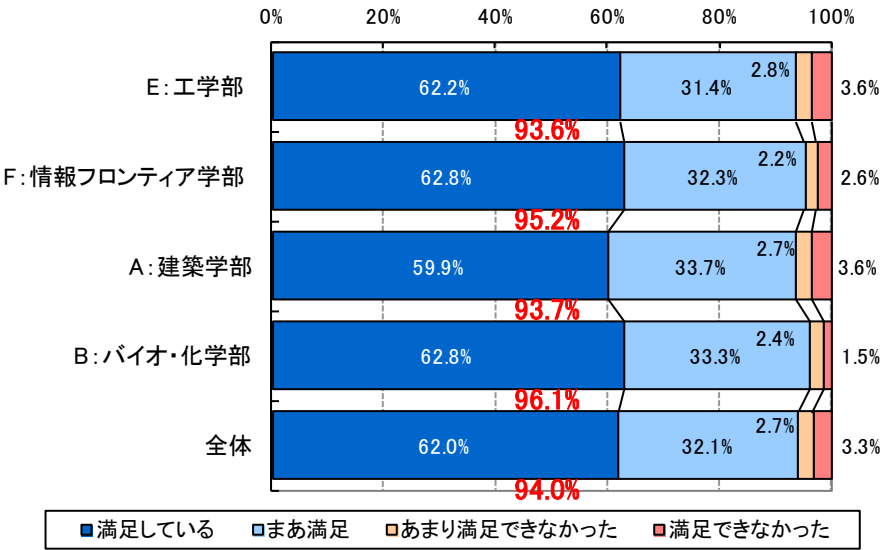
■ 主体的(自主的)な学習への有効性 学部別比較



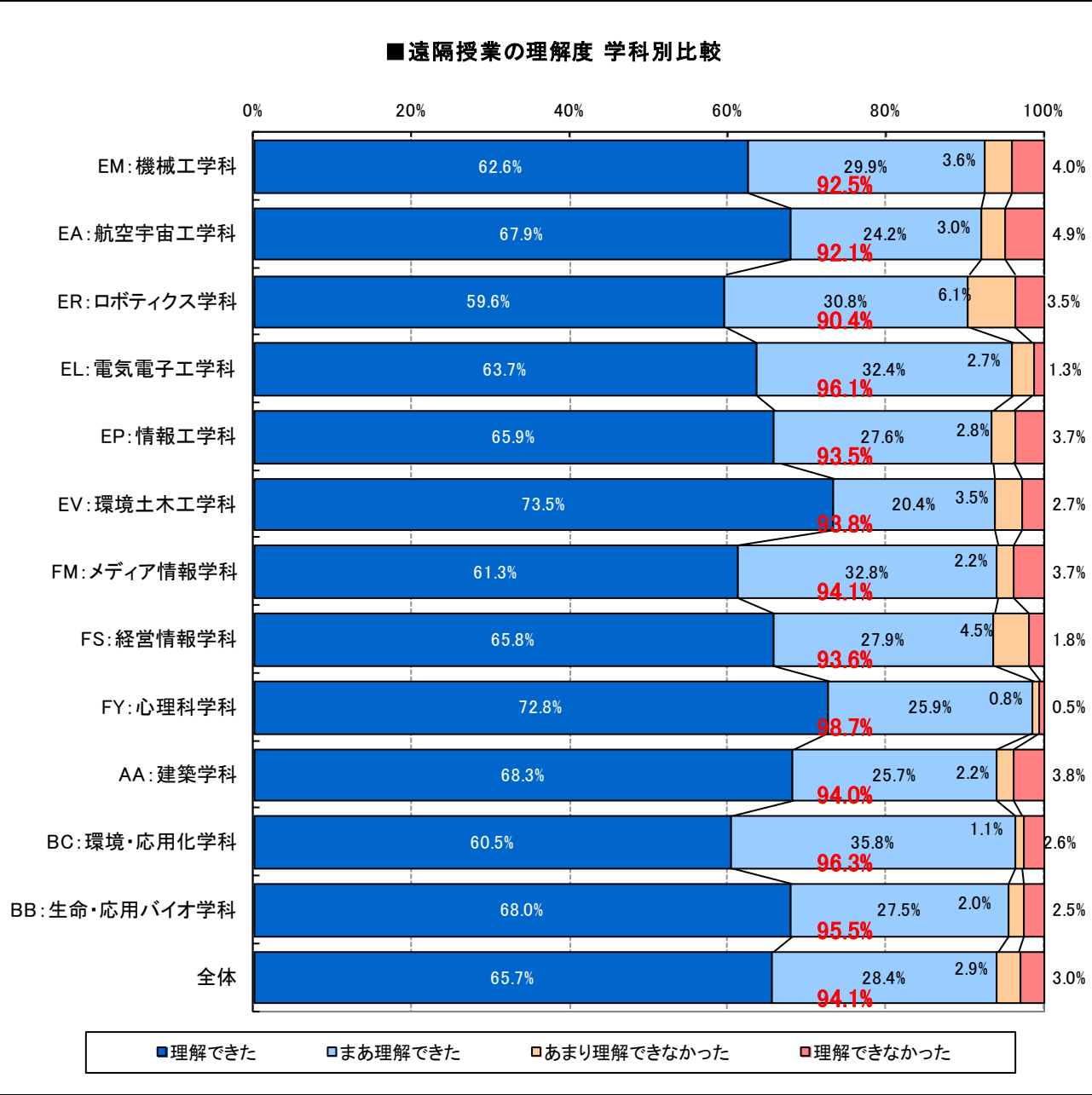
■ 遠隔授業の理解度 学部別比較



■ 遠隔授業の満足度 学部別比較

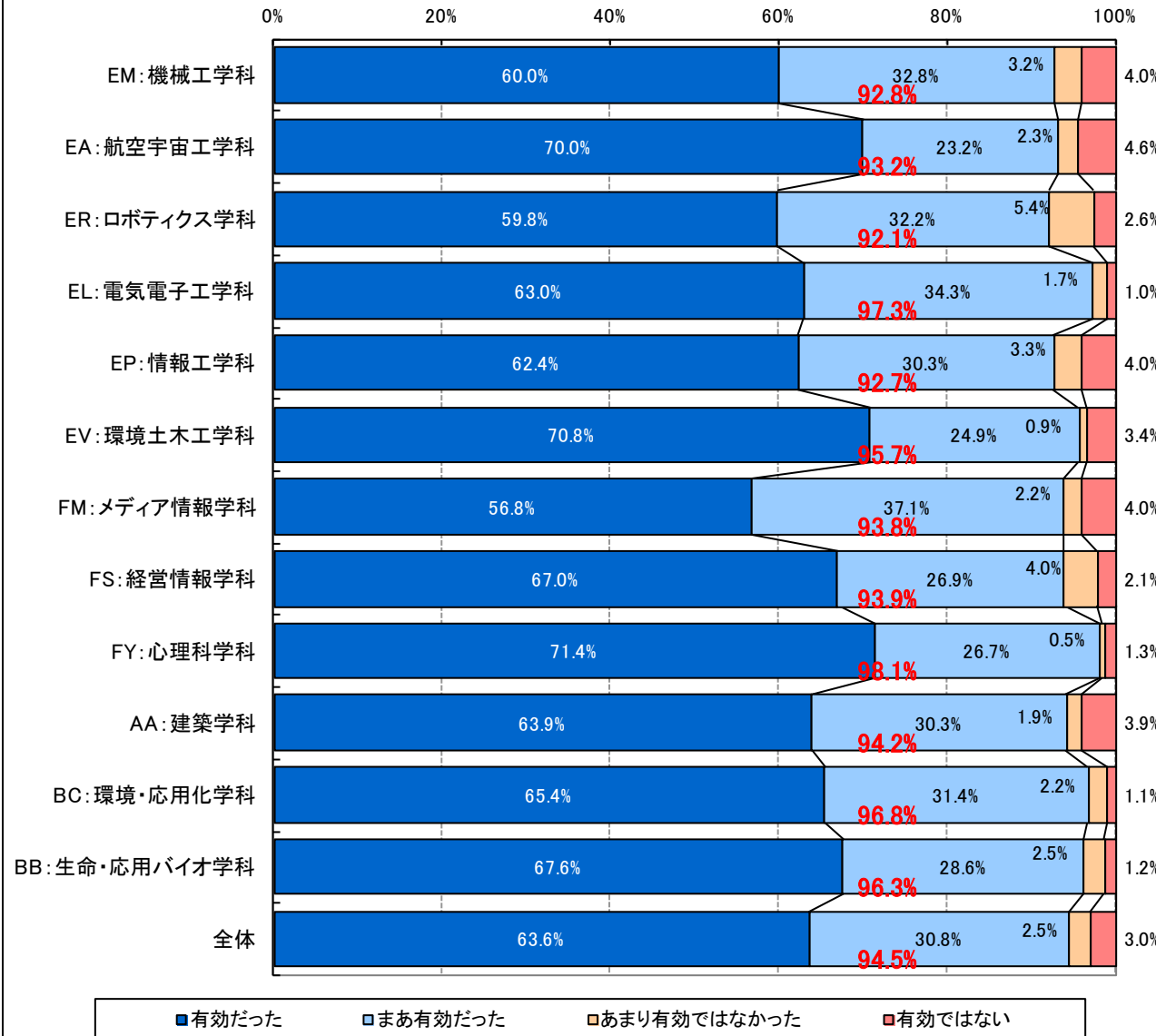


- 令和6年度以前入学者の2～4年次で「遠隔授業の理解度」を学科別に見ると、最も多いのは「FY:心理科学科」の98.7%で、「BC:環境・応用化学科」が96.3%、「EL:電気電子工学科」が96.1%が続いている。
- 一方、肯定的な意見が最も少ないのは「ER:ロボティクス学科」の90.4%であり、「EA:航空宇宙工学科」が92.1%、「EM:機械工学科」が92.5%で続き、9割を下回る学科はない。そして、12学科の差は最大で8.3ポイントである。
- 「理解できた」だけを見ると、「EV:環境土木工学科」の73.5%と「FY:心理科学科」の72.8%の多さが目立ち、この2学科では7割を超えている。そして、最も少ないのは「ER:ロボティクス学科」の59.6%であり、唯一6割を下回っている。



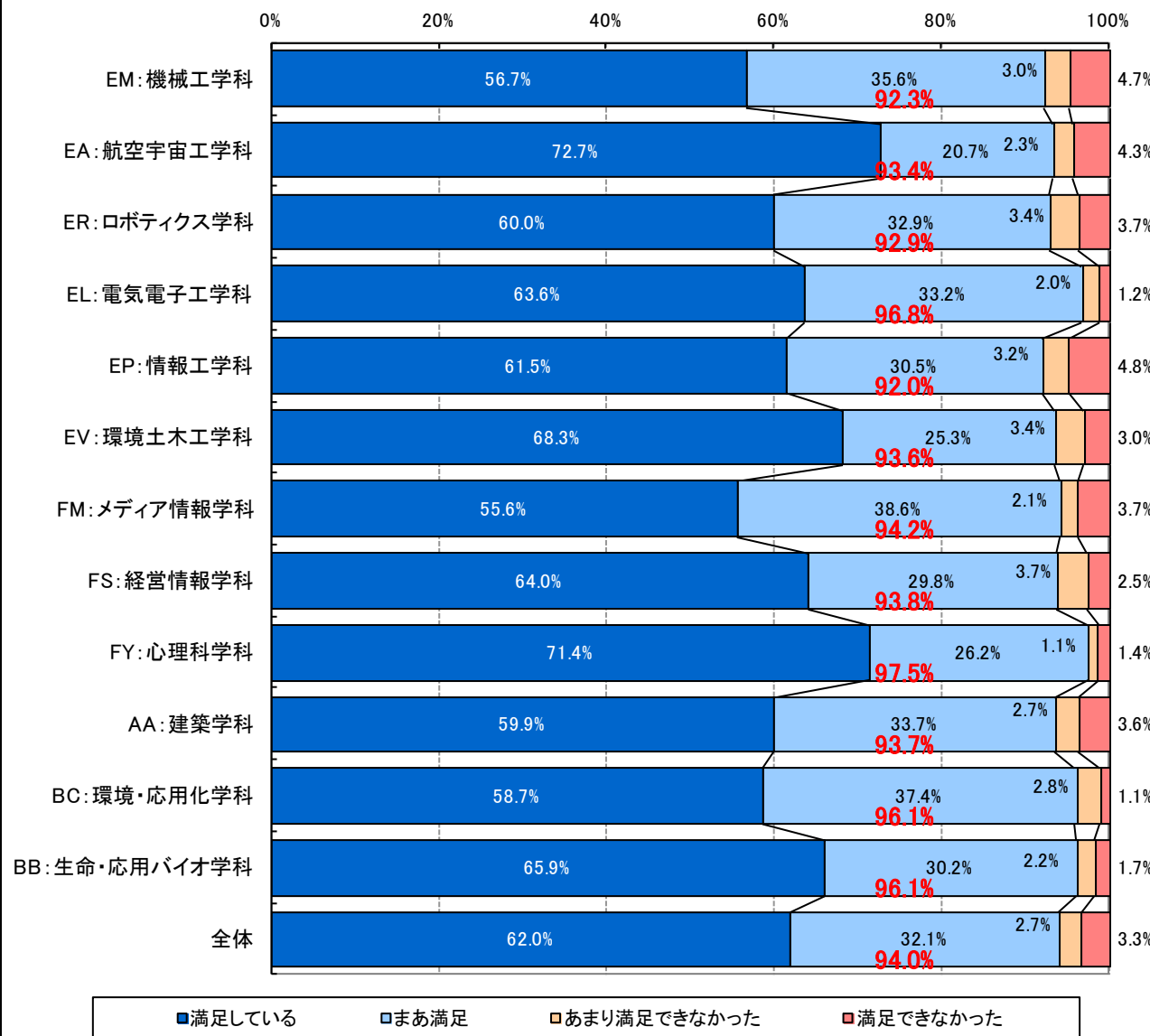
- 「主体的(自主的)な学習への有効性」でも、肯定的な意見が最も多いのは「FY:心理科学学科」の98.1%である。次いで、「EL:電気電子工学科」が97.3%、「BC:環境・応用化学学科」が96.8%が続いている。
- 一方、肯定的な意見が最も少ないのは「ER:ロボティクス学科」の92.1%であるが、これも十分に高い評価である。次いで、「EP:情報工学科」が92.7%、「EM:機械工学科」が92.8%と続き、ここでも9割を下回る学科はなく、差は最大で6.0ポイントである。
- 「有効だった」だけを見ると、「FY:心理科学学科」が71.4%で最も多く、「EV:環境土木工学科」が70.8%、「EA:航空宇宙工学科」が70.0%であり、この3学科では7割を超えている。そして、最も少ないのは「FM:メディア情報学科」の56.8%で、「ER:ロボティクス学科」の59.8%とともに6割を下回っている。

■主体的(自主的)な学習への有効性 学科別比較



- 「遠隔授業の満足度」でも、肯定的な意見が最も多いのは「FY:心理科学科」の97.5%である。そして、「EL:電気電子工学科」が96.8%、「BB:生命・応用バイオ学科」と「BC:環境・応用化学科」がいずれも96.1%で続いている。
- 一方、肯定的な意見が最も少ないのは「EP:情報工学科」の92.0%であるが、不満という否定的な意見は1割に満たず、十分に高い満足度である。次いで、「EM:機械工学科」が92.3%、「ER:ロボティクス学科」が92.9%であり、差は最大で5.5ポイントである。
- 「満足している」だけを見ると、「EA:航空宇宙工学科」が72.7%で最も多く、「FY:心理科学科」の71.4%とともに、2学科で7割を超え、高い満足度の学生が多い。そして、最も少ないのは「FM:メディア情報学科」の55.6%である。

■ 遠隔授業の満足度 学科別比較



## ＜9＞全体のまとめ

# <9-1>全体の分析で分かること

今回の集計、分析から分かることは下記の通り。

## 【全体傾向で確認できる事】

授業の「満足度」は95.7%で非常に高く、「事前の興味」や「自分の熱意と努力」といった受講態度、「教科書や指導書」「課題・レポート」「学習支援計画書」といったサポート体制も高い評価である。

- ◆ 受講前の「事前の興味」の肯定的な意見は76.3%、受講当初の「事前の内容理解(学習支援計画書)」は93.7%である。
- ◆ 授業の内容としては、「教科書・指導書の適切さ」が83.7%、「課題・レポートの適切さ」が95.5%、「学習支援計画書との一致」が97.9%、「授業の進度の適切さ」が94.5%、「学習相談の有効性」が95.3%であり、いずれも非常に高い評価である。(学習相談は相談利用者のみの評価)
- ◆ 学生の姿勢や総合評価に関する項目では、「自分の熱意と努力」が95.4%、「教員の熱意」が96.5%、「満足度」が95.7%で、強く満足している意見は60.9%である。

## 【学年別比較で確認できる事】

「事前の興味」は「3年次」が高く、「1年次」が低い。また、「学習相談」を利用しないという回答は「2年次」が多く、「4年次」が少ない。そして、学習時間は高学年ほど長くなる傾向が見られる。

- ◆ 学年による差がやや大きいのは「事前の興味」と「教科書・指導書の適切さ」で、「事前の興味」は「3年次」が高く、「1年次」が低い。また、「教科書・指導書の適切さ」は「4年次」が高い。また、「学習相談(OH、チューター)の有効性」の「相談しなかった」の割合は、「2年次」が61.7%、「4年次」が52.7%であり、やや差が見られる。
- ◆ 上記以外は学年による大きな差は見られないが、「1年次」は10項目中の5項目で最も高く、「4年次」は6項目で最も低い。
- ◆ 学習時間は「1年次」から「4年次」にかけて、高学年ほど長くなる傾向が見られる。

## 【経年変化で確認できる事】

「事前の内容理解」「学習相談(OH、チューター)の有効性」「教員の熱意」は過去最高である。一方、学習時間はR3から継続的に短くなる傾向が続き、「学習をしない」という回答は増加している。

- ◆ 「事前の内容理解(学習支援計画書)」「学習相談(OH、チューター)の有効性」「教員の熱意」は過去最高の評価である。
- ◆ 前回から低下していたのは「事前の興味」だけであるが、低下は1.8ポイントと小さい。「自分の熱意と努力」「教科書・指導書の適切さ」「授業の進度の適切さ」は前回と同じである。
- ◆ 「予習・復習、授業外学習(レポート、課題、等)」の学習時間を見ると、「3時間以上」「2～3時間」「1～2時間」の合計はR3から減少が続き、「学習は特にしなかった」の増加傾向が続いている。

## 【学部別・学科別比較で確認できる事(令和7年度以降入学者)】

学部による差は全体的に小さいが、「事前の興味」は「工学部」と「建築学部」が高く、「バイオ・化学部」がやや低い。そして、学習時間は「建築学部」が長い。

- ◆ 学部による差は「事前の興味」で少しあり、「工学部」と「建築学部」が高く、「バイオ・化学部」がやや低い。また、「教科書・指導書の適切さ」で「メディア情報学部」がやや低い。
- ◆ 学習時間が長いのは「建築学部」で、「バイオ・化学部」「工学部」が続き、「学習は特にしなかった」が最も多いのは「メディア情報学部」である。
- ◆ 学部ごとに学科を見ると、「情報デザイン学部」では2学科ともに10項目中の5項目で高く、「メディア情報学部」では「心理情報デザイン学科」が5項目、「情報理工学部」では「ロボティクス学科」が7項目、「バイオ・化学部」では「環境・応用化学学科」が5項目、「工学部」では「先進機械システム工学科」が7項目、「建築学部」では「建築学科」が6項目で最も高い。

### 【学部別・学科別比較で確認できる事(令和6年度以前入学者)】

学部による差は全体的に小さいが、  
肯定的な意見は「工学部」で多く、「情報フロンティア学部」で少ない。  
そして、学習時間は「工学部」と「建築学部」が長い。

- ◆ 学部による差は「事前の興味」と「教科書・指導書の適切さ」で少しあり、「事前の興味」では「情報フロンティア学部」の低さ、「教科書・指導書の適切さ」では「工学部」の高さが目立っている。
- ◆ 差は小さいものの数値を見ると、「工学部」は10項目中の6項目で最も高く、「情報フロンティア学部」は4項目で最も低い。
- ◆ 学習時間の「1時間程度」までの合計は「工学部」が多いが、「3時間以上」だけを見ると「建築学部」が多い。
- ◆ 学部ごとに学科を見ると、「工学部」では「電気電子工学科」が10項目中の4項目で最も高く、「情報フロンティア学部」では「心理科学科」が7項目、「バイオ・化学部」では「環境・応用化学科」が9項目で最も高い。

### 【同一学生群で確認できる事】

ここ数年の学生群は入学直後から4年間を通して高い意識を維持し、  
「4年次」での中だるみがないように思われる。  
ただし、入学直後の「事前の興味」はやや低下している。

- ◆ 同一学生群の「事前の興味」「熱意と努力」「教員の熱意」「満足度」などの変化を見ると、以前は4年間を通して低かったり、「4年次」で中だるみをしているような学生群が見られたが、最近では4年間を通して高いまま卒業に至るケースが増えているようである。
- ◆ 特にここ数年の学生群は、「1年次」から「熱意と努力」「教員の熱意」「満足度」が非常に高くなっており、「学習相談利用者割合」も高い。
- ◆ 一方、「事前の興味」では、「R2卒業生」など数年前までの学生群は入学直後から非常に高いが、現在の在学学生などここ数年の学生群はそれほど高いわけではない。

### 【科目区分別比較で確認できる事】

「事前の興味」は「リベラルアーツ系科目」と「専門科目」が高く、  
「教科書・指導書の適切さ」は「英語科目」の高さが目立っている。  
そして、学習時間は「専門科目」と「基礎プロジェクト科目」が長い。

- ◆ 「事前の興味」は「リベラルアーツ系科目」と「専門科目」が高く、「修学基礎科目」が目立って低い。また、「教科書・指導書の適切さ」は「英語科目」の高さが目立っている。
- ◆ 上記の2つの項目以外では科目区分による差はほとんど見られないが、数値を見ると「英語科目」は9項目で最も高く、「専門科目」は6項目で最も低い。
- ◆ 学習時間は「専門科目」と「基礎プロジェクト科目」が長く、「リベラルアーツ系科目」と「数理基礎科目」が短い。

### 【積極性と満足度の指標から確認できる事】

「積極・満足型」は過去3番目の93.6%で、学年では「3年次」が最も多い。令和7年度以降では「メディア情報学部」「先進機械システム工学科」、令和6年度以前では「バイオ・化学部」「心理科学科」が多い。

- ◆ 「積極・満足型」は過去3番目の93.6%であり、多い状態が続いている。内訳を見ると、「満足度」と「積極性」がともに高い学生が46.0%である。
- ◆ 学年別では「積極・満足型」は「3年次」が94.5%で最も多く、「1年次」が94.0%、「2年次」が92.5%、「4年次」が92.3%で続いている。
- ◆ 令和7年度以降入学者の学部では「メディア情報学部」が多く、「情報デザイン学部」が少ない。学科では「先進機械システム工学科」が多く、「航空宇宙工学科」が少ない。令和6年度以前入学者の学部では「バイオ・化学部」が多く、「工学部」が少ない。学科では「心理科学科」が多く、「航空宇宙工学科」と「情報工学科」が少ない。

**【遠隔授業の評価で確認できる事】**

**遠隔授業の「主体的な学習への有効性」は過去最高、  
「満足度」は過去2番目の高さであり、「理解度」も含めて、  
強く評価する意見の増加傾向が続いている。**

- ◆ 遠隔授業に対する肯定的な意見の合計は、「主体的(自主的)な学習への有効性」が過去最高、「満足度」が過去2番目の高さであり、強く肯定する意見は3項目ともに増加傾向が続いている。
- ◆ 学年別では3指標ともに「3年次」と「4年次」が高く、「1年次」が最も低い。
- ◆ 令和7年度以降入学者の学部別比較では、3項目ともに「メディア情報学部」が最も高い。学科では、「遠隔授業の理解度」は「先進機械システム工学科」、「主体的(自主的)な学習への有効性」と「満足度」は「環境デザイン創成学科」が最も高い。そして、令和6年度以前入学者の学部別比較では、3項目ともに「バイオ・化学部」が高く「工学部」が低い、学科では3項目ともに「心理科学科」が最も高い。

ここまでの分析から分かることをまとめると下記ようになる。

- ❑ 授業の「満足度」は95.7%で非常に高く、「事前の興味」や「自分の熱意と努力」といった受講態度、「教科書や指導書」「課題・レポート」「学習支援計画書」といったサポート体制も高い評価である。
- ❑ 「事前の内容理解」「学習相談(OH、チューター)の有効性」「教員の熱意」は過去最高である。一方、学習時間はR3から継続的に短くなる傾向が続き、「学習をしない」という回答は増加している。
- ❑ 「事前の興味」は「3年次」が高く、「1年次」が低い。また、「学習相談」を利用しないという回答は「2年次」が多く、「4年次」が少ない。そして、学習時間は高学年ほど長くなる傾向が見られる。
- ❑ 学部による差は全体的に小さいが、「事前の興味」は「工学部」と「建築学部」が高く、「バイオ・化学部」がやや低い。そして、学習時間は「建築学部」が長い。
- ❑ 学部による差は全体的に小さいが、肯定的な意見は「工学部」で多く、「情報フロンティア学部」で少ない。そして、学習時間は「工学部」と「建築学部」が長い。
- ❑ 「事前の興味」は「リベラルアーツ系科目」と「専門科目」が高く、「教科書・指導書の適切さ」は「英語科目」の高さが目立っている。そして、学習時間は「専門科目」と「基礎プロジェクト科目」が長い。
- ❑ ここ数年の学生群は入学直後から4年間を通して高い意識を維持し、「4年次」での中だるみがないように思われる。ただし、入学直後の「事前の興味」はやや低下している。
- ❑ 「積極・満足型」は過去3番目の93.6%で、学年では「3年次」が最も多い。令和7年度以降では「メディア情報学部」「先進機械システム工学科」、令和6年度以前では「バイオ・化学部」「心理科学科」が多い。
- ❑ 遠隔授業の「主体的な学習への有効性」は過去最高、「満足度」は過去2番目の高さであり、「理解度」も含めて、強く評価する意見の増加傾向が続いている。



- ❖ 「満足度」は95.7%と非常に高く、「事前の内容理解」「学習相談(OH、チューター)の有効性」「教員の熱意」は過去最高であり、授業の内容や取り組み姿勢には大きな問題はなさそうである。ただし、学習時間はR3から継続的に短くなる傾向が続き、「学習をしない」という回答は増加しており、非常に気になる点と言える。
- ❖ 学習時間は、学年では高学年ほど長くなり、令和7年度以降入学者では「建築学部」、令和6年度以前入学者では「工学部」と「建築学部」、科目区分では、「専門科目」と「基礎プロジェクト科目」が長い。これらを踏まえて詳細を把握する必要があると思われる。
- ❖ ここ数年の学生群は入学直後から4年間を通して高い意識を維持し、「4年次」での中だるみがないように思われる。これは入学前教育などの効果が出ているとも考えられ、良い環境になってきているものと思われる。
- ❖ 遠隔授業の「有効性」は過去最高の評価、「満足度」は過去2番目の高さであり、「理解度」も含めて非常に高い評価である。